

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第23集

市内遺跡群
22

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 22

二〇一九

埼玉県ふじみ野市教育委員会

2019年3月

ふじみ野市教育委員会

ふじみ野市埋蔵文化財調査報告 第23集

埼玉県ふじみ野市

市内遺跡群 22

2019年3月

ふじみ野市教育委員会

はじめに

ふじみ野市は平成17年10月に旧上福岡市と旧大井町が合併し、平成27年に10周年を迎え、今また新しい時代を歩みはじめています。

ふじみ野市は、都心から30km圏内という立地条件にあるため、昭和30年代ごろから急激な開発の波が押し寄せ、企業の工場や研究所の進出、住宅の建設ラッシュ、大規模都市基盤整備事業が計画・実施されました。さらに、ふじみ野市となってからは、人口の増加も伴って周辺の自然・社会の環境は大きく変化しています。

新たな歴史を歩みはじめたふじみ野市内には、権現山古墳群や福岡河岸記念館、復元大井戸跡や旧大井村役場庁舎など、多くの文化財が存在し、2万数千年前の旧石器時代から現代までの永い歴史をみることができます。

本報告書は、国・県からの補助金と民間開発に伴い各事業者の皆様からの費用負担を受けて実施した、「市内遺跡発掘調査」の成果を記録した報告書です。

今回、市内で発掘調査された成果を一冊の冊子にまとめることが出来ました。その成果は、店舗や住宅建設など、近年の開発ラッシュに伴い発掘されたものです。永い歴史の中で繰り返す住まいの地として利用されるということは、いつの時代でも、ふじみ野の地が住み良い土地であることの証明ともいえます。

こうして発見された新たな歴史の一部を、「夢のある心豊かな学びのまちづくり」のため、貴重な文化財を将来にわたって保存・継承し、地域の皆様や子供たちが、生涯にわたって地域の歴史や文化を学び続けられるよう目指してまいります。貴重な文化財と共に、本書が将来にわたって活用されれば幸いです。

おわりに、土地所有者、開発関係者の皆様には多大なご負担とご協力を賜りました。地域の文化財保護・保存についてのご理解をいただいたことに対し、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。また、調査から本書刊行に至るまで、文化庁、埼玉県教育委員会文化資源課、市関係各課、調査関係者、そして各事業者の多くの皆様から、ご指導やご協力をいただきました。誌上をもって厚くお礼を申し上げます。

ふじみ野市教育委員会
教育長 朝倉 孝

例 言

1. 本書は、埼玉県ふじみ野市内に所在する遺跡群の2015(平成27)年度の試掘調査と発掘調査の報告書である。
2. 2015(平成27)年度に行った試掘調査、発掘調査および整理作業は総経費10,005,757円に対し国庫補助金(5,000,000円)、県費(2,500,000円)の補助金の交付を受け、2015(平成27)年4月9日から2016(平成28)年3月31日まで実施したものである。








3. 調査組織

調査主体者	ふじみ野市教育委員会	文化財保護係調査担当者
担 当 課	社会教育課文化財保護係	高崎 直成 (2005.4.1～2018.3.31)
教 育 長	朝倉 孝 (2014.4.1～)	網島 直久 (2005.4.1～2017.3.31)
部 長	中野 剛之 (2015.4.1～2017.3.31)	長谷川 義行 (2017.4.1～)
	土屋 浩 (2017.4.1～)	岡崎 裕子 (2015.4.1～)
課 長	小林 清 (2015.4.1～2016.3.31)	庶 務 担 当 橋本 祐可子 (2015.4.1～)
	佐藤 龍司 (2016.4.1～2018.3.31)	発掘調査員補 越村 篤 (2005.4.1～2015.9.30)
	高崎 直成 (2018.4.1～)	鎌田 翔 (2015.11.2～2018.3.31)
副 課 長	佐藤 龍司 (2015.4.1～2016.3.31)	坪田 幹男 (2018.7.1～)
社会教育課副課長兼文化財保護係長(2016.4.1から兼務)	高崎 直成 (2013.4.1～2018.3.31)	臨時的任用職員 高橋 京子 (2005.4.1～)
	小林 久美 (2018.4.1～)	

4. 本書作成にあたっての作業分担は事実報告及び遺構・遺物の執筆を岡崎・長谷川、遺物の観察表作成を岡崎・鎌田が担当し、整理作業の分担は次のとおりである。遺物接合・復元：中田藤子、川中ひろみ。石器実測：岩城英子、鎌田。
土器実測・拓本：明石千とせ、岩城英子、坂本民子、佐竹里佳、鈴木千恵子、深谷美奈子、松平静、山内康代。遺構・遺物図トレース：小林登喜江。図版作成：青山奈保美、大久保明子、齋藤有紀、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、松平静
遺構写真：網島、越村、岡崎、鎌田。レイアウト・遺物写真：大久保明子。遺構図版作成の一部及び石器実測の一部を株式会社中野技術に委託した。ハケ遺跡第16地点出土人物埴輪に含まれる海綿骨針については、松岡喜久次氏(埼玉県立川越女子高等学校)に調査を依頼した。
5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。(敬称略)
天ヶ嶋岳、上田寛、越前谷理、大屋道則、岡田賢治、加藤秀之、神木繁嘉、久津間文隆、國見徹、隈本健介、酒井智晴、笹森健一、佐藤一也、佐藤啓子、塩野敏和、清水理史、鈴木清、高木文夫、田中信、中村愛、原口雅樹、早坂廣人、比嘉洋子、平野寛之、藤波啓啓、堀善之、松尾鉄城、松岡喜久次、三上栄一、水口由紀子、水村孝行、柳井章宏、和田晋治、埼玉県教育委員会市町村支援部文化資源課、上福岡歴史民俗資料館、大井郷土資料館
6. 発掘調査ならびに整理作業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。(敬称略)
青山奈保美、明石千とせ、新井和枝、飯塚恵津子、飯塚泰子、家泉浩孝、壺岐久子、井上晴江、井上麻美子、岩城英子、白井孝、大久保明子、岡良子、川中ひろみ、小池恵美子、小林登喜江、齋藤有紀、坂本民子、佐竹里佳、重田恵子、鈴木勝弘、鈴木千恵子、須藤さち子、関田成美、高橋けい子、高貝しづ子、丹治つや子、菅山りえ、中川圭子、中田藤子、野岡由紀子、比嘉洋子、深谷美奈子、福田美枝子、藤丸亮介、増澤勝美、松平静、山内康代、矢作梓、米田昇三、若林紀美代

凡 例

- 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。
 - 縮尺は原則として、遺構配置図 1:300、遺構平面図・遺物出土状況図 1:60、1:30、炉などの詳細図 1:30、土器実測図 1:4、土器拓影図 1:4、石器実測図 1:4、2:3、銭 1:1 である。
 - 遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。明記していないのは同図版中の前遺構の海拔高に同じ。
 - 遺構図における screen-tone の指示、遺物出土状況のドットの指示は、

視乱		地山(ローム)		焼土		コンクリート	
赤彩		釉		煤			
土器	●	石器	★	黒曜石	▲	チャート	□
						礫	○
						炭	■
 - 土器断面図は、■が繊維含有、●が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
 - 遺構・遺物実測図中の▲▼マークは、図の接続、結合を示す。
- 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。
- 本報告にかかる出土品及び記録図面・写真等は一括してふじみ野市教育委員会に保管してある。

埼玉県ふじみ野市
市内遺跡群 22 目次

はじめに	i		
例 言	ii		
凡 例	iii		
目 次	iv		
神田目次	v		
表 目 次	vi		
写真目版目次	vii		
第 1 章 遺跡の調査と概要	1	IV 松山遺跡第 84 地点	80
I 調査に至る経緯	1	V 松山遺跡第 85 地点	81
II 立地と環境	3	第 13 章 江戸東遺跡の調査	82
III 市内の遺跡	4	I 遺跡の立地と環境	82
第 2 章 鶴ヶ河遺跡の調査	8	II 江戸東遺跡第 24 地点	83
I 遺跡の立地と環境	8	第 14 章 東久保遺跡の調査	84
II 鶴ヶ河遺跡第 6 地点	8	I 遺跡の立地と環境	84
III 鶴ヶ河遺跡第 7 地点	8	II 東久保遺跡第 72 地点	84
第 3 章 西遺跡の調査	10	第 15 章 東中学校西遺跡の調査	86
I 遺跡の立地と環境	10	I 遺跡の立地と環境	86
II 西遺跡第 2 地点	10	II 東中学校西遺跡第 36 地点	86
III 西遺跡第 3 地点	16	第 16 章 西ノ原遺跡の調査	88
第 4 章 北野遺跡の調査	26	I 遺跡の立地と環境	88
I 遺跡の立地と環境	26	II 西ノ原遺跡第 164 地点	93
II 北野遺跡第 31 地点	27	III 西ノ原遺跡第 165 地点	97
III 北野遺跡第 32 地点	28	IV 西ノ原遺跡第 166 地点	97
IV 北野遺跡第 33 地点	28	V 西ノ原遺跡第 167 地点	98
V 北野遺跡第 34 地点	29	第 17 章 神明後遺跡の調査	99
VI 北野遺跡第 35 地点	29	I 遺跡の立地と環境	99
VII 北野遺跡第 36 地点	30	II 神明後遺跡第 54 地点	99
VIII 北野遺跡第 37 地点	30	第 18 章 淨理寺跡遺跡の調査	101
第 5 章 川崎遺跡の調査	31	I 遺跡の立地と環境	101
I 遺跡の立地と環境	31	II 淨理寺跡遺跡第 40 地点	101
II 川崎遺跡第 42 地点	35	III 淨理寺跡遺跡第 41 地点	103
III 川崎遺跡第 43 地点	37	第 19 章 小畑久保遺跡の調査	104
IV 川崎遺跡第 44 地点	38	I 遺跡の立地と環境	104
第 6 章 ハケ遺跡の調査	40	II 小畑久保遺跡第 11 地点	105
I 遺跡の立地と環境	40	III 小畑久保遺跡第 12 地点	105
II ハケ遺跡第 21 地点	41	第 20 章 大井氏館跡遺跡の調査	106
第 7 章 穂刈山遺跡の調査	42	I 遺跡の立地と環境	106
I 遺跡の立地と環境	42	II 大井氏館跡遺跡第 26 地点	106
II 穂刈山遺跡第 26 地点	43	第 21 章 本村遺跡の調査	108
第 8 章 滝遺跡の調査	44	I 遺跡の立地と環境	108
I 遺跡の立地と環境	44	II 本村遺跡第 129 地点	110
II 滝遺跡第 26 地点	48	III 本村遺跡第 130 地点	112
III 滝遺跡第 27 地点	59	IV 本村遺跡第 131 地点	113
第 9 章 長宮遺跡の調査	62	第 22 章 東台遺跡の調査	114
I 遺跡の立地と環境	62	I 遺跡の立地と環境	114
II 長宮遺跡第 52 地点	62	II 東台遺跡第 60 地点	116
第 10 章 鬼尻遺跡の調査	69	第 23 章 まとめ	117
I 遺跡の立地と環境	69		
II 鬼尻遺跡第 75 地点	69	附 編	119
III 鬼尻遺跡第 76 地点	70	写真目版	121
IV 鬼尻遺跡第 77 地点	70	抄 録	148
第 11 章 鶴ヶ河遺跡の調査	72		
I 遺跡の立地と環境	72		
II 鶴ヶ河遺跡第 23 地点	72		
III 鶴ヶ河遺跡第 24 地点	73		
第 12 章 松山遺跡の調査	74		
I 遺跡の立地と環境	74		
II 松山遺跡第 82 地点	78		
III 松山遺跡第 83 地点	79		

挿図目次

第1図	ふじみ野市の位置と周辺の地形	4	第48図	長宮遺跡遺構分布図(1/2,500)	65
第2図	ふじみ野市遺跡分布図(1/30,000)	6	第49図	長宮遺跡第52地点遺構配図(1/300)、土層(1/150)、土坑・井戸・ビット・溝(1/60)	66
第3図	鶴ヶ岡遺跡の地形と調査区(1/4,000)	8	第50図	長宮遺跡第52地点出土遺物①(1/4・1/6)、トレンチ・土坑・井戸・ビット・土器説明	67
第4図	鶴ヶ岡遺跡第7地点遺構配図(1/500)、土層(1/150)、土坑(1/60)、出土遺物(1/4)	9	第51図	長宮遺跡第52地点出土遺物②(1/4・1/1)	68
第5図	西遺跡の地形と調査区(1/4,000)	10	第52図	亀居遺跡の地形と調査区(1/4,000)	69
第6図	西遺跡遺構分布図(1/2,000)	12	第53図	亀居遺跡第75～77地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	75
第7図	西遺跡第2地点遺構配図(1/500)	13	第54図	鶴ヶ岡遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第23地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	72
第8図	西遺跡第2地点24～26号住居跡・土坑・ビット(1/60)	14	第55図	鶴ヶ岡遺跡第24地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	73
第9図	西遺跡第2地点出土遺物(1/4・2/3)	15	第56図	松山遺跡の地形と調査区(1/4,000)	74
第10図	西遺跡第3地点遺構配図(1/300)、土層(1/150)	17	第57図	松山遺跡遺構分布図(1/3,000)	76
第11図	西遺跡第3地点27・28号住居跡(1/60)、竪(1/30)	18	第58図	松山遺跡第82地点遺構配図(1/300)、堀跡(1/60)、出土遺物(1/4)	78
第12図	西遺跡第3地点29号住居跡・土坑(1/60)、竪石土坑(1/30)	19	第59図	松山遺跡第83地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)	79
第13図	西遺跡第3地点出土遺物①(1/4・2/3)	20	第60図	松山遺跡第84地点遺構配図(1/300)	80
第14図	西遺跡第3地点出土遺物②(1/4)	21	第61図	松山遺跡第84地点H35号住居跡・掘方・井戸(1/60)、出土遺物(1/4)	81
第15図	西遺跡第3地点出土遺物③(1/4)	22	第62図	江川東遺跡の地形と調査区(1/4,000)	82
第16図	西遺跡第3地点出土遺物④(1/4)	23	第63図	江川東遺跡第24地点調査区区域(1/300)	83
第17図	北野遺跡の地形と調査区(1/4,000)	26	第64図	東久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第72地点遺構配図(1/300)、溝(1/60)	84
第18図	北野遺跡第31地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	27	第65図	東中学校西遺跡の地形と調査区(1/4,000)	86
第19図	北野遺跡第31地点出土遺物(1/4)、第32地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	28	第66図	東中学校西遺跡第36地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	87
第20図	北野遺跡第34地点遺構配図(1/300)、第35地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)、ビット(1/60)、第34地点出土遺物(1/4)	29	第67図	西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)	88
第21図	北野遺跡第36・37地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)、第36地点出土遺物(1/4)	30	第68図	西ノ原遺跡遺構分布図(1/2,000)	92
第22図	川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)	31	第69図	西ノ原遺跡第164地点遺構配図(1/300)、土層(1/150)、218号住居跡・ビット(1/60)、竪(1/30)	94
第23図	川崎遺跡遺構分布図(1/2,500)	33	第70図	西ノ原遺跡第164地点屋外埋戻(1/30)、土坑(1/60)、溝(1/100)	95
第24図	川崎遺跡第42地点遺構配図(1/300)、土層(1/150)、H79号住居跡(1/60)	35	第71図	西ノ原遺跡第164地点出土遺物(1/4)	96
第25図	川崎遺跡第42地点出土遺物(1/4)	36	第72図	西ノ原遺跡第165・166地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	97
第26図	川崎遺跡第43地点遺構配図(1/300)、竪石(1/30)、出土遺物(1/4)	37	第73図	西ノ原遺跡第167地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)	98
第27図	川崎遺跡第44地点遺構配図(1/300)、地下式坑(1/60)	38	第74図	神明後遺跡の地形と調査区(1/4,000)	99
第28図	川崎遺跡第44地点貝殻(1/30)、地下式坑出土貝殻の貝類遺体組成	39	第75図	神明後遺跡第54地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	100
第29図	ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)	40	第76図	浄神寺跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)、第40地点出土遺物(1/4)	101
第30図	ハケ遺跡第21地点調査区区域(1/300)	41	第77図	浄神寺跡遺跡第41地点遺構配図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ビット(1/60)、出土遺物(1/4)	103
第31図	稚見山遺跡の地形と調査区(1/4,000)	42	第78図	小田久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)	104
第32図	稚見山遺跡第26地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	43	第79図	小田久保遺跡第11・12地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	105
第33図	稚見山遺跡の地形と調査区(1/4,000)	44	第80図	大井氏館跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)	106
第34図	滝遺跡遺構分布図(1/2,000)	46	第81図	大井氏館跡遺跡第26地点調査区区域(1/300)、土層(1/60)、出土遺物(1/4)	107
第35図	滝遺跡第26地点遺構配図(1/300)	48	第82図	本村遺跡の地形と調査区(1/5,000)	108
第36図	滝遺跡第26地点H42号住居跡(1/60)、竪(1/30)	49	第83図	本村遺跡第129地点遺構配図(1/300)、土層(1/60・1/150)、ビット(1/60)、出土遺物(1/4)	111
第37図	滝遺跡第26地点H43号住居跡(1/60)	50	第84図	本村遺跡第130地点遺構配図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ビット(1/60)、出土遺物(1/4)	112
第38図	滝遺跡第26地点H43号住居跡掘方・掘方(1/30)、土坑(1/60)	51	第85図	本村遺跡第131地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	113
第39図	滝遺跡第26地点井戸①・落し穴(1/60)	52	第86図	東台遺跡の地形と調査区(1/5,000)	114
第40図	滝遺跡第26地点井戸②・ビット(1/60)	53	第87図	東台遺跡第60地点調査区区域(1/300)、土層(1/150)	116
第41図	滝遺跡第26地点ビット③(1/60)	54			
第42図	滝遺跡第26地点遺構(1/60)	55			
第43図	滝遺跡第26地点出土遺物①(1/4・1/1)	57			
第44図	滝遺跡第26地点出土遺物②(1/4)	58			
第45図	滝遺跡第27地点遺構配図(1/300)、土層(1/150)、H44号住居跡・掘方(1/60)、遺物出土状況(1/30)	60			
第46図	滝遺跡第27地点出土遺物(1/4)	61			
第47図	長宮遺跡の地形と調査区(1/4,000)	62			

目 次

第1表	過去3年間の調査件数と面積一覧表	1	第27表	滝道跡第26地点ピット一覧表	56
第2表	2015(平成27)年度埋蔵文化財調査一覧表	2	第28表	滝道跡第26地点出土遺物観察表	58
第3表	2015(平成27)年度立会い調査一覧表1(埋蔵文化財包蔵地内)	3	第29表	滝道跡第27地点出土遺物観察表	61
第4表	2015(平成27)年度立会い調査一覧表2(埋蔵文化財包蔵地外)	3	第30表	長宮遺跡調査一覧表	63
第5表	ふじみ野市道跡一覧表	7	第31表	長宮遺跡第52地点ピット一覧表	66
第6表	縄文時代中期時期細分対比表	7	第32表	長宮遺跡第52地点出土遺物観察表	68
第7表	鶴ヶ岡遺跡調査一覧表	9	第33表	長宮遺跡第52地点出土石器観察表	68
第8表	西遺跡調査一覧表	11	第34表	亀居遺跡調査一覧表	70
第9表	西遺跡縄文時代住居跡一覧表	11	第35表	鶴ヶ岡遺跡調査一覧表	73
第10表	西遺跡第2地点出土遺物観察表	16	第36表	松山遺跡調査一覧表	75
第11表	西遺跡第3地点J27号住居内ピット一覧表	17	第37表	松山遺跡古代住居跡一覧表	77
第12表	西遺跡第3地点築石土坑・出土磚観察表	19	第38表	江川東遺跡調査一覧表	82
第13表	西遺跡第3地点出土遺物観察表	24	第39表	東久保遺跡調査一覧表	85
第14表	北野遺跡調査一覧表	27	第40表	東中学校西遺跡調査一覧表	87
第15表	北野遺跡第31地点出土遺物観察表	28	第41表	西ノ原遺跡調査一覧表	89
第16表	川崎遺跡調査一覧表	32	第42表	西ノ原遺跡住居跡一覧表	90
第17表	川崎遺跡古代住居跡一覧表	34	第43表	西ノ原遺跡第164地点土坑一覧表	93
第18表	川崎遺跡第42地点出土遺物観察表	36	第44表	西ノ原遺跡第164地点出土遺物観察表	96
第19表	川崎遺跡第44地点地下式坑出土貝類の貝類出土量と産出率	39	第45表	神明後遺跡調査一覧表	100
第20表	ハケ遺跡調査一覧表	41	第46表	浄禅寺跡遺跡調査一覧表	102
第21表	権助山遺跡調査一覧表	43	第47表	小田久保遺跡調査一覧表	104
第22表	滝道跡調査一覧表	45	第48表	大井氏館跡遺跡調査一覧表	106
第23表	滝道跡古代住居跡一覧表	47	第49表	木村遺跡調査一覧表	109
第24表	滝道跡第26地点H43号住居内ピット一覧表	50	第50表	木村遺跡第130地点ピット一覧表	112
第25表	滝道跡第26地点土坑一覧表	56	第51表	東台遺跡調査一覧表	115
第26表	滝道跡第26地点戸戸一覧表	56			

写真図版目次

写真図版1	鶴ヶ岡遺跡第7地点、西遺跡第2地点(1)	121	写真図版15	滝道跡第26(6)・27(1)地点	135
写真図版2	西遺跡第2地点(2)	122	写真図版16	滝道跡第27地点(2)	136
写真図版3	西遺跡第2地点(3)	123	写真図版17	長宮遺跡第52地点(1)	137
写真図版4	西遺跡第3地点(1)	124	写真図版18	長宮遺跡第52地点(2)、亀居遺跡第75地点	138
写真図版5	西遺跡第3地点(2)	125	写真図版19	亀居遺跡第76・77地点、鶴ヶ岡遺跡第23・24地点	139
写真図版6	西遺跡第3地点(3)	126	写真図版20	松山遺跡第82・83・84(1)地点	140
写真図版7	北野遺跡第31・32・34地点	127	写真図版21	松山遺跡第84地点(2)、江川東遺跡第24地点、東久保遺跡第72地点、東中学校西遺跡第36地点	141
写真図版8	北野遺跡第35・36・37地点、川崎遺跡第42地点(1)	128	写真図版22	西ノ原遺跡第164地点(1)	142
写真図版9	川崎遺跡第42(2)・43地点	129	写真図版23	西ノ原遺跡第164(2)・165・166地点	143
写真図版10	ハケ遺跡第21地点、権助山遺跡第26地点、滝道跡第26地点(1)	130	写真図版24	西ノ原遺跡第167地点、神明後遺跡第34地点、浄禅寺跡遺跡第40・41地点	144
写真図版11	滝道跡第26地点(2)	131	写真図版25	小田久保遺跡第11・12地点、大井氏館跡遺跡第26地点	145
写真図版12	滝道跡第26地点(3)	132	写真図版26	木村遺跡第129・130(1)地点	146
写真図版13	滝道跡第26地点(4)	133	写真図版27	木村遺跡第130(2)・131地点、東台遺跡第60地点	147
写真図版14	滝道跡第26地点(5)	134			

第1章 遺跡の調査と概要

1 調査に至る経過

埼玉県ふじみ野市は、首都圏30km圏内の県南西部に位置する。2005(平成17)年10月1日に、上福岡市と大井町が合併して誕生した。面積14.64km²、人口は2018(平成30)年7月現在114,163人である。

旧上福岡市地域では明治・大正時代頃までは畑作と稲作、旧大井町地域では畑作を中心とする農村地帯であった。また、近世以降は川越街道(大井宿)や新河岸川(福岡河岸)、東武東上線(上福岡駅)などの交通網が発達した交通の要所でもあった。

昭和初期の太平洋戦争時には、旧福岡村に通信施設や旧日本陸軍造兵廠東京工廠福岡工場(火工廠)が建設され、戦後の昭和30年代以降には各市町で中・小の宅地開発や大規模な団地が誕生し人口が急増した。また企業の工場や研究所も多数進出してきた。昭和60年代以降、旧大井町地域では大規模な土地区画整理事業が進み、埋蔵文化財の発掘調査も行われた。現在は上福岡駅周辺の再開発と、ふじみ野駅周辺の民間開発が活発に行われている。

ふじみ野市では平成17年から国庫・県費の補助を受けて、「市内遺跡群発掘調査事業」(旧上福岡市、旧大井町では昭和53年度から合併まで)として試掘・確認調査及び個人住宅建設に伴う発掘調査を実施してきた。また民間の開発に伴う本調査も原因者と協議の上、協定書並びに契約書を締結し原因者負担のもと、市教育委員会が主体となって本調査を実施している。

埋蔵文化財の調査は、庁内関係各課と連絡調整を行い、農業委員会事務局からの農地転用許可申請段階、

建設課(民間の指定確認検査機関含む)への建築確認申請段階、都市整備課からの開発行為の事前申請段階等でそれぞれチェックされる。その後、教育委員会では開発主体者または土地所有者から「埋蔵文化財包蔵地の開発事前協議書」(以下「埋蔵文化財事前協議書」)の提出を受けて事前協議を行った。埋蔵文化財包蔵地内及びその縁辺部の申請に対して遺跡地図と照合のうえ、現地踏査を実施し現地の状況を確認の上、遺跡に影響を及ぼすとみなされる開発行為に対して申請者に連絡をして協議を行った。

協議後、文化財保護法第99条第5項にもとづき、民間・公共事業を問わず確認調査については全て公費で対応し、埋蔵文化財包蔵地の詳細な範囲の把握を積極的に実施している。また、その個人の用に供する住宅(個人住宅)の建設に伴う発掘調査についても、教育委員会が発掘調査主体者となって調査を実施した。

2015年度の試掘及び発掘調査は第2表のとおりで、国庫・県費補助事業対象の調査15件である。また、試掘調査の結果、個人住宅建設に伴う本調査1件、公共事業に伴う本調査0件、民間開発に伴う本調査7件を行った。開発面積は26,577.58㎡で、そのうち実質調査面積は試掘6,224.98(本調査面積1,636.0)㎡である。過去3年間の調査件数と調査面積を第1表に掲載する。

今後、中小規模の再開発を含む民間開発の増加が見込まれる中で、埋蔵文化財の保存及び活用と、調査体制の強化が求められるところである。

第1表 過去3年間の調査件数と面積一覧表

年度	件数・内訳 試掘件数 開発面積㎡	個人住宅		調査原因の内訳
		原因者負担 本調査件数	原因者負担 本調査件数	
		開発面積㎡	開発面積㎡	
2013(平成25)年度	54件	3件	6件	個人住宅20、共同住宅5、分譲住宅13、宅地造成等4、道路4、店舗4、高齢者デイサービスセンター等2、神社事務所1、苗間薬師堂1
	86,664	769	63,501	
2014(平成26)年度	46件	6件	7件	個人住宅20、分譲住宅12、共同住宅5、事務所1、葬祭場1、宅地造成3、病院増築1、駐車場1、店舗1、道路1
	27,152	128	1,418	
2015(平成27)年度	47件	1件	7件	個人住宅17、共同住宅6、分譲住宅13、宅地造成5、店舗1、駐車場2、保育所1、老人介護施設1、集会所1
	25,714	368	9,108	

第2表 2015(平成27)年度埋蔵文化財調査一覧表

No	遺跡・地点名	申請地住所	開発面積 (㎡)	試掘面積	個人住宅 本調査面積 民間開発 本調査面積	原因	試掘期間		調査措置
							本調査期間	民間開発 本調査期間	
1	鶴ヶ岡遺跡第6地点	鶴ヶ岡3-3-20の一部	1983.51	614	16	保育所	5/15~27 7/10~8/19	試掘調査・本調査	
2	鶴ヶ岡遺跡第7地点	鶴ヶ岡3-3-20・21	1731.79	445.5		老人介護施設	12/22~1/29	試掘調査	
3	西遺跡第2地点	西2-5905-1	2393	485.5		共同住宅	5/27~29	試掘調査	
4	西遺跡第3地点	西2-2071-1	476	108.7		共同住宅	1/25~27	試掘調査	
5	北野遺跡第31地点	北野2-2130-4・9	179	21.5		分譲住宅	8/18	試掘調査	
6	北野遺跡第32地点	北野2-1841-7他	209.32	4.5		分譲住宅	8/27	試掘調査	
7	北野遺跡第33地点	北野2-1801-3・4・42・43	627.69	169.55	30	分譲住宅	12/1~8 12/15~21	試掘調査・本調査	
8	北野遺跡第34地点	大原2073-1	276.13	24		共同住宅	12/7~8	試掘調査	
9	北野遺跡第35地点	北野2-2116-4	53	4		個人住宅	12/8	試掘調査	
10	北野遺跡第36地点	大原1-2058-10・11の各一部	212	31.36		共同住宅	2/15~16	試掘調査	
11	北野遺跡第37地点	北野1-3127-23・25	70.25	2.76		個人住宅	3/25	試掘調査	
12	川崎遺跡第42地点	川崎字宅地添233-3	200	39		集合所	6/26~7/2	試掘調査	
13	川崎遺跡第43地点	川崎字宮後165-5・8・9	175.21	20		個人住宅	6/26	試掘調査	
14	川崎遺跡第44地点	川崎字宅地添202-1・8	273.56	123.95	123	分譲住宅	11/24~12/10 1/5~20	試掘調査・本調査	
15	ハケ遺跡第19地点	福岡3-1222-1、1223~1225、1255	2296	572.6	885	宅地造成	4/2~5/11・10/13 6/2~9/19	試掘調査・本調査	
16	ハケ遺跡第20地点	福岡3-1252-1	375	90.4	33	分譲住宅	10/14~16 10/29~30	試掘調査・本調査	
17	ハケ遺跡第21地点	福岡3-1193-4・15、2069-10	101	20.2		個人住宅	1/5	試掘調査	
18	権現山遺跡第26地点	権1-3-23	97	9		個人住宅	11/30	試掘調査	
19	滝遺跡第26地点	滝2-5-6・8 滝2-5-39・40・41・42	368.92 862.92	242 131.87	19.2	個人住宅 分譲住宅	10/19~27 11/9~10 2016.8/24~9/9	試掘調査・本調査 試掘調査	
20	滝遺跡第27地点	滝1-1-25	155	29		個人住宅	11/27~12/1	試掘調査	
21	長宮遺跡第52地点	中央1-3-24	484	110.14		分譲住宅	3/11~17	試掘調査	
22	亀形遺跡第75地点	亀久保2-17-10の各一部	244.26	21.7		個人住宅	6/5~8	試掘調査	
23	亀形遺跡第76地点	鶴ヶ岡2-3-2	263	52		分譲住宅	8/6	試掘調査	
24	亀形遺跡第77地点	亀久保2-9-24	168	47.25		個人住宅	3/18	試掘調査	
25	鶴ヶ舞遺跡第23地点	鶴ヶ舞1-73-19	72	10		分譲住宅	6/29	試掘調査	
26	鶴ヶ舞遺跡第24地点	鶴ヶ舞1-67-3・4の一部	499	25.5		個人住宅	8/31	試掘調査	
27	松山遺跡第82地点	本新田411の一部	194	35		個人住宅	7/30~31	試掘調査	
28	松山遺跡第83地点	仲1-2-22	98	6		分譲住宅	8/31	試掘調査	
29	松山遺跡第84地点	築地3-4-13	455	190		宅地造成	9/15~16	試掘調査	
30	松山遺跡第85地点	池上362-1の一部、364の一部、365の一部、366の一部	1244.47	485.6	93	分譲住宅	10/1~19 10/20~26	試掘調査・本調査	
31	江戸東遺跡第24地点	東久保1-32-12	91.92	6		個人住宅	11/27	試掘調査	
32	東久保遺跡第72地点	ふじみ野2-6-7	100	7		個人住宅	7/2	試掘調査	
33	東中学校西遺跡第36地点	ふじみ野4-3-6・7	724	134		駐車場	8/11	試掘調査	
34	西ノ原遺跡第164地点	苗間1-15-8	647	245		駐車場	5/11~18	試掘調査	
35	西ノ原遺跡第165地点	旭1-12-1	160	25.8		個人住宅	9/30	試掘調査	
36	西ノ原遺跡第166地点	旭1-13-1・17-18	212.01	15.7		分譲住宅	11/5	試掘調査	
37	西ノ原遺跡第167地点	旭1-8-1	349	83.67		アスファルト造成	11/9~10	試掘調査	
38	神明後遺跡第54地点	苗間字神明後293-7・9	342	6		共同住宅	12/3	試掘調査	
39	淨禅寺遺跡第40地点	苗間355-1・2・12	2308.06	619	456	分譲住宅	8/19~9/30 10/1~11/9	試掘調査・本調査	
40	淨禅寺遺跡第41地点	苗間字神明前509-1・5	349.73	85.4		分譲住宅	12/21	試掘調査	
41	小田久保遺跡第11地点	大井字西原985-4	330.16	30		個人住宅	5/14	試掘調査	
42	小田久保遺跡第12地点	大井字小田久保1190-1・2・4、1196-1・2	279	24		個人住宅	8/18	試掘調査	
43	大井氏館遺跡第26地点	大井1-11-1・2・10・11の各一部、11-8	993.73	12.75		店舗	6/1	試掘調査	
44	本村遺跡第129地点	大井2-20-4	1,253.99	397.3		宅地造成	11/5~13	試掘調査	
45	本村遺跡第130地点	大井2-16-17	776	263.3		宅地造成	11/16~20	試掘調査	
46	本村遺跡第131地点	市沢2-8-2	135.18	22.18		共同住宅	3/4~8	試掘調査	
47	東台遺跡第60地点	大井字東台597-2	687.77	75.5		個人住宅	7/7	試掘調査	
合計			26,577.58	6,224.98	19.2 1,636.0				

第3表 2015(平成27)年度立会い調査一覧表1(埋蔵文化財包蔵地内)

No.	遺跡・地点	申請種別内容	敷地面積(m ²)	業 界	立会日	備 考
1	観音寺	観音寺19-17-3		ガス管敷設工事	立会済	アスファルト埋立工事時発生。遺構物なし慎重工事
2	北野	北野1125-5	54	個人住宅	7/7立会	解体工事発生遺構物確認なし。地のため工事発生
3	大野	大野5-11-2-22	6.31	ガス管敷設工事	調査済	掘削箇所にて一部調査済み。工事発生
4	川崎町(東部)	川崎町1609-7	79	個人住宅	4/15立会済	4/15立会済。掘削発生。遺構物なし
5	川崎町	川崎町24-24-10	202	個人住宅	3/2立会済	約800㎡発生。遺構物なし。地のため工事発生
6	横山	横山3-36	92	個人住宅	9/15立会	既存建物撤去時発生確認。遺構物なし。地のため工事発生
7	高野	上野1-2-66	171	個人住宅	6/16立会済	解体発生一部確認。確認箇所900㎡遺構物なし。保護層有工事発生
8	長原	中野1-2-1	120.03	分譲住宅	立会済	4/23-3/27にて解体工事。確認箇所は約1312㎡遺構物なし
9	長原	中野1-2-2	130	分譲住宅	4/20立会	立ち入り確認済。遺構物確認なし。慎重工事
10	観音寺	福原町1411-1の一部+6	1965.86	分譲住宅	9/17立会	高さ制限により遺構物発生可能確認。工事発生
11	観音寺	観音寺1-6-3	499.49	古建築解体工事	10/22立会	立会済。遺構物確認なし。慎重工事
12	観音寺	観音寺1-6-5	42	個人住宅	調査済	掘削箇所にて一部調査済み。工事発生
13	観音寺	観音寺1-6-5	411.67	個人住宅	3/23立会	掘削箇所にて一部調査済み。工事発生
14	観音寺	観音寺1-5B-1		ガス管敷設工事	立会済	跡小堀にて調査発生
15	観音寺	観音寺1-12		ガス管敷設工事	7/6立会	立会済
16	観音寺	観音寺2-10	955.67	個人住宅		堀山ローマ並みの約900㎡、20-30㎡埋立あり保護層有工事発生
17	観音寺	観音寺2-4-6	429.13	分譲住宅	7/21立会	7/21埋立発生一部確認済。遺構物なし。着工発生。地のため工事発生
18	観音寺	観音寺1-42-43-47	159	個人住宅	12/2立会	12/2埋立発生。埋立発生箇所にて地上部土層確認。保護層有埋立工事
19	観音寺	観音寺1-64-5-9	4	ガス管敷設工事	9/7立会	遺構物なし慎重工事
20	川崎町	観音寺1-33	135	個人住宅	7/28立会	立会済一部確認。地のため工事発生
21	川崎町	観音寺11-8-2	424.82	電気配線工事	8/19立会	掘削にて調査発生確認。工事発生
22	観音寺	観音寺1-11-8	280.09	個人住宅	4/15埋立確認	掘削箇所発生。埋立発生箇所にて立会済。立会発生
23	観音寺	観音寺1-8-3	1	本社+住宅建築工事	4/16立会	4/16立会。堀山ローマ並み400㎡。遺構物なし
24	観音寺	上土野1-9-40の一部	213.39	店舗(兼)住宅	3/3立会済	駐車場アスファルト埋立発生確認。堀山ローマ並みの約900㎡、20-25㎡埋立あり。保護層有工事発生
25	高野	加1-14-3	1662	個人住宅(埋立)等調査確認		堀山ローマ調査発生確認。工事発生
26	浄律寺	浄律寺11-1	597	個人住宅(埋立)等調査発生		掘削箇所発生確認。立会済。立会発生
27	浄律寺	浄律寺11-1	1	電気工事	4/13立会	50㎡埋立発生。埋立発生箇所にて調査発生。立会発生
28	浄律寺	浄律寺1-6380-22_501-1	189	個人住宅	7/22立会	5/19埋立発生。埋立発生箇所にて調査発生。立会発生
29	浄律寺	浄律寺1-6381-7-9	284.31	分譲住宅	9/10立会	埋立発生箇所。保護層有工事発生。遺構物なし
30	浄律寺	浄律寺1-6382-2	67.82	分譲住宅	1/28立会	立会済発生確認。立会発生
31	浄律寺	浄律寺1-6383-5	154	ガス管敷設工事	調査済	掘削箇所発生確認。立会済発生。立会発生
32	大井町	大井町西原3051-1の一部	106.66	賃貸住宅	4/7立会	解体工事発生約500㎡埋立発生。工事発生
33	大井町	大井町196-1	1	本社+住宅建築工事	7/6立会	掘削箇所発生確認。立会済発生
34	大井町	南沢2丁15-5	2097	公園(埋立)等調査	8/25立会	埋立発生箇所発生確認。遺構物確認なし
35	高野	大井町西原3051-1の一部	221	店舗	7/20立会	埋立発生箇所発生確認。埋立発生箇所発生確認。遺構物なし。慎重工事
36	高野	大井町西原3054-21	220	個人住宅	11/13立会	埋立発生箇所発生。遺構物確認なし。慎重工事
37	高野	大井町21	2928	電気配線工事	調査済	跡小堀にて調査発生。立会発生

第4表 2015(平成27)年度立会い調査一覧表2(埋蔵文化財包蔵地外)

No.	遺跡・地点	申請種別内容	敷地面積(m ²)	業 界	立会日	備 考
1	長野原	若ノ木1丁目13-40-57	181.96	分譲住宅	10/26立会	立会済
2	観音寺	福原町大野崎22-1	499.9	個人住宅	立会済	遺構より5.5cm埋立あり
3	豊久保遺跡	丸山27-1	788	分譲住宅	7/15立会	立会済
4	大井町	大井町1-4	130	個人住宅	7/21立会	立会済
5	高野	大井町西原3054-44	139	分譲住宅	立会済	立会済
6	高野	清原1丁目1-5-8-9	2012	店舗	6/24立会	立会済
7	観音寺	観音寺大野原1614-2+11	2269.94	工場跡		埋立発生箇所発生確認。遺構物確認なし
8	上野	上野5-1129-14	2934.27	店舗	8/16立会	立会済
9	観音寺	観音寺大野原1609-5	1380.99	工場	10/14立会	立会済
10	観音寺	観音寺1丁目13-2-1-40の一部	1823	分譲住宅	11/8立会	立会済
11	市川	市川6-350-1部、6-40-1部、6-50-7	1184	サービス付高齢者向け住宅		立会済
12	上野	上野5-805-1_801-2部	1470.04	分譲住宅	10/7立会	立会済
13	大井町	大井町2-1192-2-1-3	8127.43	埋立発生箇所発生確認	3/18立会	立会済

II 立地と環境

ふじみ野市は埼玉県の南西部に位置し、市内には国道254号バイパス、東武東上線、川越街道(国道254号線)、関越自動車道といった、交通の幹線が北西から南東方向に平行して存在する。市内の開発はこうした幹線沿いや、東武東上線上福岡駅周辺、ふじみ野駅周辺を中心に進んでいるが、郊外には畑や田園風景も多くみられる。

ふじみ野市を地形的にみると、武蔵野台地と荒川低地に大きく分かれ、旧大井町域は武蔵野台地縁部に位置し、旧上福岡市域は台地縁部から荒川低地の沖積地に広がる。

武蔵野台地は古多摩川が形成した扇状地で、扇頂部で標高180m、扇端部は標高15～20mで比高差10m前後の急斜面となって荒川低地に接している。台地には柳瀬川、黒目川、石神井川等の中河川が荒川低地へ向かって流れ、深い谷と沖積地を形成し、河川に沿って多くの遺跡が分布している。他にも多数の小河川が

流れ、台地縁辺を鋭角状に開析することが多いが、中には急崖もなく、緩斜面のまま低地に接していることがある。この緩斜面はもともと低位の段丘面で、低位台地と呼ばれる。旧大井町域を南北方向の断面図で見ると、北と南に高台が続き、その間に低位台地(大井台)がある。この大井台の中を3本の河川が東流し、河川の流域に遺跡が集中している。中でも砂川堀は狭山丘陵に流れを発生する中河川で、本来大井台はこの砂川の段丘面と捉えることができる。また、福岡江川や富士見市との境を流れるさかい川、浄律寺川などの小河川は市内に湧水源をもつ。湧水源は浅い窪地から発生しており、こうした窪地の形成は従来から伏流水が再湧出したことによるものと、雨水からの流出によるものとの二通りが考えられている。

荒川低地は、荒川により形成された沖積地で、ふじみ野市の北東部から東部にかけて広がる。荒川の支流であった新河岸川は川越市周辺に水源を発生しその流れはふじみ野市、富士見市、志木市、朝霞市を経て東京

部にまたがる。武蔵野台地縁辺部を縫うように流れ、不老川、九十川、福岡江川、砂川堀、柳瀬川、黒目川、越戸川、白子川などの支川と合流し、現在は東京都北区で隅田川に合流する。低地部は平坦に見えるが、荒川や新河岸川の河川改修等で取り残された沼や、氾濫してきた旧河川(埋没河川)、自然堤防、後背湿地などの地形が存在する。

III 市内の遺跡

ふじみ野市の遺跡分布をみると、台地上の中小河川沿いと荒川低地部を望む縁辺部、低地部分に分かれる。

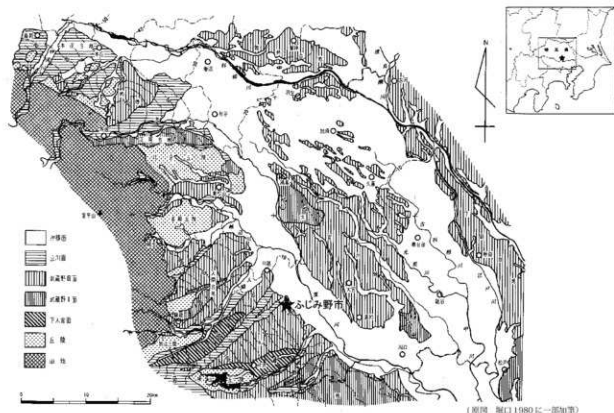
市内の主な遺跡を時代順に河川ごとに概観する。

【旧石器時代・縄文時代】市の北側を流れる川越江川では、右岸高台に鶴ヶ岡外遺跡、鶴ヶ岡遺跡、八幡神社遺跡(川越市)が位置し、縄文時代中期の集落である西遺跡へ続く。鶴ヶ岡外遺跡では旧石器時代の石器群と礫群が出土し、八幡神社遺跡では縄文時代中期の住居跡などが検出されている。

藤岡江川・川越江川が新河岸川に合流する部分、荒川低地に張り出した舌状台地上に、川崎貝塚として著名な川崎遺跡が立地する。本遺跡ではローム層中からではないが旧石器時代の石器が出土し、縄文時代早期から後期の住居跡などを検出する。新河岸川は川崎遺

跡を回り込み、低地部で台地東縁を沿うように流れる。台地東端は急峻を成し、崖線には縄文時代中期のハケ遺跡、学史上著名な前期集落の上福岡貝塚が形成され権現山遺跡へと続く。台地の南端、市立福岡中学校周辺はかつて「熊野山」と呼ばれ、湧出した水が丘上から流れ落ち滝となっていたため「滝地区」の名称が付いたとされる。清水は長宮氷川神社の裏手(北側)を北に流れていたが現在は道路となっており、新河岸川との合流部でその面影を残すのみである。滝遺跡、長宮遺跡はこの小河川に對峙して立地し、滝遺跡では前期の遺構と遺物を、長宮遺跡では前期開山期の集落跡が確認されている。

川越江川の1km南には福岡江川が流れ、新河岸川へ注ぐ。福岡江川の湧水地周辺に縄文時代中期前半の集落である亀居遺跡が存在し、対岸にも中期前半の江川南遺跡がある。この2遺跡と鶴ヶ岡遺跡では、旧石器時代立川ローム第四層の礫群と石器群を検出している。さらに市立亀久保小学校周辺では福岡江川に注ぐ埋没谷がみられ、東久保遺跡、亀久保跡遺跡、東久保西遺跡、東中学校西遺跡で旧石器時代中期に縄文時代中期の遺構と遺物が確認されている。川越江川最下流の新河岸川との合流部域には、前期集落の鷺森遺跡が存在する。



第1図 ふじみ野市の位置と周辺の地形

福岡江川の900 m南には、富士見市との境にさかい川が流れ、3 km下流で砂川堀と合流する。流域には縄文時代中期の拠点集落である西ノ原遺跡の他、10遺跡が存在する。旧石器時代の遺跡は西ノ原遺跡、中沢前遺跡、中沢遺跡・外記塚遺跡（富士見市）で立川ロームⅢ層～Ⅹ層の遺物が確認されている。縄文時代中期～後期の集落は時代を追うごとに、上流から下流域へ集落の拠点を移していく傾向がみられる。

さかい川の800m南に、都市下水道と化した砂川堀が流れる。砂川流域は大きく3ヶ所の地域で遺跡分布がみられる。砂川最上流域の狭山丘陵裾部、伏流水となりはじめる中流域、一旦地中に姿を消したあと再び湧水してくる下流域である。下流域のふじ野市地域では、砂川右岸が段丘となり5～6mの急崖を形成する。この高台上には縄文時代中期の拠点集落である東台遺跡があり、旧石器時代の遺跡も西台遺跡から東台遺跡まで連続と続く。一方砂川左岸の低位台地では、市内で最古の時期であるA T降灰前（立川ローム第Ⅶ層）の石器を本村遺跡の微高地から検出する。縄文時代中期には上流の小田久保遺跡で小規模な集落がみられ、本村遺跡では穴穴、落とし穴が散在する。

【弥生・古墳時代】 荒川低地を流れる新河岸川の自然堤防上に、弥生時代後期の環濠集落である伊佐島遺跡が立地する。新河岸川右岸、舌状台地崖線上の東端に立地する権現山遺跡は、縄文時代から中世までの複合遺跡で、縄文時代の住居跡も存在するが、主体は遺跡北東部と北西端に築造された古墳群と、古墳時代前期から奈良・平安時代にかけての集落跡である。北東部に築造された古墳時代前期の古墳群（埼玉県指定史跡権現山古墳群）は、方墳11基の他に古墳時代初期の前方後方墳（2号墳）1基である。また権現山古墳群北西端の台地縁辺部には、古墳時代中期の古墳群（通称権現山北古墳群）3基がある。ハケ遺跡第16地点の調査（2014）で、古墳の周溝から、6世紀中葉とみられる複数の人物埴輪と円筒埴輪が新たに発見されたが、古墳の形態や主体部については不明である。また第19地点の調査（2015）では6世紀代の円墳3基が新たに発見され、群集墳であることが判明した。

他に古墳時代の集落は川崎遺跡と上福岡貝塚、滝遺跡で確認されている。

【飛鳥・奈良・平安時代】 7世紀には、前述の舌状台地の西側、川崎遺跡の南西隣に川崎横穴墓群、さらに南約1.5 kmの台地南側の崖線に、富士見台横穴墓群が

存在する。集落は川崎遺跡、滝遺跡、松山遺跡、長宮遺跡など一段低い段丘面に展開し、川崎遺跡は10世紀前半まで、滝遺跡、松山遺跡は9世紀後半ごろまで続く。

8世紀代には前述の他、ハケ遺跡、上福岡貝塚、権現山遺跡、神明後遺跡、東久保南遺跡などで住居跡を検出する。8世紀中葉～9世紀前半まで、砂川堀右岸の台地縁辺部に東台遺跡の大規模な製鉄遺跡が現われ、周辺の遺跡でも木炭窯などが確認されている。さらに9世紀以降10世紀までは伊佐島遺跡、東台遺跡、西ノ原遺跡などで住居跡を検出している。またハケ遺跡からは鈔帯金具が、川崎遺跡からは瓦塔片と布目瓦などが出土しており注目される。

【中世】 駒林遺跡では14世紀代に造立された板碑の下に、蔵骨器が埋納された葺石墳墓を検出した。また本遺跡を囲む堀跡状の溝覆土層中から、茶臼跡などが確認されている。長宮遺跡、松山遺跡、本村遺跡などでは13～16世紀代の遺物を伴う遺構を検出する。特に本村遺跡では遺構を多数検出し、15世紀以降中世集落が発展したと思われる。

16世紀後半～17世紀前半では川崎遺跡、長宮遺跡、松山遺跡、神明後遺跡、浄禅寺跡遺跡などで屋敷地とみられる遺構を検出し、「新田」といった地名と共に開発の歴史を偲ぼせる。特に城山遺跡は荒川低地の自然堤防上に立地し、周囲を方形に堀跡で囲む中世から近世の居館跡と思われる。

また、松山遺跡、駒林遺跡、亀久保堀跡遺跡、神明後遺跡では時期不詳の長大な堀跡が検出されている。

【近世】 近世以降の遺跡は、多数の遺跡で遺物などが確認されている。主な近世遺跡の分布は中世村落から続く集落跡や、街道沿いの宿場や新河岸川の河岸跡、寺院跡などにみられる。中でも、川越街道沿い大井宿の範囲にある大井氏館跡遺跡、大井戸上遺跡や大井宿遺跡、亀久保村地藏院の江川南遺跡、旧田間村の寺院跡である浄禅寺跡遺跡、長宮氷川神社周辺の長宮遺跡、新河岸舟運で栄えた福岡河岸の福田屋などでまとまった遺構と遺物が確認されている。また鷺森遺跡で、近・現代の盛り土の中から陶磁器が多数出土しているが、埋め立ての為に他から持ち込まれた可能性がある。

近世以降では、昭和初期の旧日本陸軍の軍需工場である東京第一陸軍造兵廠川越製作所（通称造兵廠「火工廠」）の跡地で、防爆土塁・防空壕・水溜・消火栓・排水枘などの遺構や遺物が、近年の調査で確認されている。



第5表 ふじ野市遺跡一覧表

No.	遺跡名	主 な 時 代	遺跡番号	No.	遺跡名	主 な 時 代	遺跡番号
1	鶴ヶ岡外遺跡	旧石器、縄文早期の集落跡	30-036	25	東久保西遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-042
2	鶴ヶ岡遺跡	旧石器、縄文早期・中期の集落跡	30-047	26	駒林遺跡	近世の堀跡・中世の墳墓	25-013
3	西遺跡	縄文中期の集落跡	25-001	27	福岡新田遺跡	縄文時代の散布地、中・近世寺院	25-015
4	北野遺跡	縄文中期、奈良・平安の集落	25-002	28	鷺森遺跡	縄文前期の集落跡	25-017
5	川崎横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-004	29	伊佐島遺跡	古墳前期、平安の集落跡	25-021
6	川崎遺跡	旧石器、縄文前期・中期、古墳前期・中期、奈良・平安の集落跡	25-003	30	東中学校西遺跡	縄文早期・中期、近世の集落跡	30-008
7	ハケ遺跡	縄文中期の集落跡、奈良・平安の集落跡、6世紀代の古墳群	25-005	31	東久保南遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-032
8	上福岡貝塚	縄文前期、古墳前期、奈良・平安の集落跡	25-006	32	西ノ原遺跡	旧石器、縄文早期・中期・後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-001
9	権現山遺跡群(古墳群)	古墳前期の集落跡・古墳群、縄文中期、奈良・平安の集落	25-007	33	中沢前遺跡	旧石器、縄文早期・中期、近世の集落跡	30-044
10	瀧遺跡	縄文時代、古墳前期・中期、奈良・平安、近世の集落跡	25-008	34	神明後遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡	30-041
11	西原遺跡	縄文の散布地	25-025	35	苗間東久保遺跡	旧石器、縄文早期～後期	30-020
12	長宮遺跡	縄文前期、中・近世の集落跡	25-009	36	浄禅寺跡遺跡	旧石器、縄文早期・中期、中・近世の集落跡、近世寺院跡	30-022
13	龜居遺跡	旧石器、縄文前期・中期の集落跡	30-030	37	小田久保遺跡	旧石器、縄文早期～中期、中・近世の集落跡	30-040
14	鶴ヶ舞遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安の集落跡	30-046	38	大井宿遺跡	近世～近代の宿場跡	30-010
15	富士見台横穴墓群	古墳後期の横穴墓	25-011	39	大井氏館跡遺跡・大井戸遺跡	旧石器、縄文前期・中期、中・近世の集落跡	30-037
16	福遺跡	古墳後期の横穴墓	25-023	40	本村遺跡	旧石器、縄文早期～後期、中・近世の集落跡	30-034
17	松山遺跡	奈良・平安、中・近世の集落跡	25-010	41	西台遺跡	旧石器、縄文中期、奈良・平安、近世の集落跡	30-039
18	天神田遺跡	古墳中期の散布地	25-018	42	大井戸上遺跡	旧石器、縄文前期・中期、近世の集落跡	30-014
19	城山遺跡	中・近世の館跡	25-019	43	東台遺跡	旧石器、縄文早期～後期、奈良・平安～近世の集落跡、製鉄遺跡	30-024
20	川袋遺跡	奈良・平安の散布地	25-020	44	大井宿木戸跡	近世～近代の宿場跡	30-048
21	江川南遺跡	旧石器、縄文中期、中・近世の集落跡	30-007	45	石塔畑	中世の散布地	30-027
22	江川東遺跡	奈良・平安、近世の集落跡	30-045				
23	東久保遺跡	旧石器、縄文中期、近世の集落跡	30-009				
24	東久保堀跡遺跡	中世の堀跡	30-006				

第6表 縄文時代中期時期細分対比表

本書 2018 ①	安孫子昭二 1988 鈴木・山本 1988 ②	植木 弘 1994 ③	黒尾和久 1995 ④	谷井 他 1982 ⑤	考古学協会 1981 ⑥
猪沢・阿玉台 I b 古	猪沢・阿玉台 I b 古	猪沢・阿玉台 I b	中 期 前 半 a b c 1 2 3 4 半 1 2 3 4 E E4	1a 中 1b 古 2a 古 2a 新 3a 3b 古 3b 新	阿玉台 I b 前 IV b 阿玉台 I b 前 Va Vb VI VII VIII IXa IXb X XI XIIa XIIb XIII XIV
勝坂 I 古・新古・阿玉台 I b 新	勝坂第 I 様式	勝坂 I 様式		1a 新	II 期 阿玉台出現期
勝坂 I 新・新道新・阿玉台 II 古	II 様式	II 様式		1b 古	III 期 (勝坂最古段階)
勝坂 II 古・勝内古・阿玉台 II 新	III 様式	III 様式		2a 古	VI IV 期 (勝坂盛時段階)
勝坂 II 新・勝内新	IV 様式	IV 様式		2a 新	VII
勝坂 III 古・井戸尻・阿玉台 III 古	V 様式	V 様式		3a	VIII (勝坂終末)
勝坂 III 新・阿玉台 III 新	VI 様式	VI 様式		3b 古 3b 新	IXa IXb X XI XIIa XIIb XIII XIV
加曾利 E I 古	加曾利 E I 様式	加曾利 E I 直前		1a 1b 1c	加曾利 E I 古
加曾利 E I 新	古相 中相 新相 加曾利 E 2 様式	加曾利 E I 式		2a 2b 2c 古 2c 新	加曾利 E I 新
加曾利 E II	古相 中相 新相 加曾利 E 3 様式	加曾利 E II 式		3a 3b 3c	加曾利 E II
加曾利 E III	加曾利 E 4 様式	加曾利 E III 式	4	加曾利 E III	
加曾利 E IV				加曾利 E IV	

第2章 鶴ヶ岡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

鶴ヶ岡遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ藤間江川に面した標高22mの台地北縁に立地する東西200m以上の広い遺跡であり、その範囲は、川越市とふじみ野市にまたがっている。表面採集の遺物として、縄文早期のほか中期の各時期、平安時代の土器が知られており、複合遺跡である事を示している。表面採集の遺物は北の崖面寄りが密であり、住居などの集中部分と思われる。この部分のうち、ふじみ野市鶴ヶ岡八幡神社に接する川越市域部分で、1988年に調査が行われたが、その際に勝坂期末の住居1軒・加曾利EⅠ前期の住居1軒・加曾利EⅣ期の土坑などが検出され、ほぼ完形の有孔罅付土器を含む大量の土器と石器若干が出土している。また、本遺跡の下流にある西遺跡の一部が1992年以降の試掘・発掘調査で、阿玉台Ⅰb期、勝坂期Ⅱ～Ⅲ期、加曾利EⅢ期の住居など24軒が、確認または検出されている。

ふじみ野市、川越市にまたがる本遺跡のうち、ふじみ野市分は1991年に旧大井町の体験学習園開設のため初めて試掘調査を実施し、2018年4月現在、7地点で試掘調査、本調査を行っている。2015年7月の

第6地点の調査で、本遺跡で初めて旧石器時代と縄文時代早期の炉穴群が検出された。2001年7月に埼玉県教育委員会が本遺跡の南西側を試掘調査しているが、遺構・遺物は確認されていない。

II 鶴ヶ岡遺跡第6地点

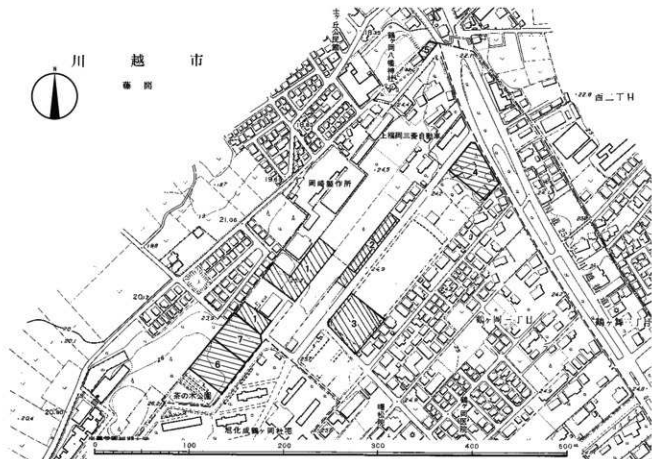
(1) 調査の概要

調査は保育園建設に伴い、2015年5月15日～27日に試掘調査、7月10日～8月19日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛した。

III 鶴ヶ岡遺跡第7地点

(1) 調査の概要

調査は老人ホーム建設に伴うもので、原因者より2015年10月21日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年12月22日～2016年1月29日に試掘調査を実施した。



第3図 鶴ヶ岡遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第3章 西遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

西遺跡は、藤間江川に面した標高22mの台地北縁、低地との比高差8m以上の急峻な崖面上に立地する南北150m、東西200m以上の遺跡である。上福岡駅まで約600mに位置する利便性のため、早くから宅地開発が進み遺跡の大部分は住宅地となっている。

周辺の遺跡は、西側に隣接して縄文時代中期の集落である鶴ヶ岡遺跡、川越市八幡神社遺跡がある。約800m上流に旧石器時代の礫群・石器群が広がる鶴ヶ岡外遺跡がある。また、藤間江川の支谷をはさんだ対岸には川越市藤原町遺跡があり、八幡神社遺跡とともに縄文時代の集落が広がる。さらに下流へ向かうと、「川崎貝塚」として著名な川崎遺跡、川崎横六墓群があり、旧石器時代から縄文、古墳、飛鳥・奈良・平安、中・近世にわたる複合遺跡となる。

本遺跡は1992年3月、駐車場造成に伴い約3,000㎡が発掘調査され、縄文時代中期中葉の勝坂期～加曽利E1期の住居跡17軒、集石土坑や土坑等を多数検出、1996年の第2・3次調査でも縄文集落を検出し、弧状に分布する縄文集落が明らかとなってきた。2018年4月現在、16ヶ所で試掘及び発掘調査が行なわれ、時期不明の溝跡等も検出している。主たる時代は縄文時代中期である。

II 西遺跡第2地点

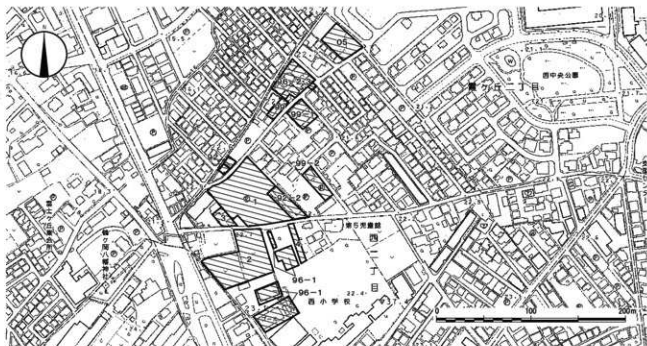
(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2015年4月14日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。

試掘調査は2015年5月27日～29日まで行った。幅1～1.8mのトレンチ11本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは25～40cmである。調査の結果、縄文時代の住居跡3軒、集石土坑3基以上、土坑、ビット多数を検出した。遺構への影響が避けられないため本調査が必要であったが、その後開発計画が中止となった。そのため、写真撮影・全測図等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお旧石器時代の調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

今回の調査では、縄文時代住居跡と土坑、ビットのプランを確認した。遺構の規模や性格を確認するため、部分的にサブトレンチを設定し掘削を行ったが、大部分は未掘のままである。その際に出土した遺物を第9図及び観察表を第10表に掲載した。



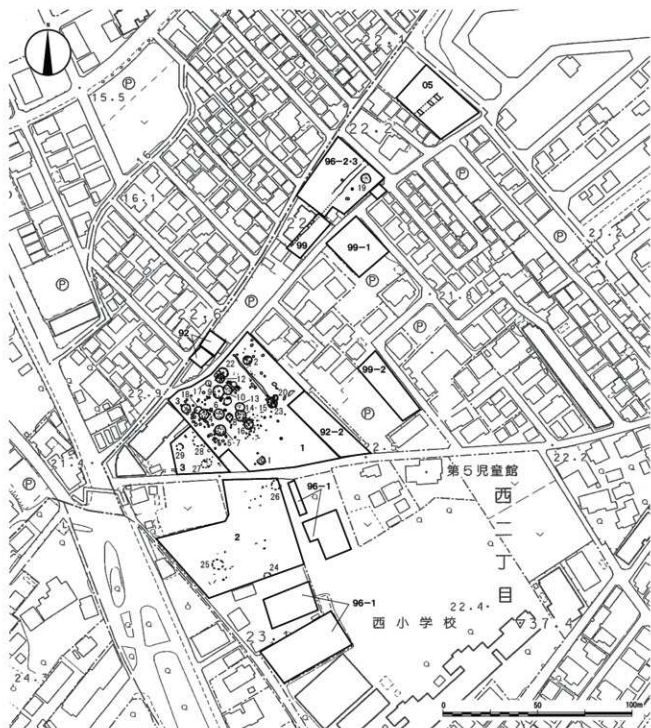
第5図 西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第8表 西遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (1)は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1991年試掘	西2-5905	1991.7.23~7.31	350	防火水櫃	遺構・遺物なし。	埋蔵文化財の調査(14)
第1次	西2-2068	1992.1.14~3.19) 1992.3.23~5.2	3,061	駐車場	縄文中期住居17、集石遺構17、土坑65	上福岡市遺跡調査報告書第2集、上福岡市史料編第1巻自然史・考古
1992年試掘(1)	西2-1845	1992.4.24~25	200	共同住宅	遺構・遺物なし	埋蔵文化財の調査(15)
1992年試掘(2)	西2-2068-2	1992.12.3~12.9	559.2	共同住宅	縄文中期土器断片	埋蔵文化財の調査(15)
第2次	西2-2072-8	1996.5.29~6.5	100	個人住宅	縄文中期住居1、溝1、縄文土器、石器	埋蔵文化財の調査(19)
第3次	西2-2072-12	1996.6.6~6.14	111.2	個人住宅	土坑2、集石土坑、溝、縄文土器、石器	埋蔵文化財の調査(19)
1996年試掘	西2-2071-1	1996.5.21~5.28	1,146.2	宅地造成	縄文中期住居跡1、集石土坑、溝(第2・3次地点試掘調査)	埋蔵文化財の調査(19)
1996年試掘①	西2-5891-3地	1996.7.17	1,400	ブーイング		上福岡市の社会教育(平成8年度)
1996年試掘②	西2-1827-2	1996.10.16	47.4	個人住宅	遺構・遺物なし。	上福岡市の社会教育(平成8年度)
1999年試掘(1)	西2-1828-1	1999.4.23~26	497.6	共同住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(22)
1999年試掘(2)	西2-1835-4	1999.5.14~17	324	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(22)
2001年試掘	西2-1833-3+4	2001.4.9~11	202.5	宅地造成	溝1条、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(24)
第1地点	西2-2068-1-3+4、2069-1	(2007.3.12~26、4.2~20、2007.6.4~8.1)	3,467	共同住宅及び分譲住宅	縄文中期住居跡3、集石土坑6、土坑12、ピット68、溝1	市内遺跡群4
第2地点	西2-5905-1	(2015.5.27~29)	2,393	共同住宅	縄文住居跡3、集石土坑3、土坑4、ピット1	市内遺跡群22
第3地点	西2-2071-1	(2016.1.25~27)	476	共同住宅	縄文住居跡3、集石土坑1、土坑2、ピット3	市内遺跡群22
第4地点	西2-5904-1の一部、2の一部	(2016.7.27~28)	489	集合住宅	遺構・遺物なし。	未報告

第9表 西遺跡縄文時代住居跡一覧表

住居番号	調査年度	遺構名	調査率	平面形 (1)は推定	規模	坪				時期	備考	文献		
						地味	伊土	石器	埋蔵				瓦溝	
1	1992	第1次1号住居	完掘	円~楕円形	440×440×45 290×290×45	○	□				縄後期	2度以上建替		
2	1992	第1次2号住居	完掘	円形	440×460×35 380×380×35	○	○				縄後Ⅲ古	3度建替大型打製石器		
3	1992	第1次3号住居	完掘	円形	450×450×35 370×370×35	○					~縄後Ⅲ	2度以上建替		
4	1992	第1次4号住居	完掘	円形	560×540×64 415×380×64		○	○			縄後Ⅱ	3度以上建替		
5	1992	第1次5号住居	完掘	楕円形	505×480×50		○	□		○	~加賀利E1古	7号住と兼様、2度以上建替		
6	1992	第1次6号住居	完掘	楕円形	550×530×55 430×380×55	○	□	○			~縄後Ⅲ	2~3度建替		
7	1992	第1次7号住居	完掘	円形	440×370×55		○			○	加賀利E1古	5号住と兼様、2度以上建替		
8	1992	第1次8号住居	完掘	楕円形	370×340×20 280×280×20		○				~縄後Ⅲ	壁土層から阿玉台Ⅱ式土器出土	西遺跡第1次調査概観、上福岡市史料編第1巻自然史・考古	
9	1992	第1次9号住居	完掘	楕円形	640×620×25 580×570×25		○				縄後~加賀利E	縄後期中業土器片		
10	1992	第1次10号住居	完掘	楕円形	515×440×25 470×380×25		○				~縄後Ⅱ	建替有		
12	1992	第1次12号住居	完掘	円形	450×450×30 350×350×30						~縄後Ⅱ	2度以上建替		
13	1992	第1次13号住居	完掘	円形	460×460		○	□			阿玉台1b、築1	14号住15号住と兼様		
14	1992	第1次14号住居	完掘	楕円形	560×440×40					○	~縄後Ⅲ	15号住より古、2度以上建替		
15	1992	第1次15号住居	完掘	楕円形	450×350×45		○	○		○	縄後Ⅱ	2度以上建替		
16	1992	第1次16号住居	完掘	楕円六角形	(470×450)×20 390×400×20	○	□	○			縄後Ⅱ	壁土層から多量の土器出土		
17	1992	第1次17号住居	完掘	楕円形	(350×300)		○				縄後~加賀利E			
18	1992	第1次18号住居	完掘	楕円形	350×(400)×5		○	○			縄後~加賀利E	4号住と兼様		
19	1996	第2次19号住居	完掘	円形	450×450		○		○		縄後Ⅱ		埋蔵文化財の調査(19)	
20	2007	20号住居跡	完掘	楕円形	310×248×24						なし	狭小~縄後Ⅱ式土器出土	市内遺跡群4	
22	2007	22号住居跡	完掘	楕円六角形	(580×520)~1		○				なし	縄後~加賀利E	壁土に縄後Ⅰ~加賀利E式土器	
23	2007	23号住居跡	完掘	円~楕円形	508×465×9		○	□			加賀利EⅡ	伊土器加賀利EⅡ、連気式		
24	2015	24号住居跡	トレンチ	不明	(355×101)×9						なし		市内遺跡群22	
25	2015	25号住居跡	トレンチ	不明	570×(135)×1.2						なし		市内遺跡群22	
26	2015	26号住居跡	トレンチ	不明	(305×135)×13.5						なし		市内遺跡群22	
27	2015	27号住居跡	トレンチ	不明	423×(255)×30.1		○	○				伊土のみ検出	市内遺跡群22	
28	2015	28号住居跡	トレンチ	不明	509×(134)×59.5						なし		市内遺跡群22	
29	2015	29号住居跡	トレンチ	不明	300×(125)×30.2						なし		市内遺跡群22	



第6図 西遺跡遺構分布図(1/2,000)

①住居跡

住居跡は少なくとも3軒以上が存在するとみられる。検出は行っていない。プランの規模を第9表に掲載する。

②土坑

今回確認した土坑4基も検出は行っていない。調査実施時は1～5まで付番していたが、図面等を精査した結果、4が欠番となった。

【土坑1】トレンチ3西側で確認した。平面形態は不明。確認面径79×(25)cm、底径62×(17)cm、深さ25.6cmである。出土遺物はない。

【土坑2】トレンチ3中央やや西側で確認した。平面形態は不明。確認面径102×(48)cm、底径80×(43)cm、深さ16.8cmである。出土遺物はない。

【土坑3】トレンチ3西側、土坑2より約3m西側で

確認した。平面形態は不明。確認面径95×(89)cm、底径72×(36)cm、深さ44.8cmである。出土遺物はない。

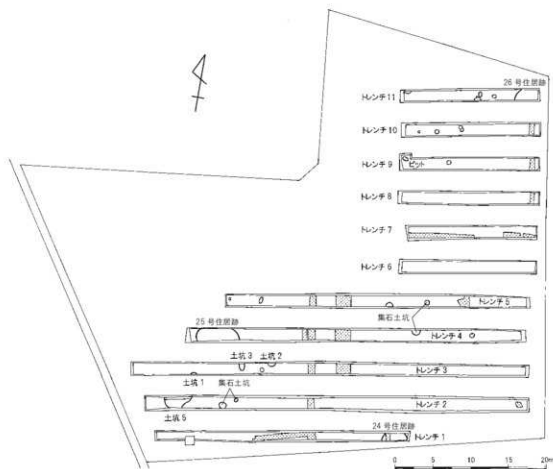
【土坑5】トレンチ2西側で確認した。平面形態は不明。確認面径362×(152)cm、底径333×(131)cm、深さ6.3cmである。出土遺物はない。

③ピット

ピットは調査区北側のトレンチ9で検出した。平面形態は不整形で、遺構の規模は確認面径70×60cm、底径9×9cm、深さ70.1cmである。縄文土器片2点が出土した。

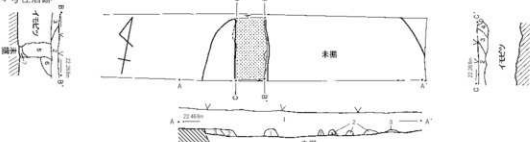
④出土遺物

出土遺物については第9図及び観察表を第10表に掲載した。

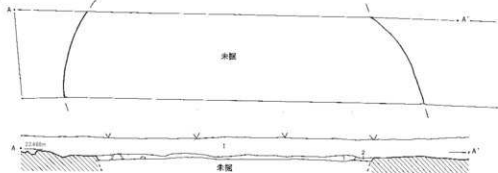


第7図 西遺跡第2地点遺構配置図(1/500)

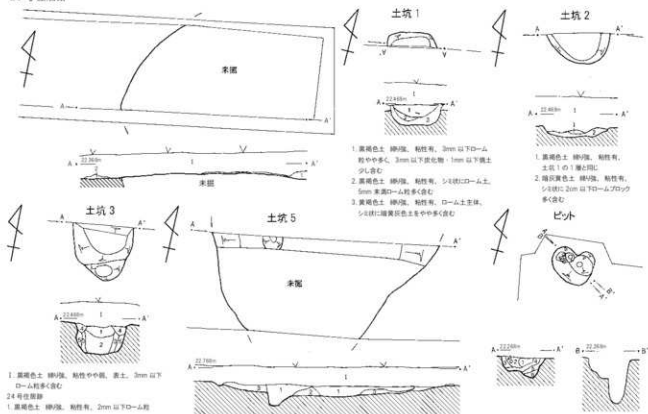
24号住居跡



25号住居跡



26号住居跡



1. 黒褐色土 粘り強、粘性やや弱、黄土、3cm以下D-ム粒多量含む

24号住居跡部

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、3cm以下D-ム粒少し含む

2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、20cm以下D-ム粒・炭化物やや多量、20cm以下土質少し含む、遺物残存

3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、5cm未満D-ム粒やや多量、シロ土にD-ム土少し含む

4. 黒褐色土 粘り強、粘性有、3cm以下D-ム粒・炭化物少し、シロ土に1cm未満D-ム粒やや多量含む

5. 黒褐色土 粘り強、粘性有、5cm未満D-ム粒多量、5cm以下炭化物やや多量含む

6. 黒褐色土 粘り強、粘性有、20cm以下D-ム粒多量、20cm以下炭化物少し含む

7. 黒褐色土 粘り強、粘性有、3cm以下D-ム粒多量、1cm未満D-ム粒・20cm以下炭化物少し含む

25号住居跡部

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、20cm以下D-ム粒多量、20cm以下土質少し含む、色黒褐色味強

2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、20cm以下D-ム粒やや多量、10cm以下炭化物少し含む

26号住居跡部

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、5～10mm D-ム粒やや多量、3cm未満土質少し含む

2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、20cm以下D-ム粒・3cm未満土質少し含む

3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、3cm以下D-ム粒やや多量、20cm以下炭化物少し含む

4. 黒褐色土 粘り強、粘性有、5cm未満D-ム粒多量、5cm以下炭化物少し含む

5. 黒褐色土 粘り強、粘性有、1～3cm D-ム粒やや多量、5cm未満D-ム粒多量、3cm以下炭化物・黄土少し含む

6. 黒褐色土 粘り強、粘性有、3cm以下D-ム粒多量、20cm以下炭化物少し含む

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、3cm以下D-ム粒やや多量、3cm以下炭化物・1cm以下黄土少し含む

2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、シロ土にD-ム土、5cm未満D-ム粒多量含む

3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、D-ム土主体、シロ土に黒褐色土を中量多量含む

4. 黒褐色土 粘り強、粘性有、10cm以下D-ム粒少し含む

5. 黒褐色土 粘り強、粘性有、シロ土にD-ム土多量含む、全体の色黒褐色

土坑5

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、3cm以下D-ム粒多量、3cm以下土質少し含む

2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、シロ土にD-ム土、20cm以下D-ム粒多量含む

3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、5～10mm D-ム粒・20cm以下D-ム粒・同量土質少し、下部にシロ土

ピット

1. 褐色土 粘り中強、粘性有、1～3cm D-ム粒多量、5cm未満D-ム粒・1cm炭化物粒少し、10cm以下土質多量含む

2. 褐色土 粘り強、粘性有、10cm D-ム粒・同量炭化物粒少し含む、硬さ強

3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、1～5mm D-ム粒・20cm以下D-ム粒・同量炭化物・黒褐色土層少し含む

4. 黒褐色土 粘り強、粘性有、10cm D-ム粒・同量炭化物粒少し含む

5. 褐色土 粘り強、粘性有、1～2cm D-ム粒多量、3cm炭化物粒少し含む

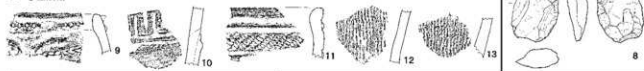
6. 黒褐色土 粘り強、粘性有、1～2cm D-ム粒・20cm以下D-ム粒多量、5～10mm 黒褐色土・20cm以下D-ム粒・同量炭化物粒少し含む

第8図 西遺跡第2地点24～26号住居跡・土坑・ピット(1/60)

24号住居跡



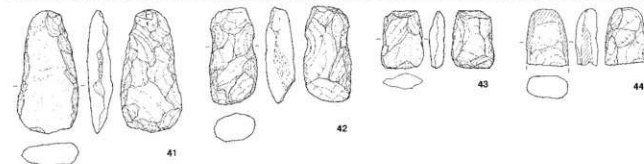
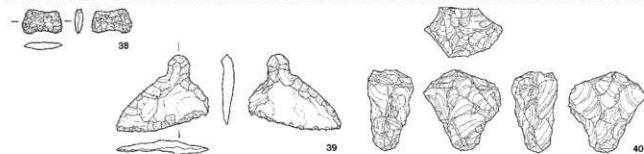
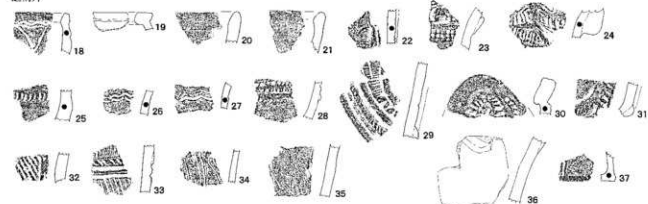
25号住居跡



26号住居跡



遺構外



第9図 西遺跡第2地点出土遺物(1/4・2/3)

III 西遺跡第3地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2015年11月30日付で「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年1月25日～27日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅1.5～1.8mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

試掘調査の結果、縄文時代住居跡3軒と集石土坑1基、土坑2基を確認した。確認面までの深さは70～80cmで、30cm以上の保護層が確保できるため工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を

行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

今回の調査では縄文時代住居跡と土坑のプランのみを確認、また集石土坑は規模を確認するため一部調査を行ったが、大部分は未掘のままである。

出土遺物は第13～16図及び観察表を第13表に掲載した。

①住居跡

今回の調査では縄文時代の住居跡を3軒確認した。

詳細は第9表に掲載した。

【27号住居跡】

トレンチ2南東部で確認した。前述のとおり住居跡全体の検出は行っていないが、炉とピットのみ検出

第10表 西遺跡第2地点出土遺物観察表(単位cm・g)

図版番号	出土遺構	形状/部位	地文/焼文/備考	時期/型式
第9図-1	24号住居跡	深鉢/口縁部	口縁に削み/粘土に霽母含む	中晩/磨板Ⅱ
第9図-2		深鉢/口縁部	突起部/連続刺突、縁に爪形文	中晩/磨板Ⅱ
第9図-3		深鉢/口縁部	縁位丸縁文	中晩/磨板
第9図-4		浅鉢/口縁部	内外面ミガキ	中晩
第9図-5		深鉢/胴部	剝離痕帯、縁に削み、沈降による波状文	中晩/磨板Ⅱ
第9図-6		深鉢/胴部	押引文、波状沈降	中晩/磨板Ⅱ
第9図-7		深鉢/胴部	隆帯、沈降による区画、区画内削みと爪形の刺突	中晩/磨板Ⅱ
第9図-8		打製石片	長さ:8.7、幅:5.0、厚さ:2.2、重量:93.04g/石材:細粒砂岩/形状	—
第9図-9		浅鉢/口縁部	口縁縁部上に削み、弧状の隆帯の下位に半籠竹管状工具を連続刺突	中晩/磨板Ⅱ
第9図-10		深鉢/胴部	縁位隆帯による区画	中晩
第9図-11	25号住居跡	深鉢/口縁部	縁位丸縁文、縁位の沈降、隆帯による区画	中晩/加賀村EⅠ
第9図-12		深鉢/胴部	土器糸	中晩
第9図-13		深鉢/胴部	土器糸	中晩
第9図-14	26号住居跡	深鉢/口縁部	口縁に刺突、隆帯縁に連続爪形文、区画内に連続刺突	中晩/磨板Ⅱ
第9図-15		打製石片	長さ:18.7、幅:6.0、厚さ:1.8、重量:96.61g/石材:ホルンフェルス/刃部欠損	中晩
第9図-16		深鉢/口縁部	口縁に削み、隆帯縁、区画内に押引文/粘土に霽母含む	中晩/阿玉台Ⅱ
第9図-17	P1	胴部	中央に2列の押引文、高直縁部印引文/内面赤彩	中晩/磨板Ⅱ
第9図-18		深鉢/口縁部	棒状工具による沈降/粘土に霽母含む	中晩/阿玉台Ⅱ
第9図-19		浅鉢/口縁部	外面ミガキ	中晩/加賀村E
第9図-20		深鉢/口縁部	無文	中晩
第9図-21		浅鉢/口縁部	内外面ミガキ	中晩
第9図-22		深鉢/口縁部	2列の押引文、新築三角形の隆帯/粘土に霽母・石葉含む	中晩/阿玉台Ⅱ
第9図-23		深鉢/胴部	ヒザ状の隆帯、その下位に3列の押引文	中晩/磨板
第9図-24		深鉢/口縁部	隆帯縁に縁位の連続爪形文/粘土に霽母含む	中晩/阿玉台Ⅱ
第9図-25		深鉢/胴部	波状沈降、連続爪形文/粘土に霽母含む	中晩/磨板Ⅱ
第9図-26		深鉢/胴部	2列の波状沈降/粘土に霽母含む	中晩/阿玉台
第9図-27		深鉢/胴部	2列の波状沈降/粘土に霽母含む	中晩/磨板Ⅱ
第9図-28		深鉢/胴部	隆帯縁に押引文	中晩/磨板Ⅱ
第9図-29		深鉢/胴部	剝離痕帯、縁に沈降、区画内削み沈降	中晩/磨板
第9図-30		深鉢/口縁部	突起部/溝溝状に押引文/粘土に霽母含む	中晩/阿玉台Ⅱ
第9図-31	遺構外	深鉢/胴部	剝離痕帯	中晩/磨板Ⅱ
第9図-32		深鉢/胴部	沈降による区画、斜位の沈降を充填	中晩/磨板
第9図-33		深鉢/胴部	縁位凹痕帯、剝離痕帯	中晩/磨板Ⅱ
第9図-34		深鉢/胴部	3本1組の沈降	中晩
第9図-35		深鉢/胴部	縁位、斜位の4本1組の多数的工具による沈降	中晩
第9図-36		深鉢/胴部	弧状の隆帯	中晩
第9図-37		深鉢/底部	沈降/粘土に霽母含む	中晩/阿玉台
第9図-38		石匙	長さ:11.0、幅:1.6、厚さ:0.3、重量:10.51g/石材:黒曜石/上半部欠損	—
第9図-39		石匙	長さ:13.0、幅:4.0、厚さ:0.5、重量:4.15g/石材:チャート/形状	—
第9図-40		石匙	長さ:13.2、幅:3.1、厚さ:1.8、重量:14.27g/石材:黒曜石	—
第9図-41		打製石片	長さ:12.9、幅:6.5、厚さ:2.5、重量:263.63g/石材:ホルンフェルス/形状	—
第9図-42		打製石片	長さ:10.2、幅:5.1、厚さ:2.9、重量:214.77g/石材:細粒砂岩/形状/側面に磨打痕	—
第9図-43		打製石片	長さ:5.1、幅:4.6、厚さ:1.6、重量:58.57g/石材:花崗/形状	—
第9図-44		打製石片	長さ:6.1、幅:4.9、厚さ:2.4、重量:1110.41g/石材:ホルンフェルス/下部欠損/側面および上面部に磨痕有り	—

を行った。

炬は住居跡北側に位置し、部分的に水道管の攪乱で破壊される。口縁部・底部共に欠損する縄文土器を正位に設置した埋裏炬である。残存規模は長軸(74)cm、短軸68cm、深さ23cmである。

ピットは住居内で3基検出した。そのうちピット1及び2が支柱穴である。詳細については第11表に掲載した。

【28号住居跡】

トレンチ1で確認した。未検出のため確認面での規模は509×(134)cm、サブトレンチ部分で確認した深さは59.5cmである。

【29号住居跡】

トレンチ3で確認した。トレンチ内で検出したところ、遺構の規模は300×(125)cm、深さ30.2cmと非常に浅い。柱穴等は未検出である。

②集石土坑

トレンチ2の北西部で確認した。北側に広がるため全容は不明である。規模等の詳細については第12表に掲載した。

③土坑

土坑1・2共にトレンチ1の中央部で検出した。

【土坑1】

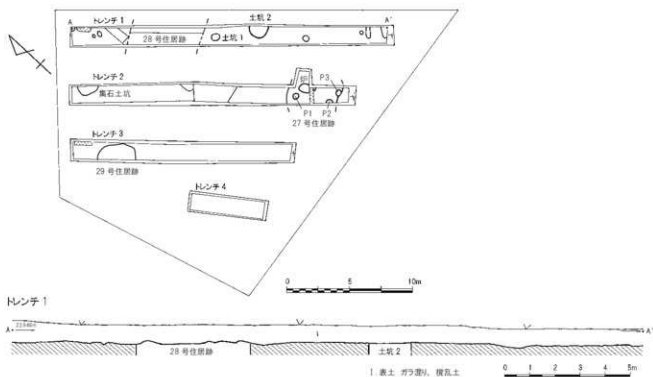
平面形態は楕円形で、確認面径87×69cm、底径35×24cm、深さ28.6cmである。縄文土器片が1点出土している。

【土坑2】

検出は行っていないため平面形態は不明。確認面径は140×(90)cmである。覆土中より縄文土器片が1点出土している。

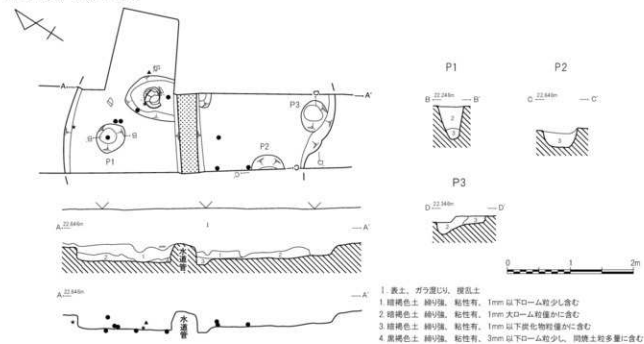
第11表 西遺跡第3地点J27号住居内ピット一覧表
(単位cm)

No	平面形態	確認面径	底径	深さ	備考
1	円形	50×43	28×24	54.4	
2	不明	51×(24)	30×(5)	28.9	
3	不明	48×40	30×25	21.5	

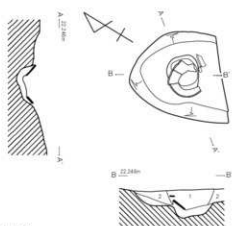


第10図 西遺跡第3地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)

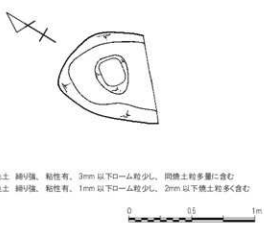
27号住居跡・遺物出土状況



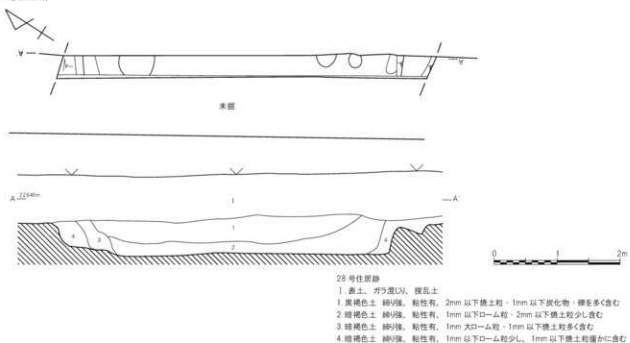
炉



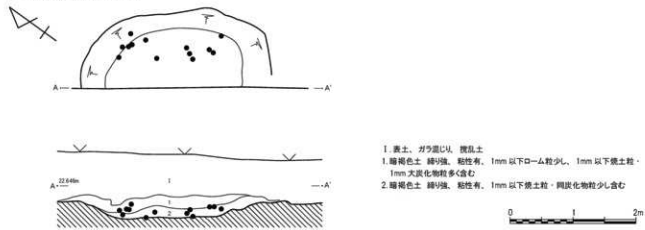
掘方



28号住居跡



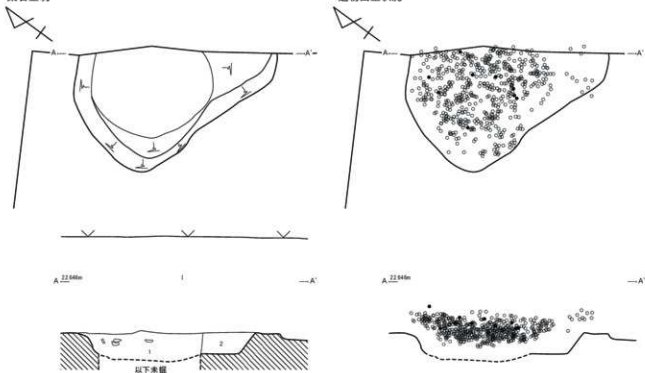
29号住居跡・遺物出土状況



- 1. 黄土、ガラ混じり、礫混土
- 1. 暗褐色土 締り強、粘性有。1mm以下ロ-ム粒少し、1mm以下炭土粒・1mm大炭化物粒多く含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有。1mm以下炭土粒・炭灰化物粒少し含む

集石土坑

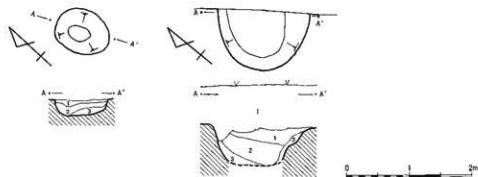
遺物出土状況



- 1. 黄土、ガラ混じり、礫混土
- 1. 黒褐色土 締りやや強、粘性有。1mm以下ロ-ム粒僅か、2mm以下炭土粒少し、2mm以下炭化物粒多く含む
- 2. 暗褐色土 締り強、粘性有。1mm大ロ-ム粒僅かに含む

土坑1

土坑2

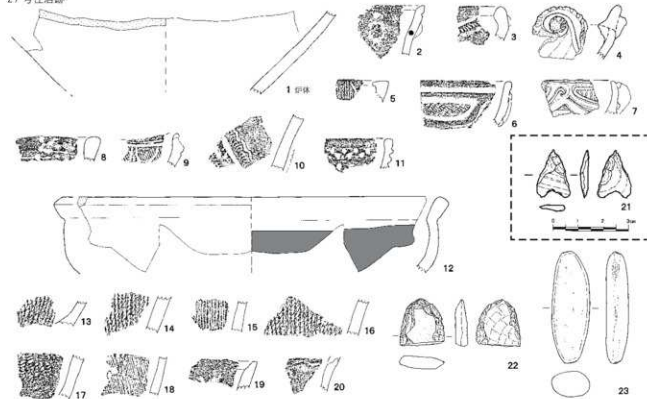


第12図 西遺跡第3地点29号住居跡・土坑(1/60)、集石土坑(1/30)

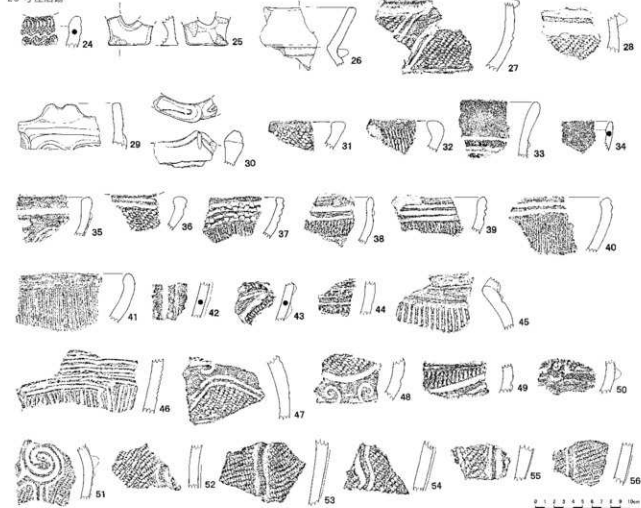
第12表 西遺跡第3地点集石土坑・出土礫観察表(単位cm・g)

No.	平面形状	縦横直径	壁厚	深さ	底点数	総重量	平均重量	礫数	片形数	塊成数	未塊成数	タール-埋付巻数	タール-埋付巻数	備考
1	不明	156×99	56×73	22.6	543	77,176.15	142.13	473(87.11%)	70(12.89%)	445(81.95%)	98(18.05%)	400(73.66%)	143(26.34%)	

27号住居跡



28号住居跡



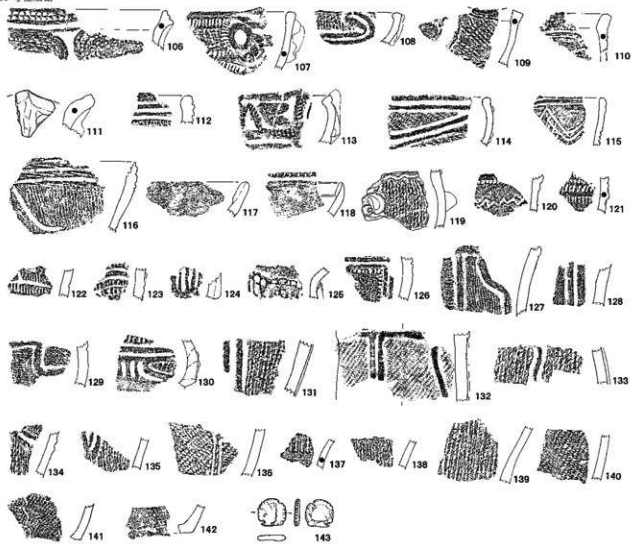
第13図 西道跡第3地点出土遺物①(1/4・2/3)

28号住居跡

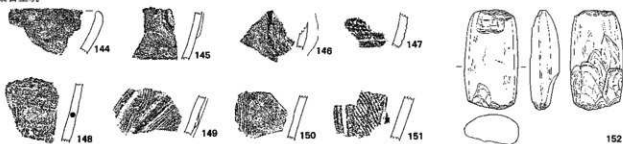


第14図 西遺跡第3地点出土遺物②(1/4)

29号住居跡



集石土坑



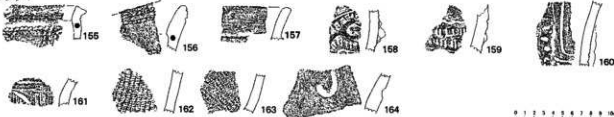
土坑 1



土坑 2



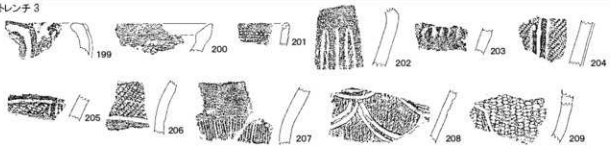
トレンチ 1



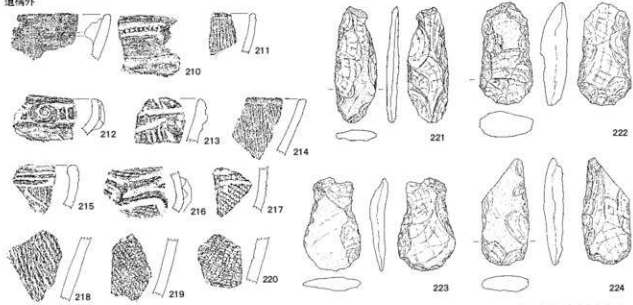
トレンチ 2



トレンチ 3



遺構外



第16図 西道跡第3地点出土遺物④(1/4)

第13表 西遺跡第3地点出土遺物観察表(単位cm・g)

図録番号	出土遺物	器形/部位	地文/文/備考	時期/型式	図録番号	出土遺物	器形/部位	地文/文/備考	時期/型式
第1301-1	27 年 住 居	深鉢・I線部	伊体土器/内外面に被焼痕	中朝	第1405-58	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、隆帯による蛇行筋文	中朝/加賀利E	
第1301-2		深鉢・I線部	内面に粘り付けた、楕円、斜位の押引文/胎土に露骨含む	中朝/阿玉台II	第1405-59	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行沈線による蛇行筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-3		深鉢・I線部	割目隆帯	中朝/隆帯III	第1405-60	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、隆帯による蛇行筋文	中朝/加賀利E	
第1301-4		深鉢・I線部	割目隆帯	中朝	第1405-61	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行隆帯による筋文	中朝/加賀利E I	
第1301-5		深鉢・I線部	割目隆帯	中朝	第1405-62	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行隆帯による筋文	中朝/加賀利E I	
第1301-6		深鉢・I線部	割目隆帯	中朝/加賀利E II	第1405-63	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行隆帯による筋文	中朝/加賀利E I	
第1301-7		深鉢・I線部	割目隆帯、2条の平行隆帯	中朝/加賀利E I	第1405-64	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行隆帯による筋文	中朝/加賀利E I	
第1301-8		深鉢・I線部	中朝	中朝	第1405-65	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行隆帯による筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-9		深鉢・I線部	波状I線部/地文被焼痕	中朝/隆帯IV	第1405-66	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行沈線による筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-10		深鉢・I線部	割目隆帯、筋状連続的凹文と波状沈線	中朝/隆帯IV	第1405-67	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行隆帯による筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-11		深鉢・I線部	交互凹帯部を2条	中朝/加賀利E II	第1405-68	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行隆帯による筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-12		深鉢・I線部	内面I線部以下黒色	中朝/加賀利E	第1405-69	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、半段起線による筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-13		深鉢・I線部	割目隆帯	中朝	第1405-70	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行沈線による筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-14		深鉢・I線部	割目隆帯	中朝	第1405-71	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行沈線による筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-15		深鉢・I線部	割目隆帯	中朝	第1405-72	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行沈線による筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-16		深鉢・I線部	割目隆帯	中朝	第1405-73	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行沈線による筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-17		深鉢・I線部	斜位陶文	中朝	第1405-74	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、U字の筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-18		深鉢・I線部	割目隆帯	中朝	第1405-75	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-19		深鉢・I線部	中朝	中朝	第1405-76	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、沈線による筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-20		深鉢・I線部	中朝	中朝	第1405-77	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、沈線による筋文	中朝/加賀利E II	
第1301-21	石籠	長さ:1.9、幅:1.3、厚さ:0.3、重量:0.58/石材:角礫・一箇体	—	第1405-78	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-22	打製石	長さ:(4.9)、幅:(4.7)、厚さ:(1.2)、重量:(4.795)/石材:砂岩/1部欠損	—	第1405-79	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-23	磨石	長さ:11.8、幅:4.0、厚さ:2.4、重量:198.06/石材:凝灰岩/角礫、断面の一部に使用痕	—	第1405-80	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-24	深鉢・I線部	波状I線部/地文被焼痕・I線部文を帯状、楕円、斜位の押引文	中朝/隆帯IV	第1405-81	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-25	突起部	縦線状突起部付片	中朝/隆帯IV	第1405-82	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-26	磨付土器/I線部	内外長さ:26・厚さ:26・47、484/高:100	中朝/加賀利E II	第1405-83	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-27	磨付土器/隆帯	地文被焼痕/陶文、平行沈線2条による斜位の筋文、L字筋部磨り消し	中朝/加賀利E II	第1405-84	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-28	磨付土器/隆帯	中朝/加賀利E II	中朝/加賀利E II	第1405-85	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-29	深鉢・I線部	地文被焼痕	中朝/加賀利E	第1405-86	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-30	深鉢・I線部	波状部	中朝/隆帯	第1405-87	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-31	深鉢・I線部	割目隆帯/陶文/内面赤褐色	中朝	第1405-88	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-32	深鉢・I線部	割目隆帯	中朝	第1405-89	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-33	深鉢・I線部	平行隆帯	中朝/隆帯	第1405-90	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-34	深鉢・I線部	胎土に露骨・石黄含む	中朝/阿玉台	第1405-91	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-35	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文/平行隆帯	中朝/加賀利E I・II	第1405-92	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-36	深鉢・I線部	波状I線部/地文被焼痕/陶文/平行沈線	中朝/加賀利E II	第1405-93	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-37	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文/平行沈線を交互する	中朝/加賀利E II	第1405-94	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-38	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文/平行沈線	中朝/加賀利E II	第1405-95	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-39	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文/平行沈線	中朝/加賀利E II	第1405-96	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-40	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文/平行沈線	中朝/加賀利E II	第1405-97	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-41	深鉢・I線部	地文被焼痕	中朝/加賀利E II	第1405-98	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-42	深鉢・I線部	断面三角形の隆帯/胎土に露骨含む	中朝/阿玉台	第1405-99	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-43	深鉢・I線部	割目隆帯	中朝/隆帯III	第1405-100	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、L字の筋文	中朝/加賀利E II		
第1301-44	深鉢・I線部	平行沈線、ベン片工具による割痕	中朝/加賀利E II	第1405-101	打製石	長さ:9.8、幅:5.0、厚さ:1.9、重量:99.91/石材:ホルンアルズ/灰用	—		
第1301-45	深鉢・I線部	棒状工具による平行沈線	中朝/隆帯	第1405-102	打製石	長さ:8.8、幅:4.6、厚さ:1.7、重量:127.01/石材:凝灰岩/灰用	—		
第1301-46	深鉢・I線部	先端の尖った工具による縦線状筋文	中朝/隆帯	第1405-103	打製石	長さ:10.2、幅:4.8、厚さ:2.1、重量:66.33/石材:凝灰岩/灰用	—		
第1301-47	磨付土器/隆帯	地文被焼痕/陶文/平行沈線による筋文	中朝/加賀利E II	第1405-104	磨り石・磨き石	長さ:6.3、幅:9.1、厚さ:2.9、重量:230.56/石材:珉片/灰用	—		
第1301-48	磨付土器/隆帯	中朝/加賀利E II	中朝/加賀利E II	第1405-105	磨き石	長さ:10.0、幅:3.4、厚さ:2.1、重量:135.22/石材:泥岩/灰用	—		
第1301-49	深鉢・I線部	地文被焼痕	中朝/加賀利E	第1502-106	深鉢・I線部	隆帯に沿って2列1組の押引文/胎土に露骨含む	中朝/阿玉台II		
第1301-50	深鉢・I線部	地文被焼痕、平行隆帯による蛇行筋文	中朝/加賀利E	第1502-107	深鉢・I線部	地文被焼痕、楕円の押引文/凹溝、L字筋部/胎土に露骨含む	中朝/隆帯IV		
第1301-51	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行隆帯による筋文	中朝/加賀利E	第1502-108	深鉢・I線部	地文被焼痕、平行隆帯	中朝/加賀利E I		
第1301-52	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、隆帯による蛇行筋文	中朝/加賀利E	第1502-109	深鉢・I線部	半截竹管状工具の溝跡/陶文、隆帯による筋文/胎土に露骨含む	中朝/阿玉台II		
第1301-53	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行隆帯による筋文	中朝/加賀利E	第1502-110	深鉢・I線部	平行沈線/胎土に露骨含む	中朝		
第1301-54	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、隆帯による蛇行筋文	中朝/加賀利E	第1502-111	深鉢・I線部	隆帯による筋文/胎土に露骨含む	中朝/阿玉台		
第1301-55	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、平行隆帯による筋文	中朝/加賀利E						
第1301-56	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、隆帯による蛇行筋文	中朝/加賀利E						
第1405-57	深鉢・I線部	地文被焼痕/陶文、隆帯による蛇行筋文	中朝/加賀利E						

図録番号	出土遺構	器形/部位	地文/版文/備考	時期/型式
第1500-112	深鉢/口縁部	地文条線、平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-113	深鉢/口縁部	創目縁部	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-114	深鉢/口縁部	地文横位の横文、平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-115	深鉢/口縁部	平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-116	深鉢/口縁部	地文L字縁位は横位の横、器部L字縁位の横、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-117	深鉢/口縁部	口縁部に創目	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-118	深鉢/口縁部	地文縦位の横文、頸部に波状の粘土結り付け	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-119	深鉢/器部	地文縦位の横文、頸部に波状の粘土結り付け	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-120	深鉢/器部	押引文、波線状の沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-121	深鉢/器部	幅広の押引文、ペン先状工具の連続的刷り筋土に露骨を含む	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-122	深鉢/器部	沈線部に創目	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-123	深鉢/器部	半段取縁上に出目	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-124	深鉢/器部	平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-125	深鉢/器部	隆帯上に出目、縁位に平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-126	深鉢/器部	半段取縁による条線、区画内連続的刷り筋土に露骨を含む	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-127	深鉢/器部	半段取縁による条線、一部押引文による区画、区画内斜位の刷文	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-128	深鉢/器部	半段取縁によるクラク状区画、区画内斜位の刷文	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-129	深鉢/器部	半段取縁によるクラク状区画、区画内斜位の刷文	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-130	深鉢/口縁部	地文縦位の横文、内面ミガキ	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-131	深鉢/器部	地文縦位の横文、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-132	深鉢/器部	地文縦位の横文、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-133	深鉢/器部	地文縦位の横文、隆帯による刷り筋土	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-134	深鉢/器部	地文縦位の横文、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-135	深鉢/器部	地文縦位の横文、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-136	深鉢/器部	地文縦位の横文、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-137	深鉢/器部	縁位に平行沈線/刷土に露骨を含む	中朝/阿玉台	
第1500-138	深鉢/器部	地文縦位の横文	中朝	
第1500-139	深鉢/器部	地文縦位の横文	中朝	
第1500-140	深鉢/器部	地文縦位の横文	中朝	
第1500-141	深鉢/器部	地文縦位の横文、沈線による刷り筋土	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-142	深鉢/器部	中朝	中朝	
第1500-143	土製品? / 内蓋	断面に創目/断面中央にはがれ溝があるため、土器の一部の可能性がある	中朝	
第1500-144	深鉢/口縁部	無文	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-145	深鉢/器部	隆帯縁に連続的刷り筋土	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-146	深鉢/器部	断面直交角の縁部に沿って波状の平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-147	深鉢/口縁部	地文縦位の横文、平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-148	深鉢/器部	刷土に露骨を含む	中朝/阿玉台	
第1500-149	深鉢/器部	2種類の多量工具による沈線/刷土に結晶片状を含む	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-150	深鉢/器部	2種類の多量工具による沈線/刷土に結晶片状を含む/1号/同一物体	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-151	深鉢/器部	地文縦位の横文、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-152	磨製石片	長さ:10.5、幅:5.6、厚さ:3.2、重量:294.86/石材:凝灰岩/磨製/熟	—	
第1500-153	深鉢/口縁部	中朝	中朝	
第1500-154	深鉢/器部	地文縦位の横文、半段竹管状工具による平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-155	深鉢/口縁部	構状工具の連続的刷り筋土に露骨を含む	中朝/阿玉台	
第1500-156	深鉢/口縁部	沈線に押し引文/刷土に露骨・石屑を含む	中朝/阿玉台	
第1500-157	深鉢/口縁部	有孔押引土器の内面ミガキ	中朝	
第1500-158	深鉢/器部	隆帯縁に幅広の押引文、その内側に幅狭の押引文	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-159	深鉢/器部	隆帯縁に幅広の押引文、波状沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-160	深鉢/器部	隆帯土交互刷り	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-161	深鉢/器部	地文縦文、連続文	中朝/加賀利EⅡ	
第1500-162	深鉢/器部	縦位の刷文	中朝	
第1500-163	深鉢/器部	縦位の刷文	中朝	
第1500-164	深鉢/器部	浮の刷文	中朝	
第1600-165	透鉢/口縁部	口縁に交互刷り、創目縁部部に押引文、V字の沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-166	透鉢/口縁部	把手部/隆帯に沿う連続的刷り筋土による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-167	深鉢/口縁部	連続的刷り筋土に露骨を含む	中朝/阿玉台	

図録番号	出土遺構	器形/部位	地文/版文/備考	時期/型式
第1600-168	深鉢/口縁部	口縁部に沈線、隆帯による頸部区画、地文縦位の横文	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-169	深鉢/口縁部	平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-170	深鉢/口縁部	縦位の刷文	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-171	深鉢/口縁部	地文有り、平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-172	深鉢/口縁部	刷土に露骨・石屑を含む	中朝/阿玉台	
第1600-173	深鉢/口縁部	—	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-174	深鉢/口縁部	—	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-175	深鉢/口縁部	—	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-176	深鉢/口縁部	地文縦位の横文、波状の平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-177	深鉢/口縁部	地文条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-178	深鉢/器部	地文縦位の横文、隆帯による溝巻き/内面ミガキ	中朝/加賀利EⅡ-Ⅲ	
第1600-179	深鉢/器部	創目縁部縁に沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-180	深鉢/器部	創目縁部縁に沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-181	深鉢/器部	半段竹管状工具による沈線/区画、区画縁に創目、内側に刷り筋土	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-182	深鉢/器部	管状工具の刷り筋、平行沈線/交互刷り筋土に露骨を含む	中朝/五頭ヶ台	
第1600-183	透鉢? / 器部	内面ミガキ	中朝	
第1600-184	深鉢/器部	キタラシ文、平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-185	深鉢/器部	創目縁部縁に沈線、区画内に連続的刷り筋	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-186	深鉢/器部	地文縦位の横文、構状隆帯取付付	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-187	深鉢/器部	横位の刷文	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-188	深鉢/器部	地文縦位の横文、幅広の隆帯による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-189	深鉢/器部	地文縦位の横文、隆帯による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-190	深鉢/器部	地文縦位の横文、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-191	深鉢/器部	地文縦位の横文、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-192	深鉢/器部	縁位の刷文	中朝	
第1600-193	深鉢/器部	縁位の刷文	中朝	
第1600-194	深鉢/器部	縁位の刷文	中朝	
第1600-195	深鉢/器部	縁位の刷文	中朝	
第1600-196	深鉢/器部	斜位の刷文	中朝	
第1600-197	深鉢/器部	斜位の刷文	中朝	
第1600-198	土製品/内蓋	地文縦位の横文、平行沈線による条線/内面ミガキ	中朝	
第1600-199	透鉢/口縁部	平行する管状の隆帯	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-200	透鉢/口縁部	内面ミガキ	中朝	
第1600-201	透鉢/口縁部	2割の刷り筋、平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-202	深鉢/口縁部	沈線による条線、沈線間に縦位の刷文	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-203	深鉢/器部	ヒメ状沈線	中朝/阿玉台	
第1600-204	深鉢/器部	地文縦位の横文、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-205	深鉢/器部	地文縦位の横文、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-206	深鉢/器部	地文縦位の横文、磨り筋	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-207	深鉢/器部	断面直交による刷り筋の沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-208	深鉢/器部	地文縦位の横文、平行沈線による条線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-209	深鉢/器部	地文縦位の横文、沈線による刷り筋土	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-210	透鉢/口縁部	平行する沈線間に創目	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-211	深鉢/口縁部	横位の沈線による区画内/沈線先丸縁	中朝	
第1600-212	透鉢/口縁部	地文縦位の横文、隆帯による溝巻き	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-213	透鉢/口縁部	沈線による条線、連続文	中朝/加賀利EⅡ-Ⅲ	
第1600-214	透鉢/口縁部	地文条線	中朝/加賀利EⅡ-Ⅲ	
第1600-215	透鉢/口縁部	地文条線、連続文	中朝/加賀利EⅡ-Ⅲ	
第1600-216	透鉢/口縁部	地文縦位の横文、平行沈線	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-217	深鉢/器部	地文縦位の横文、沈線磨り筋	中朝/加賀利EⅡ	
第1600-218	深鉢/器部	縦位の刷文	中朝	
第1600-219	深鉢/器部	横位の刷文	中朝	
第1600-220	深鉢/器部	縦位の刷文	中朝	
第1600-221	石匙	長さ:12.3、幅:4.3、厚さ:1.2、重量:78.92/石材:ホルンフェルス	—	
第1600-222	打製石片	長さ:10.8、幅:5.6、厚さ:2.9、重量:211.4/石材:中朝/加賀利EⅡ	—	
第1600-223	打製石片	長さ:9.9、幅:6.1、厚さ:1.6、重量:94.47/石材:ホルンフェルス	—	
第1600-224	打製石片	長さ:(11.2)、幅:(4.9)、厚さ:2.0、重量:134.45/石材:ホルンフェルス/基礎部欠	—	

29号土坑

30号土坑

土坑1

土坑2

トレンチ

トレンチ

溝内

第4章 北野遺跡の調査

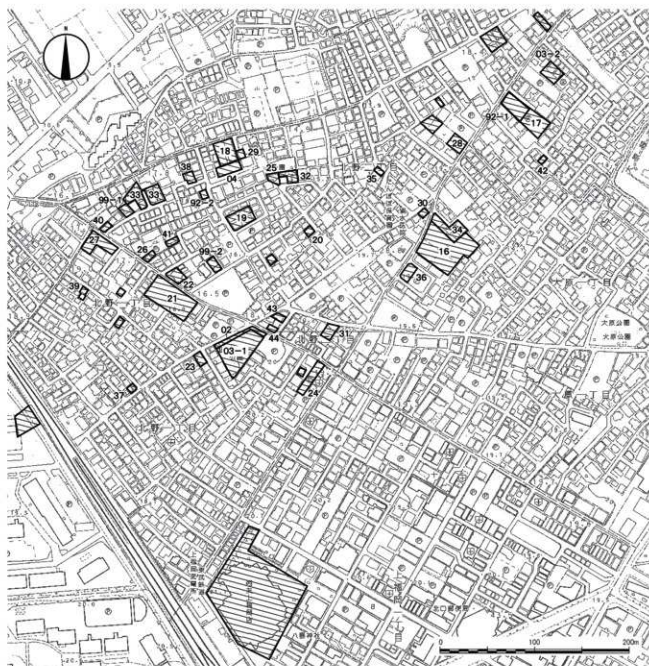
1 遺跡の立地と環境

北野遺跡は、藤間江川に面した標高17～18mの台地縁辺にあり、開析した小支谷を囲うように立地する南北250m、東西650m以上の遺跡である。上福岡駅まで600mに位置する利便性のため、昭和30年代から宅地開発され、ほとんど空き地は残っていない。

周辺の遺跡は、1km上流に縄文集落の西遺跡、下流に旧石器時代から縄文、古代、中近世にわたる複合遺

跡の川崎遺跡、川崎横穴墓群がある。

1965年の分布調査、1970年代後半の宅地開発で縄文時代早～中期の土器片が採集され、1980年以来、2018年4月現在44ヶ所で試掘調査が行われている。縄文時代中期と平安時代の住居跡各1軒、縄文時代中期頃と考えられる集石土坑、中世以前とみられる溝等を検出、縄文時代中期深鉢土器の顔面把手等も採集されている。



第17図 北野遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

II 北野遺跡第31地点

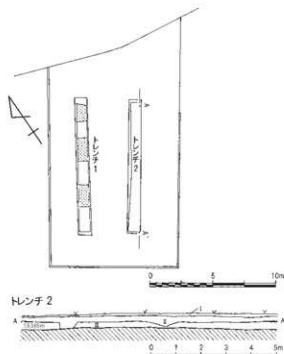
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年7月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年8月18日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力による調査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは50～60cmである。遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

遺物はすべてトレンチ覆土中から出土したものである。出土遺物に関しては第19図及び第15表に掲載した。



第18図 北野遺跡第31地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

第14表 北野遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間	試掘調査	面積(m ²)	調査内容	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	北野2-2110-1の一部、2112-1	(2006.6.7)		408(44)	分譲住宅	遺構遺物なし	市3
2	北野1-3119-11	(2006.6.4)		131	個人住宅	遺構遺物なし	10教書、市3
3	北野1-3061-4	(2006.4.28)		148	個人住宅	床埋まり、遺構遺物なし	市3
4	北野2-3	(2006.8.24)		58	個人住宅	遺構遺物なし	10教書
92-1	大原1-2079-3	(1992.6.19～22)		67	駐車場	溝2、縄文時代中層土器片、土師器片	埋15
92-2	北野2-1809-1	(1992.6.8)		138	個人住宅	遺構遺物なし	埋11
92-1	北野2-1797-5	(1999.7.2)		157.4	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋22
92-2	北野2-1787-1	(1999.8.9～12)		179.1	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋22
02	北野1-3058-1、3114-1の一部	(2002.11.28～29)		100	公園歩道	遺構遺物なし	埋25
03-1	北野1-3058-1、3114-1の一部	(2003.7.1～11)		1484	公園	遺構遺物なし	埋26
03-2	大原2-2081-6	(2003.8.8～11)		350	宅地造成	土坑1、縄文土器片	埋26
04	北野2-1827-1～3	(2004.4.16～19)		435	共同住宅	遺構遺物なし	埋27
05	北野1-3129-3-20	(2005.12.2)		101	個人住宅	遺構遺物なし	17教書
17	大原1-2070-1、2071-1	(2009.4.8～10)		296(1,888)	宅地造成	ビット3、中群切跡土器・酒	市8
17	大原1-2079-1+6	(2009.10.13～17)		122.5(412)	共同住宅	土坑2、阿玉台IV土器	市8
19	北野2-1828-2-12、1829-1-2	(2009.3.9～18)		178(507.9)	分譲住宅	縄文住居跡1(J1住)、奈良平安住居跡(H1住)、土坑3、ビットB	市8
19	北野2-1821-1-2、1820-4	(2010.12.1～2)		476.3	共同住宅	ビット2、遺物なし	市10
20	北野2-1835-11	(2011.8.11)		61.3(4)	個人住宅	遺構遺物なし	市14
21	北野1-3117-3、3118-1	(2011.12.9～20)		836	分譲住宅	遺構遺物なし	市14
22	北野2-1788-80の一部	(2012.2.6～8)		48(207.1)	分譲住宅	遺構なし、縄文土器片、須賀	埋18
23	北野1-3111-4(1-4-8)	(2012.8.2)		140.8	個人住宅	遺構遺物なし	市15
24	北野1-3063-1	(2012.9.13～14)		335	分譲住宅	土坑1、埋まり遺し、縄文土器片	市15
25	北野2-1833-3(2-6-6)	(2012.12.10)		142.7	分譲住宅	遺構遺物なし	市15
26	北野2-1795-3	(2012.12.14)		117	分譲住宅	遺構遺物なし	市15
27	北野1-3119-11	(2014.5.7)		481	共同住宅	遺構遺物なし	市20
28	北野2-2110-9	(2014.5.27～28)		100.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市20
28	北野2-2110-8	(2014.5.27～28)		101.4	個人住宅	縄文時代象石土坑1、土器片	市20
29	北野2-1830-8	(2014.10.14～15)		83.7	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市20
30	北野2-2067-8	(2014.10.30～11.5)		75.9	分譲住宅	溝1、遺物なし	市20
31	北野2-2130-4-9	(2015.8.18)		179	分譲住宅	遺構なし、縄文土器片	埋22
32	北野2-1841-7	(2015.8.27)		209	分譲住宅	遺構遺物なし	埋22
33	北野2-1801-3+4+42+43	(2015.12.1～8)2015.12.15～21		627.69	分譲住宅	象石土坑5、縄文土器片	市19
34	大原2-2073-1	(2015.12.7～8)		276.13	共同住宅	ビット1、縄文土器片	市22
35	北野2-2116-4	(2015.12.8)		53	個人住宅	遺構遺物なし	市22
36	大原1-2058-10-11の各一部	(2016.2.15～16)		212	共同住宅	遺構なし、土器片	市22
37	北野1-3127-23-25	(2016.3.25)		70.25	個人住宅	遺構遺物なし	市22
38	北野2-1807-6+7+8、1808-3+5	(2016.7.29)		106.9	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	未報告
39	北野1-3129-27-28	(2016.12.5)		119	建築住宅	遺構遺物なし	未報告
40	北野2-5-27	(2017.1.31)		65	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
41	北野2-1794-2の一部	(2017.2.20)		157.49	農用住宅	遺構遺物なし	未報告
42	大原2-2062-9	(2017.6.6)		63.83	建築住宅	溝、ビット、遺物なし	未報告
43	北野2-2129-11	(2017.8.4)		86.67	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	未報告
44	北野2-2129-7	(2017.12.14)		68.59	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告

※埋1：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺埋：上福岡市遺跡調査報告書、教埋：上福岡市ふじみ野市教育委員会、市ふじみ野市市内遺跡調査報告書

第31地点出土遺物



第15表 北野遺跡第31地点出土遺物観察表 (単位cm・g)

図版番号	出土遺構	器形/部位	地文/施文/備考	時期/型式
第19図-1	遺構外	深鉢/胴部	隆帯上に刻み、隆帯部に沈線/胎土に石英粒、雲母含む	中期/磨板
第19図-2		深鉢/胴部	竹管状工具による平行沈線とそれに沿う刻突、爪形文/胎土に石英粒、雲母僅か	中期/磨板
第19図-3		深鉢/胴部	竹管状工具による沈線/内外面とも磨減が激しい、4と同一個体か	中期
第19図-4		深鉢/胴部	竹管状工具による沈線/内外面とも磨減が激しい、3と同一個体か	中期
第19図-5		深鉢/胴部	竹管状工具による沈線/内外面とも磨減が激しい	中期
第19図-6		深鉢/胴部	沈線	中期
第19図-7		深鉢/胴部	縦位R照系	中期
第19図-8		深鉢/胴部	深鉢/胴部	中期
第19図-9		深鉢/底部	沈線	中期

III 北野遺跡第32地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年8月17日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや北寄りに位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年8月27日に試掘調査を実施した。

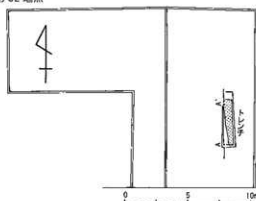
試掘調査は幅約1mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約60cmである。試掘の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

IV 北野遺跡第33地点

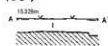
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴い、2015年12月1日～8日に試掘調査、12月15日～21日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛した。

第32地点



トレンチ



I. 黒褐色土 砂り状、粘性有、表土新作土 10cm以下ロームブロック少し含む

V 北野遺跡第34地点

(1) 調査の概要

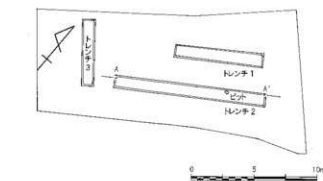
調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2015年11月21日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の東側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年12月7～8日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1mのトレンチ3本を設定し、人力で表土除去、表面精査を行った。遺構確認までの深さは約50～60cmである。試掘の結果、遺構は確認されなかった。写真撮影・全測図等記録保存を行ったうえで重機によって埋戻し、調査を終了した。

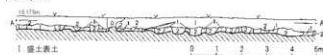
(2) 遺構と遺物

遺物は表土中から出土した縄文土器片2点である。1は金雲母を含み、横位の平行沈線と鋸歯状沈線を施す。中期阿玉台式。2は器面が荒れているが、わずかに条痕がみられる。中期か。

第34地点



トレンチ2



- 1 盛土黄土
- 0 埋戻
- 1 暗褐色土 細砂や中強、粘性有、1mm以下ローム粒少し含む
- 2 黄褐色土 細砂や中強、粘性有、ローム主体、暗褐色土を少し含む

ピット



- 1 暗褐色土 細砂や中強、粘性有、1mm以下ローム・同硬化物少し、ロームを多く含む
- 2 黄褐色土 細砂や中強、粘性有、1mm以下ローム粒僅かに含む

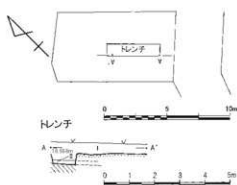
VI 北野遺跡第35地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年12月3日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年12月8日に試掘調査を実施した。調査は幅約1mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約80cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第35地点



トレンチ



- I 黄褐色土 細砂強、粘性有、10cm以下ロームブロックとコンクリガラ程度の盛土黄土
- II 黄褐色土 細砂や中強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む、旧礫土

VII 北野遺跡第36地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2016年1月22日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年2月15日～16日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.2～1.6mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40cmである。

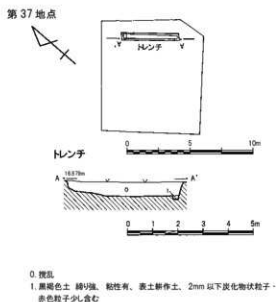
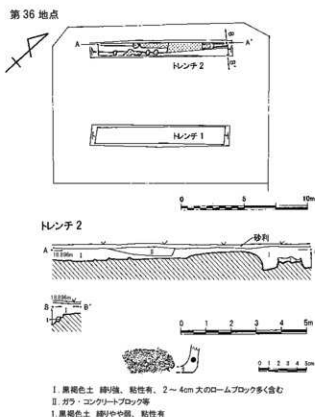
調査の結果、表土中より縄文土器片1点が出土したのみで遺構は発見されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。遺物は無文の深鉢底部で、金雲母を多く含む。中期か。

VIII 北野遺跡第37地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2016年3月22日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年3月25日に試掘調査を実施した。調査は幅約60cmのトレンチ1本を設定し、人力で表土除去、表面精査を行った。現地表面から約60cmまでが表土層であり、その下は埋没谷覆土のため地山ローム層は確認できなかった。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第21図 北野遺跡第36・37地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、第36地点出土遺物(1/4)

第5章 川崎遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

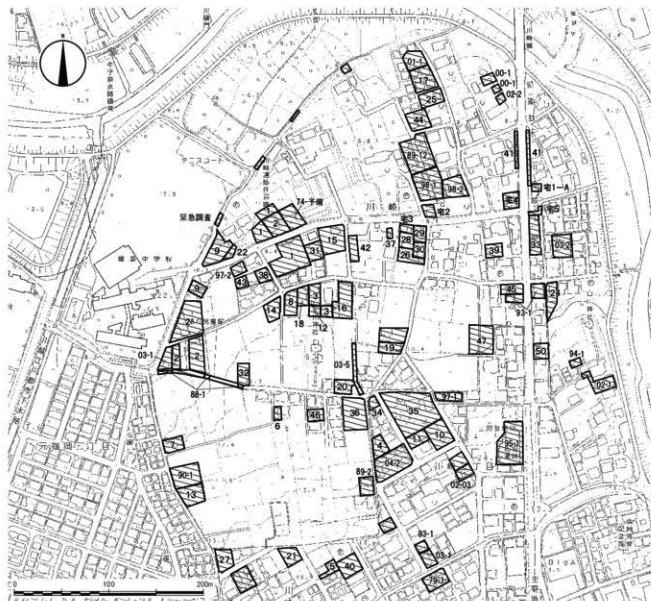
川崎遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の、いわゆる川崎台に立地している。台地の北側を東流してきた藤間江川は舌状台地の西側で新河岸川に合流し、かつては台地の先端より北東方向へ大きく蛇行していた新河岸川は、現在は台地東縁をなめるように流れる。

台地の幅は400～500m、台地の基部から先端へ1kmにわたり緩やかに傾斜しており、標高は最南部で18m、最北部では8mを測る。遺跡の範囲は南北600m、東西500m以上ある。虫食い状に宅地開発されるが、畑も良く残っている。

周辺の遺跡は、舌状台地の西側基部の急斜面上部に

川崎横穴墓群が隣接し、東側に縄文時代、古墳、奈良・平安時代のハケ遺跡がある。

1917(大正6)年頃、台地の先端部で貝層が確認され1928(昭和3)年の調査では川崎貝塚として報告された。1967年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2018年4月現在79ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は、縄文時代早期の竈穴、早期から前期及び後期の住居跡、古墳時代住居跡、飛鳥時代住居跡、奈良時代住居跡、平安時代住居跡・掘立柱建物跡、中世以降の溝跡、地下式坑、縄文時代と中世以降の貝塚等である。またローム層中からではないが、旧石器時代の遺物も出土している。

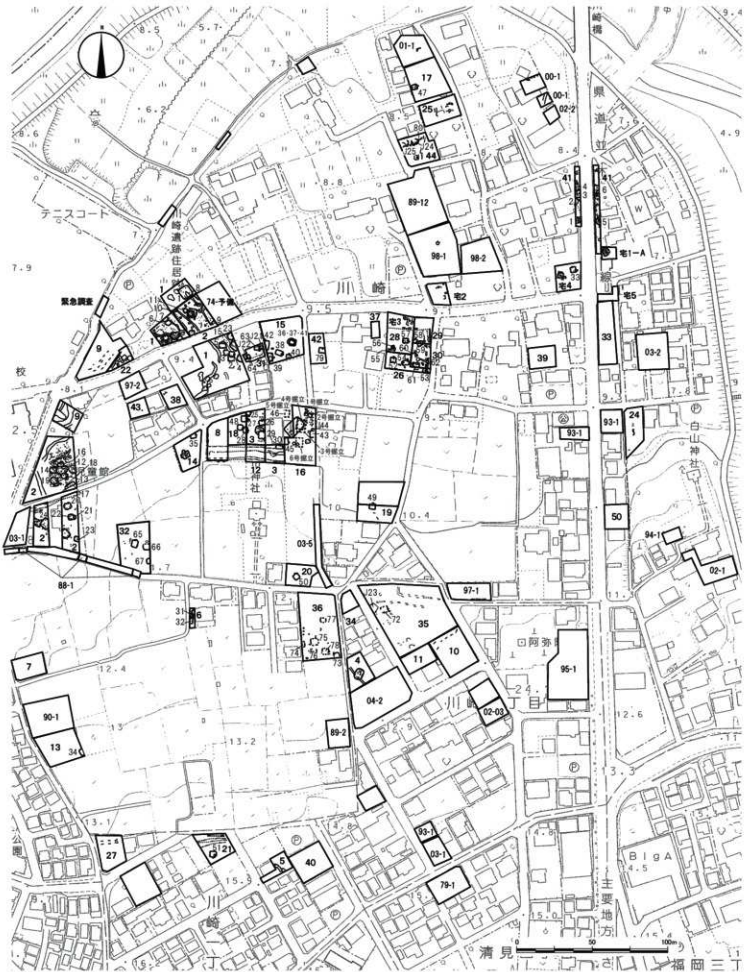


第22図 川崎遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第16表 川崎遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間	142試掘調査	発掘㎡	調査内容	確認された遺構・遺物	所在地報告書
手塚駅前遺跡	川崎160	1974.3.25~4.4	184	84	単相調査	伊予3、土坑2、ヒット跡、礎石土庫、遺構なし	上遺跡
1次	川崎162-176	1974.7.20~9.19	1,800	840	単相調査	住居跡11(遺構時代前期3、古墳時代前期1、国分1)、溝3、竪土1、地下式穴、集石	上遺跡 第1次調査報告書
暫定調査地	大宇川線宇宮駅163-3	1975.3.30~5.30	178	60	個人住居	溝1	川崎遺跡 第2次調査報告書
有馬池1次(本地区)	大宇川線宇宮駅122	1975.6.8~29	50	50	個人住居	溝1、礎石土庫、石土、平安時代住居跡1、遺構なし、土坑、遺構なし	上遺跡
2次	川崎137~174	1975.8.4~12.5	1,055	505	単相調査	礎石時代住居跡9、古墳時代前期6、平安時代前期住居跡10、中世遺構数箇所	上遺跡 第2次調査報告書
3次	川崎149-6	1977.11.~12.3	300	300	住宅建設	礎石時代住居跡2(7㎡)、奈良平安時代住居跡6(11-2+4-6)9、溝土庫、瓦葺土庫	川崎遺跡 第3次調査報告書
有馬池2次(本地区)	川崎196	1978.5.15~25	170	170	住宅建設	土坑3、ヒット	溝(1)
有馬池3次(本地区)	川崎230	1978.5.23~31	130	130	住宅建設	井戸2、地下式穴、溝1	溝(1)
4次	川崎2-5	1978.4.19~5.11	304	304	住宅建設	礎石前期時代住居跡1、溝1、溝土土庫、遺構なし	溝(1)(9)
5次	川崎1-4	1979.2.20~10.10	152	152	住宅建設	遺構遺跡	溝(1)
有馬池4次(本地区)	川崎311	1979.11.12~19	260	260	溝1	溝1	溝(1)
7年連続調査	川崎302-5	1979.12.~8	30	30	7ヵ月17日調査	溝1	溝(1)
6次	川崎302-5	1979.12.~8	30	30	7ヵ月17日調査	溝1	溝(1)
7次	川崎324-3	1981.11.27~30	316	316	個人住居	遺構なし、平安土蔵穴	溝(9)
8次	大宇川線宇宮駅140-1	1984.1.17~26	400	400	住宅建設	溝1	溝(9)
9次	川崎宅地区219	1984.9.20~10.9	301	301	住宅建設	礎石時代住居跡1、平安時代住居跡1	溝(9)
10次	川崎宇宮駅1212.1+2	1986.8.1~20	495	495	個人住居	溝2、礎石穴-溝跡、平安時代住居跡1	溝(10)
11次	川崎224-1	1987.11.24~30	603	603	個人住居	溝1	溝(2)
12次	川崎26-7	1988.5.10~17	289	289	住宅建設	遺構遺跡なし	溝(11)
89回	有馬池40号地	1988.9.19~27	40	40	住宅建設	遺構遺跡なし	溝(11)
90回(1)	川崎宇宮駅196-1	1989.4.10~16	1,043	1,043	住宅建設	遺構遺跡なし	溝(12)
90回(2)	川崎宇宮駅196-2	1989.10.3~40	264	264	住宅建設	遺構遺跡なし	溝(12)
12次	川崎宇宮駅149-4-5	1990.4.20~27	311	311	住宅建設	溝2	溝(13)
13次	大宇川線宇宮駅122	1990.5.1~17	480	480	住宅建設	奈良時代住居跡2、平安時代住居跡2、礎石土蔵穴	溝(13)
90回(1)	大宇川線宇宮駅122	1990.5.18~23	530	530	鋼線掘削	遺構遺跡なし	溝(13)
14次	大宇川線宇宮駅145	1990.10~23	499	499	住宅建設	礎石前期時代住居跡1、溝跡、平安時代住居跡1	溝(13)
15次	川崎宅地区1360-1	1991.12.21~11.20	499	499	個人住居	平安時代住居跡2、土坑1	溝(13)
92回(1)	大宇川線宇宮駅159-5	1992.2.18~10	168	168	鋼線掘削調査	遺構遺跡なし、土坑1	溝(15)
92回(1)	川崎2-2-10-11	1992.8.24	131	131	個人住居	遺構遺跡なし	溝(16)
92回(2)	川崎1-1の1の一部	1992.9.10~13	422	422	個人住居	遺構遺跡なし	溝(16)
94回(1)	川崎宇宮250跡1庫	1998.11.17~24	230	230	鋼線掘削調査	遺構遺跡なし	溝(17)
94回(1)	川崎2-2-3	1999.10.13~16	1,126	1,126	鋼線掘削	遺構遺跡なし	溝(18)
16次	川崎宇宮駅150-2-1	1995.12.11~1996.3.8	828	828	住宅建設及び住居跡調査	礎石前期時代(奈良末、大正初遺跡)、旧国分住居跡2、土坑2、平安時代住居跡1、溝1(遺構遺跡なし)、中世瓦葺土蔵穴	7年連続調査
17次	川崎宇宮地区2040の一部	1996.7.15~23	779	779	個人住居	平安時代住居跡1	溝(19)
18次	川崎宇宮駅148-5	1996.11.18~25	196	196	個人住居	平安時代住居跡1	溝(19)
97回(1)	川崎宇宮山21	1997.4.14	367	367	住宅建設	溝1(溝跡)土蔵	溝(20)
97回(2)	川崎宇宮山21	1997.10.20	204	204	個人住居	遺構遺跡なし	溝(20)
97回(3)	川崎宇宮地区199-1-2-5	1998.2.12~16	780	780	個人住居	遺構遺跡なし	溝(20)
98回(1)	川崎宅地区199-1	1998.10.11~16	396	396	住宅建設	遺構遺跡なし	11年連続調査
有馬池40号地2次	川崎宇宮駅、有馬池内	2000.2.21~25	496	496	調査	礎石前期時代住居跡1	11年連続調査
98回(1)	川崎大宇川線地区2090の一部	2000.6.19~22	323	323	個人住居	住居跡の一部	溝(21)
鋼線掘削調査	川崎宇宮地区209	2001.6.12~25	100	100	溝掘	溝1	溝(24)
19次	川崎宇宮山157の一部	2001.9.18~10.4	289	289	個人住居	平安時代前期住居跡1	溝(24)
99回(1)	川崎宇宮地区204-1	2001.10.29~30	825	825	住宅建設	遺構遺跡なし	溝(24)
99回(2)	川崎409-150-1	2002.5.13	341	341	溝掘	遺構遺跡なし	溝(25)
99回(2)	川崎159-1、2の一部	2002.10.29~29	531	531	住宅建設	溝1(溝土土蔵跡)	溝(25)
99回(2)	川崎2-4-6	2002.12.24	228	228	個人住居	遺構遺跡なし	14年連続調査
99回(4)	川崎2-2-12	2003.3.13	163	163	個人住居	遺構遺跡なし	14年連続調査
99回(5)	川崎宇宮2155跡	2003.3.26	164	164	有馬池40号地	遺構遺跡なし	14年連続調査
99回(1)	川崎137-107の一部	2003.8.6~7	257	257	個人住居	遺構遺跡なし	溝(26)
99回(2)	川崎宇宮地区26-14	2003.12.8(9)	381	381	個人住居	遺構遺跡なし	溝(26)
宅地区2次5次	川崎宇宮地区222.3跡	2004.2.16~18	88	88	古墳時代前期住居跡1【調査実施】	13年連続調査	
94回(1)	川崎宇宮山157-155の一部	2004.8.18~19	421	421	個人住居	平安時代前期の平土の一部	溝(27)
94回(2)	川崎2-5-7	2004.11.1~4	881	881	住宅建設	遺構遺跡なし	溝(27)
20次	川崎宇宮山153-5	2005.11.22~27,2005.11.28~12.2	257	257	個人住居	古墳時代住居跡1	溝内1
21	川崎1-6-10	2006.4.11,2006.4.14~20	268	268	個人住居	奈良時代住居跡1、溝	溝内3
22	川崎171-1、174-10	2007.4.16~23	104	104	溝跡(住居跡)	伊予4、地下式穴2、穴蔵1、土坑2	溝内4
24	川崎宇宮地区25-3	2007.10.4	319	319	共同住居	遺構遺跡なし	溝内4
25	川崎宅地区203-1-1の一部、203-1-2	2008.4.10,2008.4.15~17	1,013	1,013	個人住居	平安時代前期住居跡1、溝、近代以降の地下室1	溝内6
26	川崎宇宮地区203-5	2008.4.21,2008.4.22~5.17	228	228	個人住居	奈良時代住居跡4、土坑3、近代以降の井戸1	溝内6
27	川崎1-7-1	2008.5.15~21	150	150	鋼線掘削	時期不明の土坑1	溝内6
28	川崎宇宮地区230-7	2008.7.4~9,2008.7.10~8.8	434	434	個人住居	奈良平安時代住居跡2、土坑、ヒット	溝内6
29	川崎宇宮地区230-1	2008.7.9~11,2008.7.14~8.22	203	203	個人住居	奈良平安時代住居跡2、溝2	溝内6
30	川崎宇宮地区230-6	2008.7.17,2008.7.18~9.5	200	200	個人住居	奈良平安時代住居跡4、井戸3、土坑、溝5	溝内6
31	川崎宇宮地区150-1(一部、161-8)	2009.12.20,2009.12.20~11.27	304	304	個人住居	礎石前期時代(古墳期)住居跡2、奈良平安時代住居跡2、ヒット1	溝内8
32	川崎宇宮山400号-1	2010.12.24~25,2011.3.25	396	396	鋼線掘削	奈良平安時代住居跡3、土坑2、土坑2(平安)	溝内8
33	川崎2-5-4	2010.7.2~26	3178	3178	鋼線掘削	遺構遺跡なし	溝内9
35	川崎2-6-4~7号	2011.9.27~11.24	1,924	1,924	鋼線掘削	礎石時代前期(奈良)住居跡1、奈良平安時代住居跡1物	溝内14
36	川崎宇宮山100-1	2011.12.15~26,2012.1.10~2012.1.17	1,096	1,096	公開調査	奈良平安時代住居跡6物	溝内14
37	川崎宇宮地区232-1	2012.9.3	1,248	1,248	個人住居	遺構遺跡なし、遺構なし	溝内15
38	川崎宇宮山165-3	2012.12.25,2013.2.26~27	176	176	個人住居	礎石土蔵2・中世以降ヒット5	溝内15
39	川崎宇宮地区227-1	2013.5.4~5	1,120	1,120	個人住居	遺構遺跡なし、礎石土蔵、土坑跡、遺構遺跡、跡跡	溝内15
40	川崎1-1-7	2013.10.11~17	447	447	共同住居	遺構遺跡なし	溝内18
41	川崎218-1跡	2014.8.1~10.31	419	419	溝掘	平安時代住居跡2	川崎遺跡 第41次(奈良文書調査事業)跡1
42	川崎宅地区133-3	2015.6.26~27	200	200	集石跡	平安時代住居跡1、遺構遺跡、土蔵跡	溝内22
43	川崎宇宮山165-500-19	2015.6.26	175.21	175.21	個人住居	礎石土蔵穴	溝内22
44	川崎宇宮山202-1+8	2015.11.24~12.10,2016.1.5~20	275.56	275.56	鋼線掘削	礎石時代住居跡2、奈良平安時代住居跡1(遺構)、地下式穴1、土坑3、ヒット3、溝1、礎石土蔵、石土、古瓦跡、土坑跡、遺構遺跡	川崎遺跡 第41次(奈良文書調査事業)跡1
45	川崎宇宮山4-7-7-6	2017.2.24	194	194	個人住居	溝1	本報告書
46	川崎宇宮山161-5、163-8	2017.3.13	254.72	254.72	個人住居	溝1(住居跡)住居跡、溝跡、礎石(住居跡)土蔵跡	本報告書
47	川崎宇宮山151-1、161-1	2017.12.19	769	769	個人住居	遺構遺跡なし	本報告書
48	川崎宅地区134-1	2018.8.27~9	240	240	個人住居	礎石時代住居跡1、近世以降溝、礎石土蔵、土坑跡、遺構遺跡数箇所	本報告書
49	川崎1-1-5	2019.2.7-8	509	509	鋼線掘削	礎石土蔵、遺構遺跡なし	本報告書
50	川崎宇宮山160-40の一部	2019.4.8	120	120	個人住居	遺構遺跡なし	溝内20

※注：上編町教育委員会埋蔵文化財調査報告書、上遺跡：上編町道跡調査報告書、敷設：上編町教育委員会、市内ふじみ野市市内道跡調査報告書



第23図 川崎遺跡遺構分布図(1/2,500)

第 17 表 川崎遺跡古代住居跡一覧表

住居番号	調査年度	調査番号	調査年	平面形状 (1/10縮尺)	規模	伊 方 マ ツ	取壊	カマド 規模 (㎡)	瓦葺	主軸方位	時期	備考	文献	
1	1994	第1.35.N72	1994	縄丸	360×730×40	伊	地蔵伊	40×50	○	N40°E	3世紀前半	市指定文化財	川崎遺跡第1次発掘	
2	1994	第1.35.N65	1994	方形	390×330×*	伊	伊		○	N5°E	国分			
3	1994	第1.35.N66	1994	縄丸	320×320×*	伊	伊		○	N13°W	9 C・4中期			
4	1994	第1.35.N67	1994	方形	320×320×*	伊	伊	80×90	○	N83°W	9 C・中葉			
5	1994	第1.35.N24	1994	縄丸	470×340×50	伊	伊	120×75	○	N5°E	10 C・1中期			
6	1994	第1.35.N25	1994	縄丸	320×300×*	伊	伊	40×40	○	N42°E	9 C・1中期			
7	1994	第1.35.N28	1994	縄丸	400	伊	伊	50×60	○	N69°E	9 C・3中期			
8	1974	第1.35.N71	1974	縄丸	460	伊	伊							
9	1975	第2.25.N75	1975	部分	(縄丸)								川崎遺跡第2次発掘	
10	1975	第2.25.N92	1975	部分	(縄丸)					10 C・1中期				
11	1975	第2.25.N72	1975	縄丸	250×250×13	伊	伊	50×80	○	N18°E	国分			
12	1975	第2.25.N67	1975	方形	720×720	伊	伊		○	N32°E	6 C後半	ビツト多数、すまい		
13	1975	第2.25.N64	1975	方形	390×350	伊	伊	60×70	○	N64°E	6 C前半	取壊跡有り		
14	1975	第2.25.N65	1975	縄丸	450×370	伊	伊	100×80	○	N1°E	10 C・2中期			
15	1975	第2.25.N19	1975	14段に切れる		伊	伊			9 C・4中期	表裏がたがったまま			
16	1975	第2.25.N14	1975	縄丸	370×260	伊	伊	90×80	○	N4°E	9 C・3中期			
17	1975	第2.25.N12	1975	縄丸	700	伊	伊				6 C	跡跡		
18	1975	第2.25.N13	1975	17段土木土壁	(半壊)									
19	1975	第2.25.N66	1975	縄丸	410×420	伊	伊		○	N45°E	6 C後半			
20	1975	第2.25.N22	1975	縄丸	410×330	伊	伊	120×120	○	N29°W				
21	1975	第2.25.N53	1975	縄丸	350×280	伊	伊	70×60	○	N47°E	10 C・2中期	2段を切る		
22	1975	第2.25.N54	1975	部分	330×320	伊	地蔵伊				5階			
23	1975	第2.25.N20	1975	1/5	(縄丸)	350	伊		○	N23°E	9 C・2中期	堀込工跡跡		
24	1975	第2.25.N21	1975	縄丸	380	伊	伊	50×70	○	N43°W	縄丸			
25	1977	第3次1号住居	1977	縄丸のみ	(縄丸)	伊	伊						川崎遺跡第3次	
26	1977	第3次2号住居	1977	縄丸	350×330	伊	伊	70	○	国分	鉄製品多い			
27	1977	第3次4号住居	1977	縄丸	350×400	伊	伊	170×110	○				→とて遺跡調査19	
28	1977	第3次5号住居	1977	縄丸	350×320	伊	伊	120×90	○	国分			→とて遺跡調査19	
29	1977	第3次6号住居	1977	4/5	縄丸	440	伊	155×90	○	9 C・4中期	取壊家屋			
30	1977	第3次9号住居	1977	1/2	(縄丸)	415	伊			国分				
31	1979	第6次1号住居	1979	3/4	縄丸	伊	伊			9 C・2中期			縄丸文化財の調査17	
32	1979	第6次2号住居	1979	1/3	縄丸	伊	伊	140×80	○	9 C・1中期	鉄製品多い			
33	1990	縄丸遺跡第2次住居	1990	縄丸	340×340	伊	伊	120×100	○	8 C・3中期			縄丸文化財の調査15	
34	1990	第12次1号住居	1990	1/2×1/3	縄丸	伊	伊			7 C後半			縄丸文化財の調査14	
35	1990	第14次2号住居	1990	1/2	縄丸	伊	伊			9 C・1中期				
36	1991	第15次1号住居	1991	1/2	縄丸	伊	伊			9 C～10 C			縄丸文化財の調査15	
37	1991	第15次2号住居	1991	部分	380×380	伊	伊			9 C後半				
38	1991	第15次3号住居	1991	縄丸	265×430	伊	伊			9 C前期				
39	1991	第15次4号住居	1991	1/2	縄丸	伊	伊			8 C後半～9 C前期				
40	1991	第15次5号住居	1991	3/4	縄丸	伊	伊			9 C前半～中				
41	1991	第15次6号住居	1991	部分	425×270	伊	伊			8 C後半	35.36住と登録			
42	1991	第15次7号住居	1991	1/2	縄丸	伊	伊			9 C前半	縄丸跡跡、溝跡			
43	1994	第16次1号住居	1994	1/2	縄丸	伊	伊			9 C前半～後半			本報告	
44	1994	第16次2号住居	1994	縄丸のみ		伊	伊			9 C前半～後半				
45	1994	第16次3号住居	1994	2/3	縄丸	伊	伊			9 C前半～後半				
46	1994	第16次6号住居	1994	カマドのみ		伊	伊							
1	1994	第16次1号壁立	1994	2/3	縄丸									
1	1994	第16次2号壁立	1994	縄丸のみ	縄丸2間					9 C前半～後半	42住と登録			
1	1994	第16次3号壁立	1994	縄丸	縄丸3間 兼土2間									
1	1994	第16次4号壁立	1994	縄丸	縄丸3間 兼土2間									
1	1994	第16次5号壁立	1994	1/2	縄丸	縄丸2間								
1	1994	第16次6号壁立	1994	縄丸	縄丸3間 兼土2間									
47	1996	第17次1号住居	1996	縄丸	400×400	伊	伊		○	国分	書土跡	縄丸文化財の調査19		
48	1996	第16次2号住居	1996	縄丸	360×360	伊	伊		○	7 C			縄丸文化財の調査19	
49	2000	第18次1号住居	2000	1/2	縄丸	伊	伊			9 C前半			縄丸文化財の調査14	
50	2005	第20次1号住居	2005	2/3	縄丸	伊	伊		○	N45°W	7 C前半～中		市内遺跡群1	
51	2006	第21次1号住居	2006	縄丸	410×365×10	伊	伊	145×125	○	N306°E	9 C後半		市内遺跡群3	
1	2008	第25次1号壁立	2008	縄丸	縄丸2間 兼土2間								市内遺跡群6	
52	2008	第26次H28号住居	2008	方形	349×336×13	伊	伊	95×85	○	N16°E	9 C後半			
53	2008	第26次H29号住居	2008	縄丸のみ	(方形)	431×205×24	伊	伊	70×		N16°E	9 C後半		
54	2008	第26次H30号住居	2008	縄丸	424×296×20	伊	伊	98×71	○	N4°E	8 C後半			
55	2008	第26次H31号住居	2008	縄丸のみ	(方形)	1900×(231)×15	伊	伊	88×84		N19°E	8 C前半～後半		
56	2008	第26次H31号住居	2008	縄丸のみ	(方形)	640×325×2	伊	伊			N18°E			
57	2008	第26次H32号住居	2008	縄丸	327×295×23	伊	伊	500×80	○	N105°E	表土～1階			
58	2008	第26次H33号住居	2008	縄丸のみ	(方形)	1216×(220)×16	伊	伊	1651×652	○	N60°E	8 C後半～9 C前期		
59	2008	第26次H34号住居	2008	縄丸	328×372×12	伊	伊	71×50	○	N16°E	9 C後半		書土跡	
60	2008	第30次H45号住居	2008	縄丸	294×232×26	伊	伊	141×88	○	N104°E	9 C前半			
61	2008	第30次H47号住居	2008	縄丸	415×414×21	伊	伊	50×140	○	N16°E	9 C後半	瓦敷跡		
62	2008	第30次H48号住居	2008	1/2	(方形)	375×(105)×17	伊	伊		○	N5°E	9 C後半	書土跡	
63	2009	第31次H49号住居	2009	縄丸	310×276×29	伊	伊	105×90	○	N7°E	9 C		市内遺跡群9	
64	2009	第31次H46号住居	2009	縄丸	215×265×15	伊	伊	82×40	■	N68°E	9 C			
65	2011	第32次H45号住居	2011	縄丸	355×460×35	伊	伊	113×132	○	N27°E	10 C		市内遺跡群10	
66	2011	第32次H46号住居	2011	縄丸	420×365×50	伊	伊	40×105	○	N99°E	8 C後半～9 C前期			
67	2011	第34次H67号住居	2011	1/2	方形	(220)×330×30	伊	伊			N40°E			
71	2011	第36次H47号住居	2011	縄丸のみ	(方形)	1376×470×50	伊	伊			伊			
71	2012	第36次H47号住居	2012	2/3	縄丸	320×(177)×60	伊	伊			E-7.5	9 C後半		市内遺跡群11
74	2012	第36次H47号住居	2012	部分のみ	(縄丸)	390×350	伊	伊			伊			本報告
75	2012	第36次H47号住居	2012	部分のみ	(縄丸)	440×450	伊	伊			伊			本報告
76	2012	第36次H47号住居	2012	部分のみ	(縄丸)	1130×460	伊	伊			伊			本報告
77	2012	第36次H47号住居	2012	部分のみ	(縄丸)	340×(360)	伊	伊			伊			本報告
78	2012	第36次H47号住居	2012	部分のみ	(縄丸)	1360×420	伊	伊			伊			本報告
79	2015	第42次H47号住居	2015	部分のみ	(縄丸)	1401×(130)	伊	伊			伊			市内遺跡群22
80	2015	第44次H48号住居	2015	1/2～1/3	(縄丸)	330×1402上	伊	伊			9 C代			市内遺跡群19

II 川崎遺跡第42地点

(1) 調査の概要

調査は集会所建設に伴うもので、原因者より2015年5月18日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年6月26日と7月2日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。調査の結果、現地表面下約20cmで平安時代の住居跡1軒を確認した。建物基礎の深さは43cmであるが、55cmの盛土を行うため30cm以上の保護層が確保できるとして、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

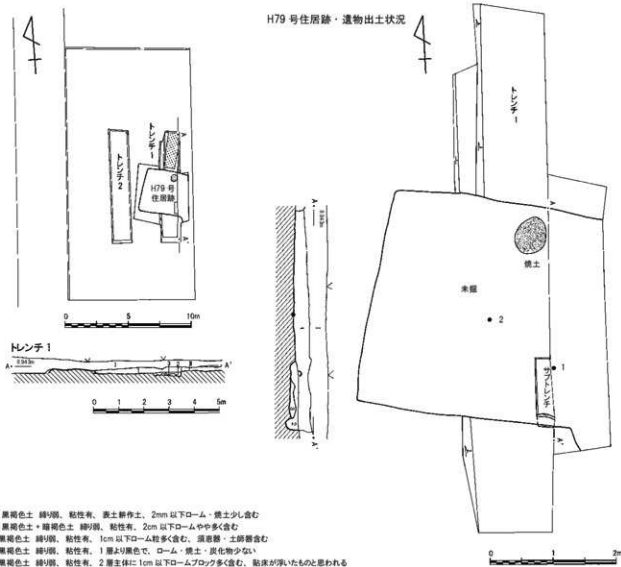
(2) 遺構と遺物

① H79号住居跡

調査区東側中央でプランのみ検出した。東西3.4m以上、南北3.5mの規模を有する。竈は確認していないが、北東隅で焼土が集中する箇所を検出した。

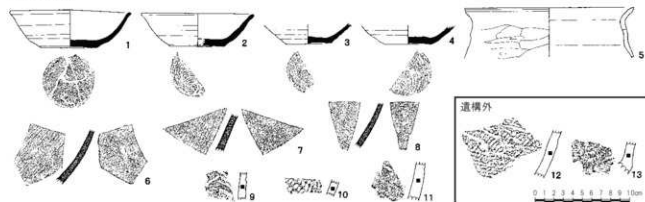
② 出土遺物

遺物については第25図及び第18表に掲載した。



第24図 川崎遺跡第42地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、H79号住居跡(1/60)

H79号住居跡



第25図 川崎遺跡第42地点出土遺物(1/4)

第18表 川崎遺跡第42地点出土遺物観察表 (単位cm・g)

図版番号	出土遺構	種別/器種	口径・長さ	器高・幅	底径・厚さ	技法・文様/胎土/備考	推定産地	推定年代	
第25図-1	H79号住居跡	須恵器/環	12.5	4.2	5.7	回転糸切り未調整、酸化炭焼成	—	9世紀後半	
第25図-2		須恵器/環	(12.0)	3.5	(5.8)	回転糸切り未調整/僅かに海綿骨針を含む、チャート等小礫を含む	南比企産	9世紀後半	
第25図-3		須恵器/環	—	(1.9)	(5.0)	回転糸切り未調整、灰白色を呈する	—	9世紀後半以降	
第25図-4		須恵器/環	—	(2.0)	(5.0)	回転糸切り未調整/白色粒子を多く含む	東金子産	9世紀後半以降	
第25図-5		土師器/甕	(18.0)	(5.3)	—	口縁部外面ナデ、体部外面ヘラケズリ	—	9世紀後半	
第25図-6		須恵器/甕	—	(5.7)	—	外面平行タタキ、内面無文当て具/僅かに海綿骨針を含むが、微細な白色粒子を多く含む	—	—	
第25図-7		須恵器/甕	—	(4.0)	—	外面平行タタキ、内面無文当て具/微細な白色粒子を多く含む	—	—	
第25図-8		須恵器/甕	—	(4.8)	—	外面平行タタキ、内面無文当て具、灰白色を呈する	—	—	
第25図-9		縄文/破片	—	—	—	沈線	—	縄文前期	
第25図-10		縄文/破片	—	—	—	縦位RL縄文	—	縄文前期	
第25図-11		縄文/破片	—	—	—	無文	—	縄文	
第25図-12		遺構外	縄文/破片	—	—	—	付加条(軸RL+r?)	—	縄文前期
第25図-13			縄文/破片	—	—	—	底部付近、磨滅が激しい	—	縄文前期

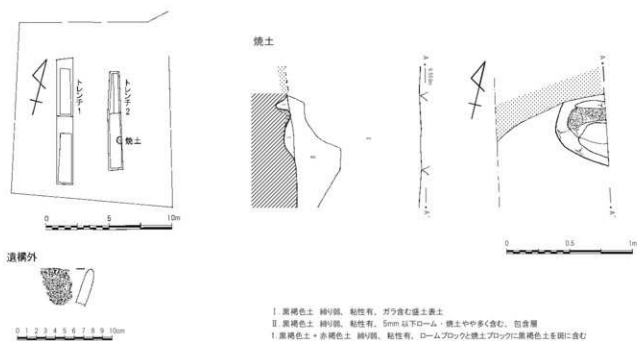
川崎遺跡第43地点

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年5月7日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。原因者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年6月26日に試掘調査を実施した。

試掘調査は、幅約1～1.2mのトレンチ2本を設定

し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さは1～1.2mである。時期不明の焼土跡を確認したが、遺物は伴わなかった。遺構の属性が確認できないため、今回は遺構として取り扱っていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

表土中より1点遺物が出土している。口縁部である。磨滅が激しく、文様・時期等は不明である。縄文時代。



第26図 川崎遺跡第43地点遺構配置図(1/300)、焼土(1/30)、出土遺物(1/4)

IV 川崎遺跡第44地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴い、2015年11月24日～12月10日まで試掘調査、2016年1月5日～20日まで本調査を行った。調査の結果、縄文時代の住居跡2軒、平安時代の住居跡1軒、貝層を伴う地下式坑他を検出した。詳細については、ふじ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため本書では割愛するが、地下式坑内から出土した貝についての報告が十分ではなかったため、本書にて追記する。

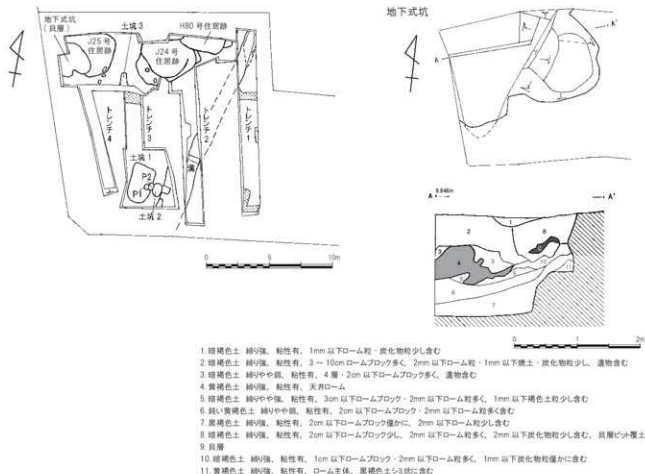
(2) 遺構と遺物

貝層は地下式坑の覆土中より出土した。土層の観察から、地下式坑の埋没過程で廃棄がなされたものと考えられる。貝の詳細については第19表及び第28図に掲載した。

本地点で出土した貝はマツカサガイ・チリメンカワニナ・オオタニシ・マルタニシである。主体はマツカサガイで、全体量の72.6%を占める。次にチリメン

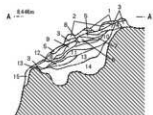
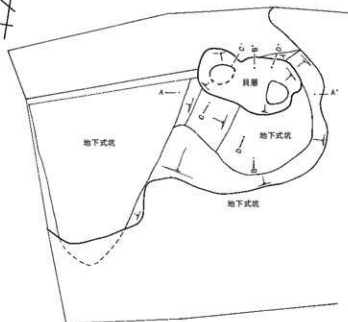
カワニナ、オオタニシと続く。マルタニシは数点確認できたのみである。出土した貝はいずれも淡水に生息するもので、新河岸川で採取したものを廃棄した跡と推測できる。

今回の調査で発見された貝塚は、地下式坑の天井崩落以降あまり間を置かずして廃棄が開始されたものと考えられる。地下式坑の帰属時期は遺構の大半が未調査のため不明である。本地点から南西に約240m離れた第22地点の調査で検出した地下式坑は、出土した瀬戸産の陶器の花瓶から14世紀中葉に帰属する。本地点の地下式坑も同様の時期である可能性が考えられる。また、中世と思われる貝塚としては本地点より約1.3km南の遺跡跡第25地点で確認されている。古代以降と考えられる井戸が完全に埋没した後、新たにピットを掘削して貝類を廃棄している。ここで検出した貝類も主体はマツカサガイで、チリメンカワニナとタニシを含んでおり、本地点の貝類の構成と共通する。周辺の事例を含めて考えると、今回の調査で発見された貝塚も中世以降の所産である可能性が高い。



第27図 川崎遺跡第44地点遺構配置図(1/300)、地下式坑(1/60)

貝層



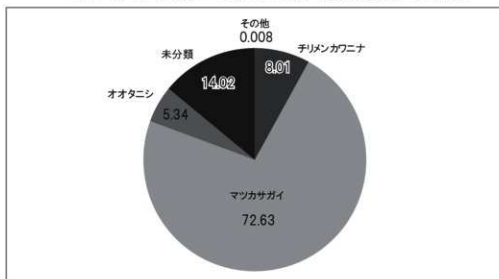
1. イシガイ①
2. イシガイ②
3. イシガイ③
4. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒多く含む
5. イシガイ④
6. オオタニシ④
7. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒多く含む
8. イシガイ⑤
9. オオタニシ⑤
10. イシガイ⑥
11. 黒褐色土 締りやや強、粘性有、1mm以下ローム粒多く含む
12. カワナ②
13. イシガイ⑦
14. イシガイ⑧
15. 黒褐色土 締り強、粘性有、3～10cmロームブロック多く、2mm以下ローム粒・1mm以下炭土・炭化物粒少し、遺物含む
16. カワナ②・オオタニシ①

0 0.5 1m

洗浄前 全体重量(g)	貝類重量(g)	混貝率(%)
49362.93	5719.43	11.60

チリメンカワナ	マツカサガイ	オオタニシ	未分類	その他	合計
457.99	4153.8	305.57	801.6	0.47	5719.43

第19表 川崎遺跡第44地点地下式坑出土貝層の貝類出土量と混貝率



第28図 川崎遺跡第44地点貝層(1/30)、地下式坑出土貝層の貝類遺体組成

第6章 ハケ遺跡の調査

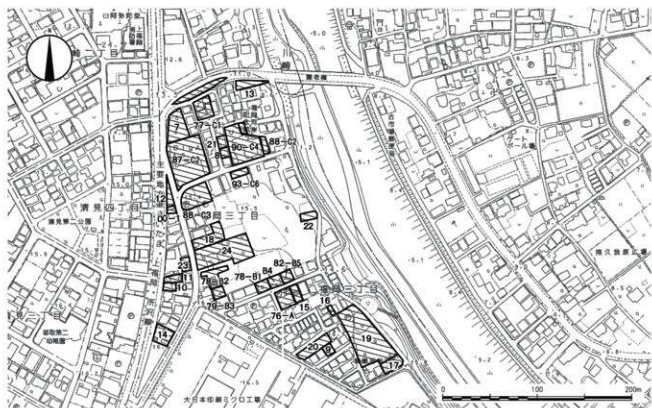
I 遺跡の立地と環境

ハケ遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎台の東側付け根に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。遺跡の北側は落差2m程度のゆるい斜面を形成し、小支谷が入る。標高は14～16mで、遺跡の範囲は南北360m、東西160m以上ある。宅地開発される遺跡中央に畑が残る。

周辺の遺跡は、舌状台地の北側に旧石器、縄文、古墳～奈良・平安時代、中近世の川崎遺跡が隣接し、台地続きの南東側に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時

代の著名な上福岡貝塚、権現山遺跡がある。

1976年以降、宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、2018年4月現在31ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代前期から後期の住居跡、古墳時代から奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡、近世鍛冶遺構(旧福田屋跡)と、2014年に第16地点の発掘調査で、古墳の周溝から6世紀の人物埴輪と円筒埴輪多数が出土し、2015年の第19地点でも新たに3基の円埴を検出した。本遺跡は便宜上東西に走る道路によって南側からハケ遺跡A、ハケ遺跡B、ハケ遺跡Cと呼称していたが、現在はハケ遺跡に統一している。



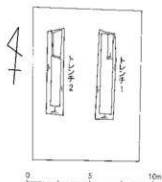
第29図 ハケ遺跡の地形と調査区(1/4,000)

II ハケ遺跡第21地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年9月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年1月5日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

調査の結果、現地表面から約100cmまで攪乱土であり地山ローム層は確認できなかった。遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し・調査を終了した。



第30図 ハケ遺跡第21地点調査区域図(1/300)

第20表 ハケ遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (1)は試掘調査	面積(㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
A-1次	大学中福岡学道院1228~2021	1976.9.11~16	306	個人住宅	古墳住居跡1、竪穴状遺構3、縄文土層	上福岡市遺跡調査報告書
C-1次	大学中福岡学道院1480	1977.8.2~27	1,794	宅地造成	縄文住居跡5、奈良平安住居跡2、竪穴状遺構、土坑、伊跡	ハケ遺跡調査会 ハケ遺跡C地区
B-1次	中福岡1228-40	1978.8.28~9.10	165	個人住宅	遺構なし、縄文中鋼土器片	埋蔵文化財の調査(1)
B-2次	中福岡1181-2	1978.9.11~25	360	建築建設	土坑4、伊跡1、土器	埋蔵文化財の調査(1)
B-3次	中福岡1228-37	1979.7.20~31	166		土坑3、縄文土器	埋蔵文化財の調査(1)
B-5次	大学中福岡学道院1228-46	1982.5.10~17	165		溝1、縄文土器	埋蔵文化財の調査(V)
C-2次	福岡3-2066-1-2	1987.4.16~5.29	1,900	倉庫付住宅改築	縄文中期住居跡11、奈良平安住居4、竪穴1	埋蔵文化財の調査(X)
C-3次	福岡2-2-1	1988.8.15~20	627	駐車場	縄文中期住居跡4、平安住居跡2	埋蔵文化財の調査(11)
C-基	福岡3-4-2	1988.10.24~26	60	擁壁改修工事	縄文中期住居跡1	埋蔵文化財の調査(11)
C-4次	旧福岡野敷地内	1990.6.29~6.30 H3.1月来~継続調査予定	500		旧福岡野敷地石跡、銅土器遺物(磨石・火鋸3・物置跡、粘土貼りつづり形小管穴・江戸前期~中期長方形土坑12・溝1・平安住居跡3・縄文中期住居跡2、縄文後~前期住居跡3	2年度調査要覧 市史資料編
C-6次	福岡3-1189、2065-2	1993.5.6~18	141.91	個人住宅	縄文中期土坑6	埋蔵文化財の調査(16)
C-4次	福岡3-2069-10の一部	1994.6.10~1.31	54	河岸記念館管理棟・ 道路造成工事	縄文中期住居跡5、土坑30	埋蔵文化財の調査(17)
C-基	福岡3-1884-8	2000.1.26	100	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(22)
C-7次	福岡3-2	(2006.10~22)	666	宅地造成	縄文・奈良平安遺構群出	市内遺跡群 3
C区8	福岡3-2069-9	(2009.3.17)	99	個人住宅	住居跡確認	市内遺跡群 6
C区9	福岡3-1257-7、1259-1	(2010.2.22~4)	120	個人住宅	土坑1、高井木1	市内遺跡群 6
10	福岡3-1363-14	(2011.4.22)	122.1	個人住宅	時期不明溝1	市内遺跡群14
11	福岡3-1363-11	(2011.4.21~22)	157.7	分譲住宅	縄文時代屋外埋蔵1、土器	市内遺跡群14
12	福岡3-1472-1	(2012.9.24)	122	個人住宅	ピット1、土器	市内遺跡群15
13	福岡3-1484-1	(2013.10.2~3)	183	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
14	福岡3-1363-15	(2013.11.22)	144	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
15	福岡3-1228-19	(2014.4.8~9)	184.09	共同住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群20
16	福岡3-1254-7-14-17	(2014.8.11~9.29.9.3~9)	68	分譲住宅	古墳1基、人形・人物埴輪等、縄文土器	市内遺跡群21
17	福岡3-1219-1-2	(2014.9.26~30)	98.58	個人住宅	現代のゴミ21、近世~近代陶磁器、ガラス製品	市内遺跡群20
18	福岡3-1182、2066-5	(2014.12.4~10) 2015.1.6~16	510.67	個人住宅	縄文時代中期住居跡1、伊4、土坑2、溝2、縄文土器	市内遺跡群16
19	福岡3-1222-1、1223~1225、1255	(2015.3.17~5/11~10/13) 6/2~9/19	2,296.5	宅地造成	古墳3、溝2、縄文土器、土器群、埴輪	市内遺跡群21
20	福岡3-1252-1	(2015.10.14~16) 2015.10.29~30	375	分譲住宅	古代以降の竪穴1、土坑1、土器群、火工陶境界坑	市内遺跡群21
21	福岡3-1193-4-15、2069-10	(2016.1.5)	101	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群22
22	福岡3-2061の一部	(2016.12.26~2017.1.19) 2017.1.25~2.8	249.32	はけ自治会集合施設	古代住居跡1(H1)形、土坑13、ピット13、縄文土器、土器群	未報告
23	福岡3-1183-10の一部	(2017.7.18)	137	個人住宅	ピット、縄文土器片	未報告
24	福岡3-1178-1、1179-1、1180-1、1181-1、2066-2、2067	(2017.7.19~27) 2017.7.28~8.7	1,702.15	宅地造成	縄文時代住居跡1、竪穴状遺構1、土坑2、時期不明築石土坑1、ピット12、縄文土器、石器、漆器類、陶磁器	未報告

第7章 権現山遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

権現山遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面のいわゆる川崎市の南東端部に立地している。遺跡の東側を新河岸川が台地東縁をなめるように流れ、東方は新河岸川に臨む急峻な崖が形成されている。また、南側は旧清水という小川が流れる低地で、やはり急傾斜の斜面を形成する。標高は16～18mを測る。遺跡の範囲は南北300m、東西300m以上ある。

周辺の遺跡は、台地続きの北側に縄文時代前期・中期・晩期、古墳時代の集落がある著名な上福岡貝塚、台地下の低地面に縄文時代早期・前期、古墳から奈良・平安時代の集落跡である流遺跡がある。

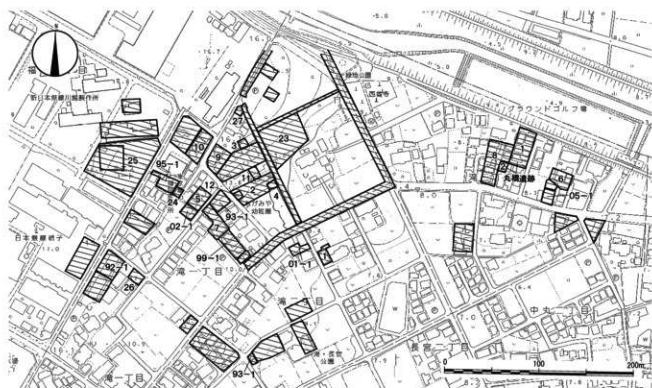
権現山遺跡は大正6年に安部一郎氏により「権現山といふ円形古墳」(安部1917)として紹介された。その後、1937年(昭和12年)に山内清男、関野克によって上福岡貝塚が調査された折に作成された遺構配置図には、新河岸川沿いに3群6基の古墳が記述されている。(山内1937)戦後は「埼玉縣史」(1951)、『古墳調査報告書一入間地区一』(1961)等に古墳の記載がある。しかし、1965年に行われた通称「厄病塚」

(権現山北古墳群2M・3M)の調査では古墳の確証が得られず、十三塚の可能性が考察されている。

一方、通称「権現山」(権現山古墳群2M)は徳川家康が鷹狩りに訪れたという伝承から、1963年に市指定文化財(上福岡市)に指定された。資料上の初見は元禄12(1699)年の「武州入間郡福岡村除地水帳」に「権現 社地」の記載があり、塚の上には天保11(1840)年2月造立の「東照神祖命」の石造物が安置される。

その後1982年～1993年までの6次にわたる発掘調査により、古墳時代前期の古墳群(11基)が発見され、「権現山」はいわゆる前方後方墳であることが判明し、2002年3月22日県指定文化財に指定された。

1982年以来2018年4月現在、27ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は縄文時代中期の集落、古墳時代前期の方形周溝墓群、古墳時代の集落、奈良・平安時代の集落である。なお、流遺跡の第3・5・9・10次調査および、1995年と2002年の試掘は権現山遺跡の範囲に入っているため、権現山遺跡第1・2・5～7・14・17地点へ変更した。



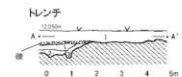
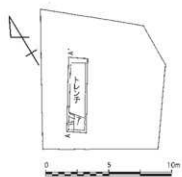
第31図 権現山遺跡の地形と調査区(1/4,000)

II 権現山遺跡第26地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年10月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月30日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.5mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約40cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったが、表土層下で砂利を伴う道路状の硬化面と溝状の掘り込みを検出した。土層の観察から近代以降に帰属するものと考えられる。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



- 1 黒褐色土 地表土、下層で、1層との間に3cm以下砂多く含む
- 1 黒褐色土 砂質。粘性有、5cm以下ロームブロック多量に含む
- 2 暗褐色土 砂質。粘性有、1cm以下ロームブロック多量に含む
- 3 黒褐色土 砂質。粘性有、3mm以下ローム粒多量に、下層に3cm以下ロームブロック多く含む

第32図 権現山遺跡第26地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

第21表 権現山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	溝1-4-15	1980.6.27~7.3	76	個人住宅	古墳性層1、墓(旧溝3次)	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)
2	溝1-3-21	1980.7.20~31	330		遺構なし。中世以降陶器片(旧溝5次)	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)
3	溝3-4-7	1982.1.20~2.6	50	自転車庫増設工事 (公共事業)	古墳方形周溝墓、西行土器、縄文中期住居跡1、縄文土器多数	56年度教育要覧
4	溝1-5-4	1982.12.8~28	200	範囲確認調査	古墳方形周溝墓6、古墳性層跡1	埋蔵文化財の調査(VI)/上福岡市史料編1
4	溝1-5-4	1983.5.18~6.28	100	範囲確認調査	古墳性層跡1、方形周溝墓1	埋蔵文化財の調査(VI)
5	溝1-4-4	1984.5.11~22	466	住宅建設	溝2(旧溝9次)	埋蔵文化財の調査(VI)/上福岡市史料編1
6	溝1-3-17	1984.6.1~12	363	住宅建設	古墳性層跡1、溝4、土坑3(旧溝10次)	埋蔵文化財の調査(VI)/上福岡市史料編1
7	溝1-4-2	1984.6.28~30	33	物置建設	集石2、土坑2(旧溝11次)	埋蔵文化財の調査(VI)/上福岡市史料編1
8	大字福岡1500	1985.1.20~2.25		市道舗装工事	方形周溝墓2、古墳3、須恵器・倭形土器	59年度教育要覧/上福岡市史料編1
9	溝1-4-8	1985.8.9~9.9	430	範囲確認調査	古墳性層跡2、平安性層跡2	埋蔵文化財の調査(VI)
10	溝1-5-9-10	1986.2.10~22	202	範囲確認調査	溝2周溝墓の前部分の調査	埋蔵文化財の調査(VI)
11	福岡3-1187-4	1988.6.7~14	3,200	工場増築	古墳1、奈良・平安性層跡4	埋蔵文化財の調査(VI)
12	溝1-6-7	1989.2.20~3.6	2,000	農地改善工事	古墳性層跡3、方形周溝4、古墳溝跡1、中世大溝跡1、路筋不明溝跡1	埋蔵文化財の調査(Ⅺ)/上福岡市史料編1
12	溝1-6-1	1989.5.8~	1,724	農地改善工事	方形周溝4	H1年度教育要覧
13	溝1-5-4	1993.7~8		範囲確認調査	2号墳、11号墳のトレンチ調査	上福岡市史料編1
14	溝1-3-13	1995.11.27~30	462	共同住宅	なし(旧溝試験)	埋蔵文化財の調査(Ⅺ8)
15	溝1-4-3	1996.4.15~5.7	396	個人住宅	古墳性層跡1軒、溝1(時期不明)	埋蔵文化財の調査(Ⅺ9)
16	溝1-3-49	2002.5.29~30	165	個人住宅	なし(旧溝試験)	埋蔵文化財の調査(Ⅺ5)
17	溝1-3-16	2004.5.17~27	856	範囲確認調査	奈良穴住居跡2(16)、17号(調査済み)	埋蔵文化財の調査(Ⅺ7)
18	溝1-5-4	2006.4.25~27		古墳群保存整備工事		
19	字福岡2-1500-23(工場地)			工場増築		
20	字福岡2-1500-23(工場地)			工場増築		
21	字福岡2-1500-23(工場地)			工場増築		
22	溝1-3-58~60			住宅建設		
23	溝1-6-7	2008.10.23~29	1,576	古墳群保存整備	土坑3、集石1、須恵器、土器	市内遺跡群6
24	溝1-3-25	(2013.5.17)	90	個人住宅	遺構なし、土器、土器	市内遺跡群18
25	福岡2-1-1	(2014.6.2~7.18) (2014.7.22~9.2)	3,588	事務所	縄文時代の跡穴2・土坑1、古代住居跡3・溝3、須恵器・土器	市内遺跡群16
26	溝1-3-23	(2015.11.30)	97	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群22
27	溝1-4-6	(2017.3~4)	63	建売住宅	ビット2(時期不明)、縄文土器、土器、須恵器破片	未報告

第8章 滝遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境

滝遺跡は武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側の一段低い立川段丘面の縁に立地している。

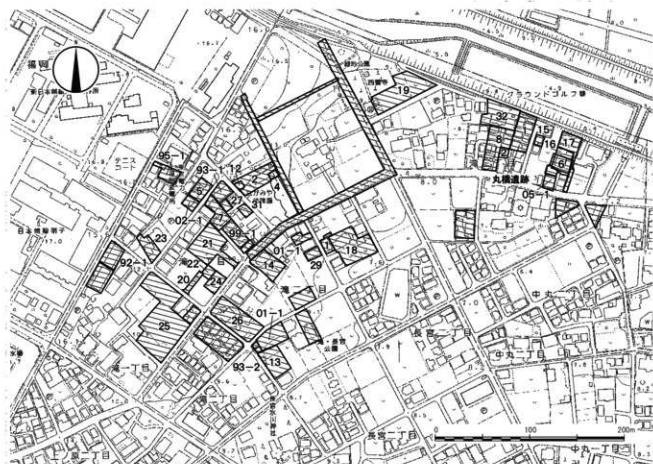
「滝」の地名は、近年までこの段丘上から滝が落ちていたことに由来する。北西側は段丘面、北東側は新河岸川を挟んで荒川低地の沖積地と接し、南側は排水溝として利用される緩やかな小支谷を流れる旧清水に挟まれ、標高9～12m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北250m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、北西側の段丘上に縄文時代前期、中期、晩期、古墳時代の遺跡である著名な上福岡貝塚と権現山遺跡群が新河岸川沿いに並び、旧清水を挟んだ

南側には、縄文時代、飛鳥時代、中近世の長宮遺跡が広がる。

1976年以降宅地開発等に伴う緊急調査が増加し、遺跡の谷口に当たる旧丸橋遺跡(1981年の変更増補で滝遺跡と合併)で古墳時代前期と後期の住居跡を検出以来2018年4月現在、44ヶ所で調査を行っている。なお、本遺跡の第3・5・9～11次調査、1995年度試掘調査・2002年度試掘調査(1)は権現山遺跡の範囲に入っているため、今後は本遺跡では欠番とし、権現山遺跡第1・2・5～7・14・17地点とする。

遺跡の主たる時代と遺構は、縄文時代早期・前期の土坑、古墳時代～奈良・平安時代の住居跡、近世の段切り遺構(集石を伴う)である。

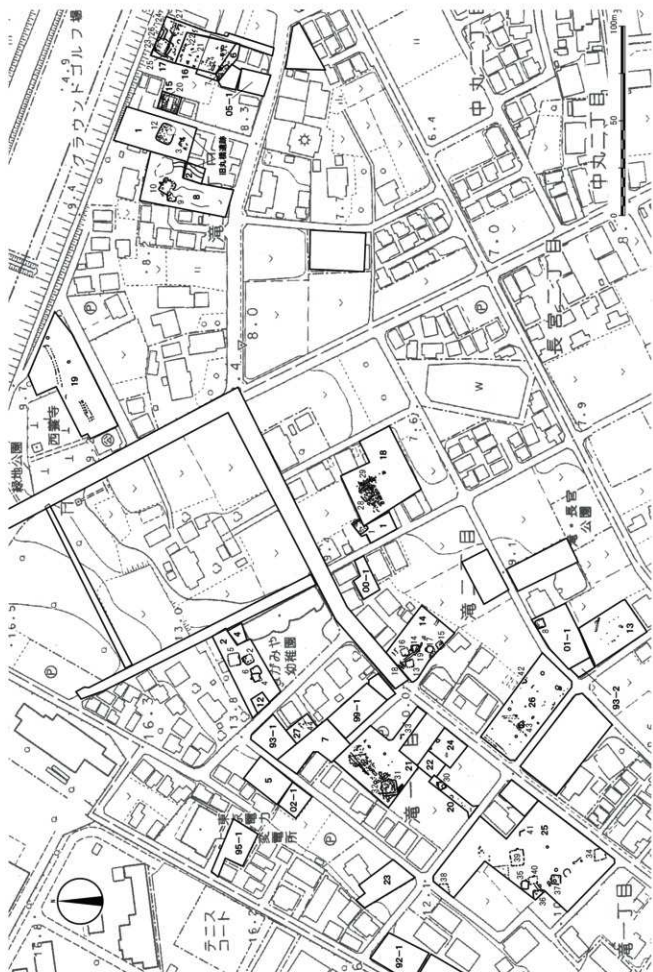


第33図 滝遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第22表 滝遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書	備考
丸橋1次	滝3-77~81	(1976.6.26~27) 1976.7.24~8.12	543	建売住宅	古墳前期住居跡1・後期住居跡1	上福岡市遺跡調査報告書	丸橋遺跡は滝遺跡へ統合
丸橋2次	滝3-13	1978.7.26~8.6	210	住宅建設	古墳前期土坑1、現代溝1	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)	
1次	滝2-6-11	1978.10.2~13	129	住宅建設	住居跡1、土師器	埋蔵文化財の調査(Ⅰ)	
2次	滝1-4	1979.4.15~5.7	278	幼稚園プール	住居跡5、瓦溝、土坑、灰甕、土器	埋蔵文化財の調査(Ⅱ)	
3次	滝1-4-15	1980.6.27~7.3	76	住宅建設	権現山遺跡1地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
4次	滝1-4-15	1980.7.3~12	105	住宅建設	遺構なし、平安土師器片	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	
5次	滝1-3-21	1980.7.20~31	330	住宅建設	権現山遺跡2地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	権現山遺跡へ変更
6次	滝3-3-6	1980.11.20~12.2	166	住宅建設	縄文土坑、奈良住居跡2、縄文早期土器、石器、奈良土器他	埋蔵文化財の調査(Ⅲ)	
7次	滝1-1-19	1981.7.30~31	400	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	埋蔵文化財の調査(Ⅳ)	
8次	滝3-3-15他	1983.11.14~26	990	住宅建設	古墳住居跡2	埋蔵文化財の調査(Ⅴ)	
9次	滝1-4-4	1984.5.11~22	466	住宅建設	権現山遺跡5地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(Ⅴ)	権現山遺跡へ変更
10次	滝1-3-17	1984.6.1~12	363	住宅建設	権現山遺跡6地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(Ⅴ)	権現山遺跡へ変更
11次	滝1-4-2	1984.6.28~30	33.12	物置建設	権現山遺跡7地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(Ⅴ)	権現山遺跡へ変更
12次	滝1-4-2	1984.12.22~24	94	住宅建設	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(Ⅴ)	
99試(1)	滝2-1-14の一部	(1992.7.6~8)	400	倉庫建設	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(15)	
99試(1)	滝1-1-4	(1993.4.29~28)	313.08	共同住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(16)	
99試(2)	滝2-2-7	(1993.8.25)	99	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(16)	
99試(1)	滝1-3-13	(1995.11.27~30)	462	共同住宅	権現山遺跡14地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(18)	
99試(1)	滝1-1-6	(1999.10.21~26)	511.09	宅地造成(土地区分)	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(22)	
00試(1)	滝2-5-20	(2001.1.23~24)	154.7	個人住宅	遺構遺物なし	埋蔵文化財の調査(23)	
01試(1)	滝2-8	(2001.4.17~20)	519.64	共同住宅	奈良初期住居跡1	埋蔵文化財の調査(24)	
02試(1)	滝1-3-49	(2002.5.29~30)	165	個人住宅	権現山遺跡17地点に変更、欠番とする	埋蔵文化財の調査(25)	
05試(1)	滝3-3-5-143	(2005.6.24~27)	350	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群1	
立倉	滝1-4-1-26-27	(2006.4.15)	2,492	幼稚園	遺構遺物なし	市内遺跡群3	
12	滝2-3-3-4の一部	2007.2.6	472	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群3	
13	滝2-2-6	2007.10.24~11.1	737.7	共同住宅	横土藪園2、ビット8	市内遺跡群4	
14	滝2-5-11-17	(2007.11.8~19) 2007.11.20~12.6	692	分譲住宅	住居跡7、溝3、井戸1、須恵器、土師器	市内遺跡群4	
15	滝3-3-84	(2009.9.2~14) 2009.10.23~11.6	100	分譲住宅	8世紀住居跡1、井戸1、土坑8、ビット20、須恵器、土師器、新橋車	市内遺跡群7	
16	滝3-145	(2009.12.2~14)	434	宅地造成	ビット3	市内遺跡群8	
17	滝3-3-6-144	(2010.5.6~6.18)	331	分譲住宅	奈良平安時代住居跡5、井戸1、土坑4、溝2、墓石	市内遺跡群10	
18	滝2-6-4-6	(2011.6.6~13) 2011.6.14~7.14	1,164	個人住宅	古墳時代住居跡2他、土師器、近世陶磁器等	市内遺跡群14	
19	滝3-4-2	(2011.10.17~24)	1,277.36	分譲住宅	溝2、陶磁器等	市内遺跡群14	
20	滝1-8-9	(2012.5.9~11)	124.45	道路開通	奈良・平安時代住居跡1、時期不明井戸、土坑、ビット	市内遺跡群12	
21	滝1-1-7-26-31	(2012.5.11~21) 2012.7.17~8.25	1,176.25	共同住宅	奈良平安時代館古所住居跡1(H31)、奈良平安時代住居跡2(H32-H33)、竪立柱建物跡、井戸、溝、土坑、ビット、須恵器、土師器、竪立関連遺物他	市内遺跡群12	
22	滝1-1-40	(2013.3.30)	114	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18	
23	滝1-3-5の一部	(2014.2.12)	371	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18	
24	滝1-1-8の一部	(2014.7.16~18)	222.8	分譲住宅	奈良平安時代と見られる土坑2、ビット2	市内遺跡群20	
25	滝1-2-4-32	(2014.7.17~8.26) 2014.9.8~10.31	2,804	宅地造成	古代住居跡8(H34~H41)、竪立柱建物跡1、井戸4、土坑3、溝2、ビット23、須恵器、土器	市内遺跡群16	
26	滝2-5-6-8	(2015.10.19~27) 2015.11.9~10	1,231	個人住宅	縄文時代遺とし穴1、古代住居跡2(H42・H43)、時代不明井戸5、土坑2、ビット44、溝2、縄文土器、石器、土師器、須恵器	市内遺跡群22	
27	滝2-5-39-40-41-42	(2016.8.24~9.9)		分譲住宅			
27	滝1-1-25	(2015.11.27~12.1)	155	個人住宅	古代住居跡1(H44)、ビット3、土師器、磁石	市内遺跡群22	
28	滝1-4-4-26-27	(2016.9.3~6)	2,492.15	幼稚園舎建設	住居跡1、土師器、支那	未報告	
29	滝2-5-46	(2016.11.10)	150.41	個人住宅	溝2、縄文土器、土師器	未報告	
30	滝1-1-3	(2017.2.13~15)	303	分譲住宅	遺構なし、縄文土器	未報告	
31	滝1-1-3	(2017.2.13~15)	109	個人住宅	遺構遺物なし	未報告	
32	滝3-3-14	(2017.6.26~29)	784.54	分譲住宅	井戸1、ビット10(近世以降か)、縄文土器、近世陶磁器、志那子	未報告	

※明：上福岡市教育委員会埋蔵文化財の調査報告書、上遺跡：上福岡市遺跡調査報告書、教観：上福岡市教育委員、市内ふじ野市市内遺跡群報告書



第34図 滝道跡遺構分布図 (1/2,000)

第 23 表 滝遺跡古代住居跡一覧表

新住居番号	旧調査年度	調査名	調査率	平面形状 (1は推定)	規模 (1は111号住居 又は推定値)	伊 土	位置 (伊土 位置)	カマド・伊模 土	瓦葺 幅	築 高	主軸 方向	時 期	備 考	文 献
1	1978	第1次1号住居	5/6	隅丸方形	640×(580)×40	伊	中央 西寄り	115	70	○	S-55-W	4世紀前半	4本主柱穴、方形附麗穴 110×95×40	埋蔵文化財の調査I
2	1979	第2次2号住居	ほぼ完璧	正方形	(660)×470×45	K	北	(100)	106	○	N-32-W	7世紀前半	消失住居、方形附麗穴 62×55×45	埋蔵文化財の調査II
3	1978	丸棟第1次3号住居	2/3	正方形	(510×470)×15	K	北東	210	102	○	N-38-W	7世紀前半	消失住居、(4本主柱穴)	上埴町市道跡調査報告書
6		第2次3号住居	完璧	方形	(680×460)×15	—	—	—	—	○	—	9世紀前半		埋蔵文化財の調査III
4	1979	第2次4号住居	ほぼ完璧	長方形	南北340×東西 380~415×30	K	北	160	110	○	N-14-W	8世紀前半		埋蔵文化財の調査III
5	1979	第2次5号住居	3/8	(正方形)	(490)×610×60	—	—	—	—	○	不明	不明	竊は調査区外未調査	埋蔵文化財の調査III
—	1980	第3次5号住居	1/5	不明	(260×270)×30	—	—	—	—	○	不明	不明	権柄山遺跡1号住居跡に 変更	埋蔵文化財の調査IV
7	1980	第6次7号住居	1/3	正方形	620×(250)×12	K2	東 北	115×90 122×90	—	○	N-52-E N-37-W	7世紀前半	建て替わり、不整和 附麗穴(175×95×20、 床面粘土面有)	埋蔵文化財の調査III
8	2001	2001年度埋蔵文化財 調査第15号住居跡	完璧	方形	400×400×4	K	北	不明	不明	○	不明	(8世紀前半)	今後15号住居跡から8 号住居跡に名称変更	埋蔵文化財の調査IV
9	1983	第6次9号住居	2/3	隅丸方形	(500)×470×20	伊3	中央北 西寄り	60×40 35)×32 40×32	—	○	—	—	消失住居、床面硝化 範囲2ヶ所	埋蔵文化財の調査VI
10	1983	第8次10号住居	完璧	正方形	690×660×15	K	北東	215	125	○	N-52-E N-37-W	6世紀前半	4本主柱穴、方形附麗穴 (80)×75×35	埋蔵文化財の調査VI
11	1984	第10次11号住居	完璧	隅丸方形	445×(380)×35	K	北	115	95	○	N-5-W	6世紀前半	権柄山遺跡1号住居跡に 変更	埋蔵文化財の調査VII
12	1978	丸棟第1次 12号住居	ほぼ完璧	隅丸長方形	980×770×20	土 器 面 部	北部	140	100	○	N-54-W N-36-E	4世紀前半	床面粘土点	市史史料編第1巻
13	2007	第14次13号住居	1/2	方形	370×370×45	K	東	90	65	○	N-36-E	—	陥床	市内遺跡群4
14	2007	第14次14号住居	4/5	(長方形)	385×(380)×202	K	北	171	62	○	東北	8世紀前半	比企型坪多敷出点、陥床	市内遺跡群4
15	2007	第14次15号住居	1/3	不明	(370×—)×20	—	—	—	—	—	—	—	葺未検出、陥床	市内遺跡群4
16	2007	第14次16号住居	1/4	不明	(250×170)×40	—	—	—	—	○	—	—	葺未検出、陥床	市内遺跡群4
17	2007	第14次17号住居	3/3	不明	(344×360)×102	—	—	—	—	○	—	—	葺未検出、陥床	市内遺跡群4
18	2008	第14次18号住居	1/5	不明	(297×270)×30	—	—	—	—	○	—	—	葺未検出、陥床	市内遺跡群4
19	2008	第14次19号住居	1/5	不明	(450×—)×350	K	北	(85)	(82)	—	—	—	14号住居より新	市内遺跡群4
20	2009	H20号住居	2/3	隅丸長方形	370×350×398	—	—	—	—	—	—	8世紀		市内遺跡群7
21	2009	H21号住居	一部	不明	285×(135)×—	K	東	—	—	—	—	—	—	市内遺跡群8
22	2009	H22号住居	一部	不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	市内遺跡群8
23	2010	H23号住居	プラン	長方形	595×700×27	K	北	—	—	—	N-46-W	8世紀	H24、H25住居より新	市内遺跡群10
24	2010	H24号住居	プラン	(方形)	590×(265)×30	—	—	—	—	—	—	8世紀	H23、H26住居より古、 H25住居より新	市内遺跡群10
25	2010	H25号住居	プラン	長方形	810×700×12	—	—	—	—	—	N-46-W	7世紀	H23、H24住居より古	市内遺跡群10
26	2010	H26号住居	プラン	(方形)	450×(110)×40	—	—	—	—	—	—	8世紀	H24住居より新	市内遺跡群10
27	2010	H27号住居	プラン	方形	420×400×10	—	—	—	—	—	—	—	—	市内遺跡群10
28	2011	H28号住居	完璧	隅丸方形	660×630×18.2	伊	北	165	110	○	N-34-W	4世紀後半		市内遺跡群14
29	2011	H29号住居	1/2	(隅丸長方形)	290×648×18.2	—	—	—	—	—	—	4世紀後半		市内遺跡群14
30	2012	H30号住居	4/5	方形	410×390×5	K	東	—	—	○	N-75-E	9世紀		市内遺跡群12
31	2012	H31A号住居	完璧	方形	780×770×50	K	北-東	95	130	○	N-92-E	8世紀前半		市内遺跡群12
31	2012	H31B号住居	完璧	方形	640×640×50	K	北	135	170	○	N-2-E	8世紀前半	竊土跡	市内遺跡群12
32	2012	H32号住居	一部	(方形)	—×—×25	—	—	—	—	—	—	—	保存のため未調査	市内遺跡群12
33	2012	H33号住居	一部	(方形)	—	—	—	—	—	—	—	—	保存のため未調査	市内遺跡群12
34	2014	H34号住居		(方形か長方形)	420以上	K	東	156	132	○	—	7世紀中頃	内容は不明	市内遺跡群16
35	2014	H35号住居	完璧	長方形	360×220×48.6	K2	北	119	111	○	—	8世紀中頃 ~後半	別住居の覆がり建替	市内遺跡群16
							東	78	75					
36	2014	H36号住居		(正方形か長方形)	415×535×105	K	東	100	100	○	2	8世紀前半 ~中頃		市内遺跡群16
37	2014	H37号住居		正方形	460×460×66	K	北	111	87	○	—	7世紀後半	井戸1と竊埋、住居のほ うが古	市内遺跡群16
38	2014	H38号住居											未調査	市内遺跡群16
39	2014	H39号住居											未調査	市内遺跡群16
40	2014	H40号住居											未調査	市内遺跡群16
41	2014	H41号住居											未調査	市内遺跡群16
42	2015	H42号住居	1/2以上	(正方形か長方形)	(250×192)×20	K	北	(109)	(72)	○	?	7世紀後半		市内遺跡群22
43	2016	H43号住居	完璧	方形	345×303×20	K	北	(108)	(90)	○	—	8世紀中頃 ~後半		市内遺跡群22
44	2016	H44号住居	完璧	不明	305×(250)	—	—	—	—	○	—	7世紀後半 ~		市内遺跡群22

II 滝遺跡第26地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅及び分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや西寄りに位置する。申請者と協議の結果、個人住宅と分譲住宅2軒分に当たる南側を先行して試掘調査し、北側部分は既存建物撤去後に調査することとなった。

南側部分の調査は2015年10月19～27日まで実施した。調査は幅約1.5～1.8mのトレンチ6本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。北側部分は、2016年7月28日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が再提出された後、2016年8月24～9月9日まで試掘調査を実施した。調査は幅約1.2～1.5mのトレンチ8本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは50～60cmである。

調査の結果、全体を通して平安時代の住居跡2軒、落とし穴1基、土坑7基、井戸5基、ビット多数、溝2条を検出した。個人住宅建設部分のみ遺構への影響が避けられないため、原因者と再協議の結果、本調査を実施した。

本調査は2015年11月9～10日まで、調査区南東部の井戸3が確認された部分を重機で表土除去後、人力による調査を行った。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H42号住居跡

【位置・時期】 本住居跡は調査区東側、トレンチ6に位置する。東側は調査区外に延びるため未検出である。時期は出土遺物から7世紀後半と考えられる。

【形状・規模】 平面形態は長方形とみられるが全容は不明である。規模は長軸250cm以上、短軸192cm以上、深さ20cmである。柱穴、周溝は確認できなかった。

【竈】 竈は住居の北側に位置する。掘乱によって壊されており、僅かに袖部分と思われる粘土塊が残る程度であった。

【遺物出土状況】 遺物は竈の周辺部に集中して出土した。

② H43号住居跡

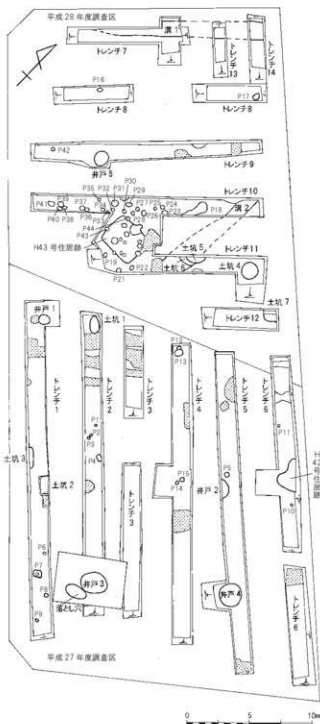
【位置・時期】 調査区中央部、トレンチ10・11に位置する。出土遺物から8世紀中～後半に帰属するも

のとみられる。

【形状・規模・掘方】 平面形態は方形で、北東部分が一部掘乱によって破壊されている。遺構の規模は345×303cm、深さ20cmである。掘方は地山ローム層まで全体的に掘り下げた後、貼床を行う。

【周溝】 周溝は北側の一部で僅かに確認できた。規模は上幅13.3cm、下幅6cm、深さ17cmである。

【ビット】 住居内で10基のビットを検出した。ビットの詳細については第37図及び第24表に掲載した。



第35図 滝遺跡第26地点遺構配置図(1/300)

いずれのピットも浅いが、P4とP6は柱穴の可能性も考えられる。

【竈】北側に位置する。天井部は崩落しているが奥壁・燃焼部・両袖部が部分的に残存していた。竈両袖部の構築材は黄灰色の粘土である。竈残存部は長軸108cm、幅90cmである。

【遺物出土状況】遺物は竈の周辺から集中して出土した。

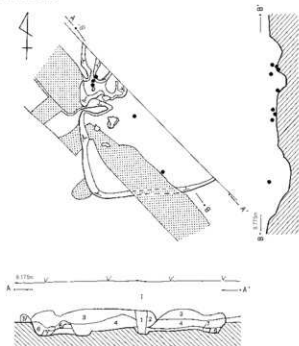
③落とし穴

調査区南側で検出した。井戸3と切り合う。平面形状は楕円形で、遺構の規模は確認面径167×101cm、底径122×54cm、深さ115.8cmである。土層の観察から縄文時代のものであろう。

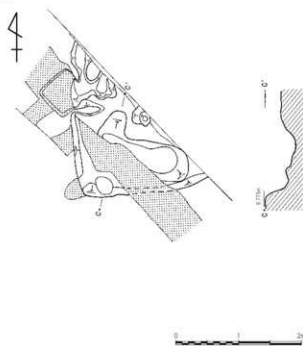
④土坑

土坑の規模等詳細については第25表に掲載した。
【土坑1】調査区中央部、トレンチ2の東端で検出した。土層の観察から近世以降と考えられる。出土遺物はない。

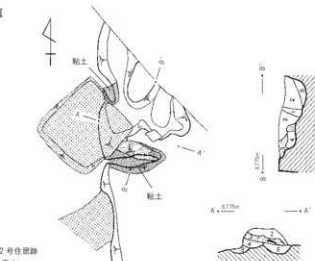
遺物出土状況



掘方



竈



H42号住居跡

I 粘土

IV ハーPO-ム

1 黒色土 締り強、粘性有。2mm以下シリカロ-ム粒・焼土粒や多く含む(中近傍)

2 黒褐色土 締りやや弱、粘性有。1層に同じ。2mm以下ロ-ム粒少し含む。攪乱

3 黒褐色土 締りやや強、粘性有。2mm以下ロ-ム粒・同焼土粒少し含む

4 黒褐色土 締りやや強、粘性有。2mm以下ロ-ム粒・同焼土粒少し含む。3層より締り

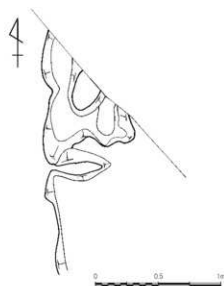
やや強く、密である

5 暗灰褐色土 締り強、粘性有。暗灰褐色主体に2mm以下焼土粒少し含む。竈底層土

6 暗褐色土 締り強、粘性有。2mm以下ロ-ム粒多量に含む。周溝の可能性有

7 暗褐色土 締り強、粘性有。ロ-ム主体に1cm以下黒色土多く含む。粘床

掘方



竈

1 黒色土 締り弱、粘性有。2mm以下シリカ状焼土少し含む。天床の穴か?

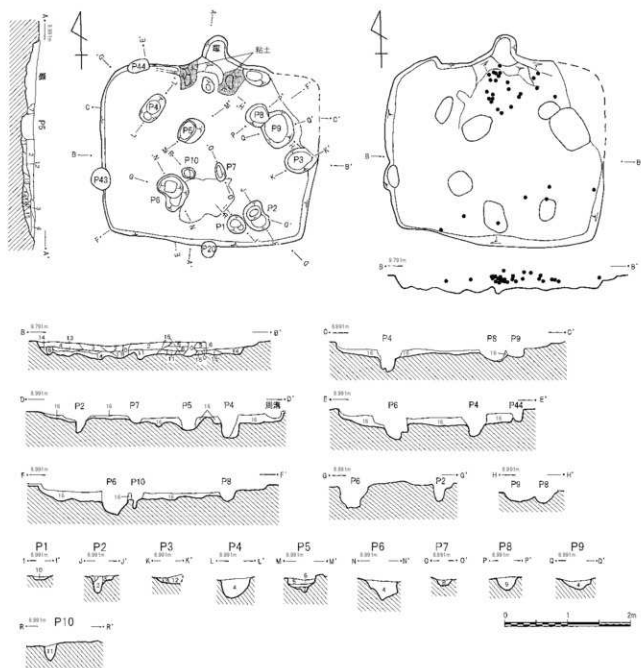
2 暗灰褐色土 締り強、粘性有。竈天床構築土が崩落したもので、1mm大シリカ状黒褐色土粒・同焼土粒少し含む

3 赤褐色土 締りやや強、粘性有。焼土層で、天床の燃焼面か?

4 黒褐色土 締りやや弱、粘性有。5mm以下焼土粒多く含む。竈焼面下の灰層か?

5 暗褐色土 締りやや弱、粘性有。5mm以下ロ-ム粒多く含む

遺物出土状況



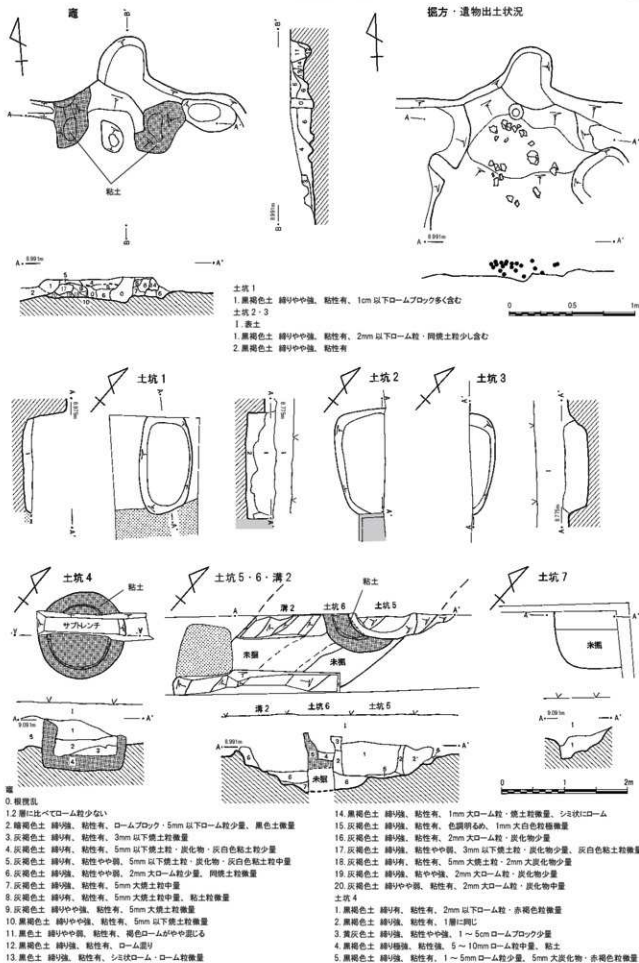
第24表 滝遺跡第26地点H43号住居内ビット一覧表
(単位cm)

新No.	平面形態	確認直径	底径	深さ	旧No.
1	楕円形	31×26	17×13	7	2016年P 6
2	楕円形	47×33	16×9	27.3	2016年P 7
3	楕円形	52×40	39×28	11.5	2016年P 8
4	楕円形	48×29	23×19	38.5	2016年P32
5	楕円形	45×35	29×18	22.3	2016年P33
6	不整形	55×39	18×18	37.6	2016年P34
7	楕円形	29×13	21×7	9.2	2016年P35
8	隅丸方形	38×(31)	27×26	20.3	2016年P36
9	隅丸方形	57×48	43×35	17.9	2016年P37
10	楕円形	22×15	3×2	33.8	2016年P38

0 産土

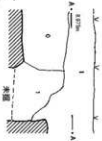
1. 黒褐色土 締りやや強。粘性やや強。1mm以下ローム粒少量含む
2. 黒褐色土 締りやや強。粘性有。5mm以下ローム粒多量に。同黒色粒少量含む
3. 黒褐色土 締りやや強。粘性有。2mm以下ローム粒少量含む
4. 黒褐色土 締りやや強。粘性有。1mm以下ローム粒少量含む
5. 黒褐色土 締りやや強。粘性有。2層に亘り、シミ状にロームが混ざる
6. 暗褐色土 締り強。粘性強。2mm以下ローム粒多量。焼土粒種まら。シミ状にロームと上層の土が混ざる
7. 暗褐色土 締り有。粘性有。2mm以下ローム粒。炭化物微量に。3mm以下焼土粒少量含む
8. 黒褐色土 締り有。粘性有。5mm以下ローム粒多量。黒色土粒少量含む。周溝か
9. 黒褐色土 締りやや強。粘性有。ローム・黒色土ブロック微量を含む
10. 黒褐色土 締り強。粘性強。2mm以下ローム粒。炭化物微量に。3mm以下焼土粒少量含む
11. 黒褐色土 締り強。粘性有。3mm以下ローム粒多量に。同黒色土少量含む
12. 黒褐色土 締り強。粘性有。ロームブロック・黒色土ブロック。5mm以下ローム粒少量含む
13. 黒褐色土 締り強。粘性有。ロームブロック・黒色土ブロック多量。5mm以下ローム粒中量含む
14. 暗褐色土 締り強。粘性有。5mm以下ロームブロック・黒色土粒多量。ロームブロック少量含む
15. 黄褐色土 締り強。粘性有。ローム主体。2cm大黒色土まじりに含む。圓形過ぎ?
16. 粘土

第37図 滝遺跡第26地点H43号住居跡(1/60)

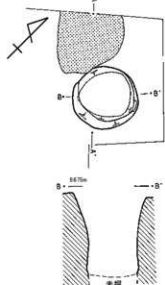


第38図 滝道跡第26地点 H43号住居跡・掘方(1/30)、土坑(1/60)

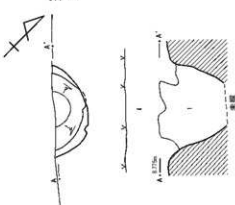
井戸 1



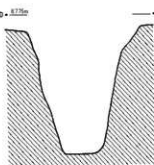
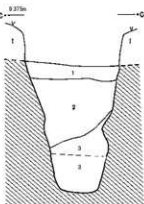
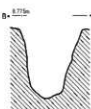
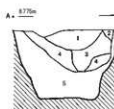
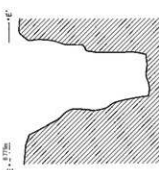
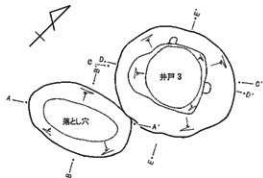
井戸 2



井戸 2



落とし穴・井戸 3



土坑 5・6・溝 2

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、2~5mmローム粒微量
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、
3. 黄灰色土 締り強、粘性やや強、1~5cmロームブロック少量
4. 黒褐色土 締り強、粘性強、5~10mmローム粒中量、粘土
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、1~5mmローム粒少量、5mm大炭化物・赤褐色粒微量

土坑 7

1. 渡土

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒微量に含む

落とし穴

1. 黒褐色土 締り強、粘性有、1mm以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、2cm大シニ状ロームを少し含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック、1mm以下ローム粒少し含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック、1mm以下ローム粒少し含む、3層よりローム主体
5. 黒褐色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロック、1mm以下ローム粒多く、黒褐色土を混に含む

井戸 1

1. 渡土

0. 渡土

井戸 1

1. 黒色土 締り強、粘性有、2mm以下炭土粒多く、同ローム粒、炭化物粒少し含む

井戸 2

1. 黒色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒、炭土粒多く含む、井戸 1の1層に類似

井戸 3

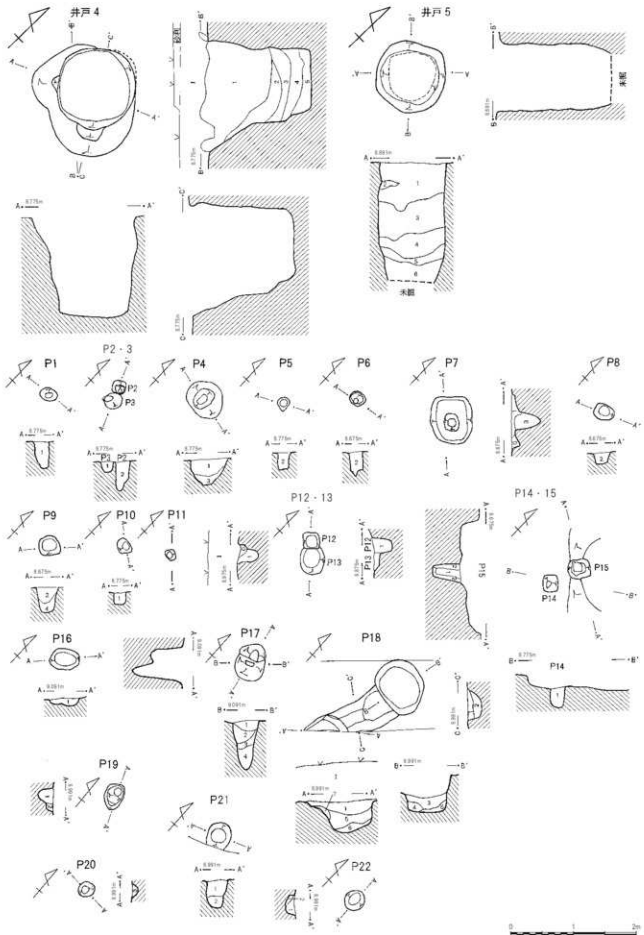
1. 黒色土 締りやや強、粘性有、2mm以下ローム粒、同炭土粒少し含む
2. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、5cm以下ロームブロックと黒褐色土の混合土、埋戻土
3. 黒色土 締りやや強、粘性有、2mm以下ローム粒、同炭土粒少し含む

井戸 4

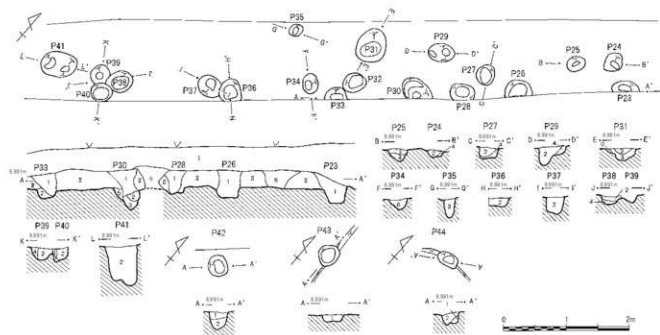
1. 黒色土 締り強、粘性有、2mm以下ローム粒少し含む、2cm以下ロームブロック粒少し含む
2. 黒褐色土 締り強、粘性有、1cm以下ロームブロックや多く、同シニ状ロームも少し含む
3. 黒褐色土 締り強、粘性有、2cm以下のロームを層状に多く含む
4. 黒褐色土 締り強、粘性有、ローム主体に2mm以下黒色土を少し含む
5. 黒褐色土 締り中強、粘性有、黒色土主体に2cm以下シニ状黒褐色土と同ロームを少し含む

井戸 5

1. 黒褐色土 締りやや弱、粘性有、3cm以下ロームブロック、1mm以下ローム粒少し含む
2. 黒褐色土 締り中強、粘性有、ロームブロック
3. 黒褐色土 締り中強、粘性有、1cm程度ロームブロック、1mm以下ローム粒多く含む
4. 黒褐色土 締り中強、粘性有、1mm以下ローム粒僅かに含む
5. 黒褐色土 締り中強、粘性有、3cm以下ロームブロック、1mm以下ローム粒多く、ロームをシニ状に含む
6. 黒色土 締り中強、粘性有、2mm以下ローム粒少し、酸化鉄を僅かに含む



第40図 滝道跡第26地点井戸②・ビット①(1/60)



P1～13

1. 黒褐色土 粘り弱、粘性有、1cm 大ローム少し、2mm 以下ローム粒少量含む
2. 黒色土 粘り強、粘性有、1層より深く、2mm 以下ローム粒少量(1層より少ない)含む
3. 黒褐色土 粘り弱、粘性有、5cm 以下ロームブロックと黒色土を混状に含む
4. 暗褐色土 粘り強、粘性有、粘り強いローム主体に1cm 以下黒色土多量含む
5. 暗褐色土 粘り強、粘性有、暗褐色土主体に2mm 以下シルト状褐色土少量含む

P14

1. 黒色土 粘り強、粘性有、5mm 以下ローム粒多量含む

P15

1. 黒色土 粘りやや弱、粘性有、黒色土主体に2cm 以下シルト状暗褐色土・2mm 以下ローム粒やや多量含む(粒微)

2. 暗褐色土 粘りやや弱、粘性有、ローム主体で2cm 以下黒褐色土と2mm 以下ローム粒多量含む

P16～17

1. 黒褐色土 粘り弱、粘性有、1mm 以下ローム粒少量含む
2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック少量含む
3. 黒褐色土 粘り弱、粘性有、5mm 以下ローム粒少量含む
4. 黒褐色土 粘り強、粘性有、1～2cm 以下ロームブロック中量含む

P18

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、1～5mm ローム粒少量含む
2. 黒褐色土 粘り強、粘性強、3～5cm ロームブロック・1～5mm ローム粒少量、5cm 大褐色土数量を含む
3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、5cm 大褐色土中量含む
4. 黒褐色土 粘り弱、粘性強、1～5cm 褐色土数量を含む
5. 黒褐色土 粘り強、粘性有、1～5cm ロームブロック数量、1～5mm ローム粒多量を含む
6. 黒褐色土 粘り強、粘性強、1～5cm ロームブロック数量を含む
7. 黒褐色土 粘り強、粘性有、ロームブロック混じる

P19～20

1. 黒褐色土 粘り有、粘性有、1～3mm ローム粒中量含む
2. 黒褐色土 粘り有、粘性有、1～5mm ローム粒多量、黒色土をブロック状に含む
3. 黒褐色土 粘り有、粘性有、1～2cm ロームブロック数量を含む

P21

1. 黒褐色土 粘り有、粘性有、5mm 大ローム粒数量を含む
2. 黒褐色土 粘りやや弱、粘性有、5mm 以下ローム粒極少量を含む

P22

1. 黒褐色土 粘り有、粘性有、5mm 以下ローム粒少量含む
2. 黒褐色土 粘り有、粘性有、2cm 以下ロームブロック中量含む

P23～41

1. 黄土
 - II 黒褐色土 粘り有、粘性強、ロームをシルト状に含む、包含層か
0. 破孔
 1. 黒褐色土 粘り有、粘性強、1cm 以下ロームブロック少量含む
 2. 黒褐色土 粘りやや弱、粘性有、1mm 以下ローム粒少量含む
 3. 黒褐色土 粘り強、粘性強、5mm 以下ローム粒多量を含む
 4. 黒褐色土 粘りやや弱、粘性有、20cm 以下ロームブロック多量、1mm 大ローム粒少量含む
 5. 黒褐色土 粘り有、粘性有、5mm 以下ローム粒中量含む
 6. 暗褐色土 粘り弱、粘性有、1cm 以下ロームブロック少量、2mm 以下ローム粒多量を含む、より断じピット

P42

1. 黒褐色土 粘り有、粘性有、1～5mm ローム粒少量含む
2. 黒褐色土 粘り強、粘性有、1cm ロームブロック少量含む

P43

1. 黒褐色土 粘り有、粘性有、5mm 以下ローム粒少量含む

P44

1. 黒褐色土 粘り有、粘性弱、5cm 以下ロームブロック数量を含む
2. 黒褐色土 粘り有、粘性有、5mm 以下ローム粒数量を含む

トレンチ 7 測 1

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、1～5mm ローム粒数量を含む
2. 黒褐色土 粘り強、粘性強、1～5mm ローム粒少量含む
3. 黒褐色土 粘り強、粘性有、1～2cm ロームブロック少量含む
4. 黒褐色土 粘り強、粘性強、2cm 以下ロームブロック多量を含む

トレンチ 14 測 1

1. 黄土
- II 黒褐色土 黒色土を包含層

0. 破孔

1. 黒褐色土 粘り強、粘性有、5mm 以下ローム粒数量を含む
- 1' 黒褐色土 粘り弱、粘性有や弱、1層より褐色土調や明るく、バツバツ
2. 黒褐色土 粘り強、粘性強、5mm 以下ローム粒少量含む
3. 黒褐色土 粘り強、粘性強、2cm 以下ロームブロック少量含む
4. 黒褐色土 粘り強、粘性強、2cm 以下ロームブロック多量を含む
5. 黒褐色土 粘り強、粘性有、2mm 以下ローム粒数量を含む、下層より粘り強い

トレンチ 10 測 2

1. 黒褐色土 粘り有、粘性有、1～5mm 以下ローム粒少量含む
2. 黒褐色土 粘り有、粘性有、1～5mm 以下ローム粒数量を含む
3. 黒褐色土 粘りやや弱、粘性有、1～5mm 以下ローム粒数量を含む

4. 黒褐色土 粘り有、粘性強、ロームブロック多量を含む
5. 黒褐色土 粘り有、粘性有、2～5cm ロームブロック数量、2～5mm ローム粒少量含む
6. 黒褐色土 粘り有、粘性有、ローム粒少量を含む
7. 黒褐色土 粘り有、粘性有、ローム粒多量を含む

第41図 滝遺跡第26地点ピット②(1/60)

【土坑2】調査区南西部、トレンチ1で検出した。トレンチ東側へ続くため、全体の規模は不明。土層の観察から近世以降と考えられる。須恵器碎片1点が出土した。

【土坑3】トレンチ1で検出した。トレンチ西側へ続くため、全容は不明である。土層の観察から近世以降と考えられる。出土遺物はない。

【土坑4】トレンチ11の東端で検出した。土坑の壁面と底面に厚さ25～35cmの白色粘土が貼り付けられる。近現代の吸い込み跡か。瓦片、金属製品、銭貨が出土した。

【土坑5】調査区中央部、トレンチ11で検出した。溝2、土坑6と切り合う。この中では土坑5が最も新しい。土坑壁面に厚さ約15cmの粘土ブロックを含む層が巡っている。しかしながら土坑4・6のように底面には貼られていない。出土遺物はない。

【土坑6】土坑5と溝2と切り合っており、土坑5より新しく溝2より古い。土坑4と同様、壁面と底面に白色粘土が貼られている。近現代の吸い込み跡か。

第25表 滝道跡第26地点土坑一覧表(単位cm)

新No	平面形態	確認直径	底径	深さ	旧No
1	長方形	(154)×84	130×67	20.3	2015年土坑1
2	不明	(166×79)	(155×66)	29.4	2015年土坑2
3	不明	(160×39)	(132×31)	31.9	2015年土坑3
4	円形	138×133	98×92	58.5	2016年土坑2
5	不明	(164×60)	88×(26)	40.5	2016年土坑3
6	不明	(103×57)	(34×27)	23.3	2016年土坑4
7	不明	(100×80)	—	32	2016年土坑5

第27表 滝道跡第26地点ピット一覧表(単位cm)

新No	平面形態	確認直径	底径	深さ	旧No
1	楕円形	27×20	11×8	44.7	2015年P1
2	方形	22×21	8×6	49.6	2015年P2
3	円形	28×25	15×8	22.8	2015年P3
4	円形	64×54	17×11	41.6	2015年P4
5	方形	18×17	13×11	26.4	2015年P5
6	方形	23×23	9×7	36.1	2015年P6
7	方形	74×66	12×11	46	2015年P7
8	方形	34×25	17×15	23.9	2015年P8
9	方形	34×32	22×18	45.8	2015年P9
10	方形	24×20	13×10	18.8	2015年P10
11	方形	18×14	11×9	17.6	2015年P11
12	方形	26×26	19×17	34.4	2015年P12
13	円形	(39)×38	(28)×26	14.1	2015年P13
14	方形	26×24	11×8	38.5	2015年P14
15	方形	36×31	13×13	56.9	2015年P15
16	楕円形	48×34	35×20	12.2	2016年P1
17	楕円形	60×47	16×6	78.3	2016年P2
18	不明	(163)×82	67×55	62.3	2016年P3
19	楕円形	42×29	14×13	28.3	2016年P4
20	円形	27×25	12×11	13.2	2016年P5
21	楕円形	40×36	25×22	48.7	2016年P9
22	円形	33×31	23×15	22.1	2016年P10

陶器片が1点出土している。

【土坑7】調査区東側、トレンチ12で確認した。調査区外へ広がるため詳細は不明。土層の観察から近世以降と考えられる。

⑤井戸

井戸の規模等詳細については第26表に掲載した。

【井戸1】調査区西部、トレンチ1の北端で検出した。底部は未検出であるため、全容は不明である。出土遺物なし。

【井戸2】調査区東側、トレンチ5の中央部で検出した。底部未検出であるため、全容は不明。出土遺物はない。

【井戸3】調査区南側、トレンチ2の南端で検出した。落とし穴と僅かに切り合う。須恵器碎片が出土した。

【井戸4】調査区東側、トレンチ5の南端で検出した。

【井戸5】調査区西側、トレンチ9で検出した。底部は未検出のため、全容は不明である。出土遺物はない。

⑥ピット

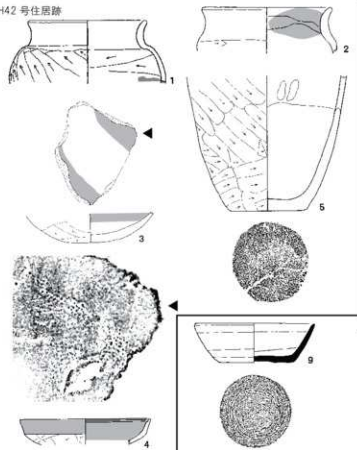
検出したピットの詳細については第27表に掲載した。今回検出したピットはすべて近世以降である。

第26表 滝道跡第26地点井戸一覧表(単位cm)

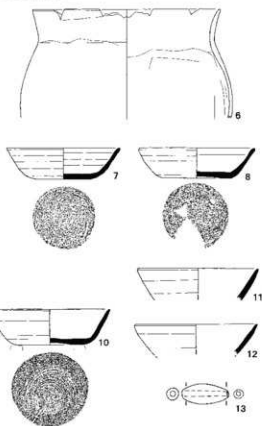
新No	平面形態	確認直径	底径	深さ	旧No
1	円形	103×97	80×68	134.3	2015年井戸1
2	不明	145×(51)	56×(25)	90.4	2015年井戸2
3	円形	190×168	93×88	205.6	2015年井戸3
4	円形	172×168	112×111	166.4	2015年井戸4
5	円形	112×110	77×75	185.4	2016年井戸1

新No	平面形態	確認直径	底径	深さ	旧No
23	不明	44×(18)	18×(10)	32.8	2016年P11
24	楕円形	33×25	16×8	17.1	2016年P12
25	楕円形	31×23	13×4	20.4	2016年P13
26	不明	44×(27)	26×(21)	26.7	2016年P14
27	楕円形	33×29	27×18	24	2016年P15
28	不明	37×(26)	22×16	17.4	2016年P16
29	楕円形	42×29	14×5	30.9	2016年P17
30	不明	45×(32)	14×10	36	2016年P19
31	楕円形	56×45	35×22	18.1	2016年P20
32	楕円形	37×28	25×19	19.1	2016年P21
33	不明	35×(20)	21×(9)	13.2	2016年P22
34	円形	35×25	15×9	14.2	2016年P23
35	円形	20×19	13×6	31.3	2016年P24
36	円形	(35)×34	22×20	19.3	2016年P25
37	円形	35×33	15×15	29.1	2016年P26
38	楕円形	44×34	28×20	16.8	2016年P27
39	円形	31×30	12×11	25	2016年P28
40	円形	34×27	24×19	22.6	2016年P29
41	楕円形	55×40	13×10	78.4	2016年P30
42	円形	33×29	21×14	28.3	2016年P31
43	円形	33×31	22×22	13.3	2016年P39
44	楕円形	33×20	17×12	20.3	2016年P40

H42 号住居跡



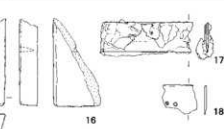
H43 号住居跡



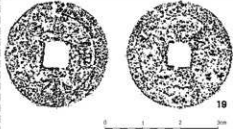
落とし穴



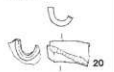
土坑 4



土坑 2



土坑 6



井戸 3



P4



P18



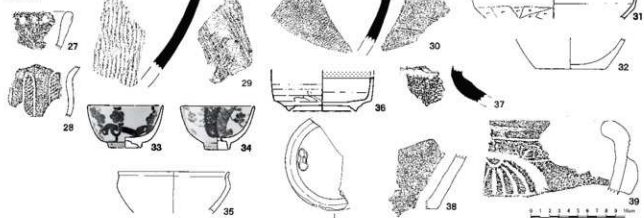
P21



溝 1

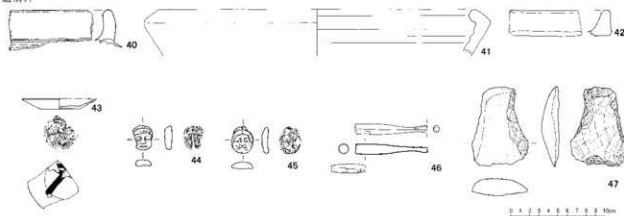


遺構外



第 43 図 滝道跡第 26 地点出土遺物① (1/4・1/1)

遺構外



第 44 図 滝道跡第 26 地点出土遺物② (1/4)

第 28 表 滝道跡第 26 地点出土遺物観察表 (単位 cm・g)

図録番号	出土遺構	種別/名称	口径・長さ	外径・幅	遺径・厚さ	技法・文様/粘土/備考	推定産地	時期/型式
第43図-1	H42号往還路	土師器/甕	(12.6)	(6.2)	—	胴部ナメ方向のヘラケズリ、口縁部ナデ、外面赤彩の痕跡有、内面一部に窪付有	—	7世紀後半
第43図-2		土師器/甕	(13.6)	(4.6)	—	胴部ヘラケズリ、口縁部ナデ、口縁部内面に赤彩/白色粒子、黒色粒子	—	7世紀後半
第43図-3		土師器/甕	—	(3.0)	5.8	外面・胴部ヘラケズリ、内面ナデ、内面に赤彩、外面に黒彩、内面底部に植物状の圧痕有/白色粒子、黒色粒子、チャート	—	7世紀後半
第43図-4		土師器/甕	—	(2.7)	—	口縁部ナデ、胴部ヘラケズリ、内面と外面口縁部に赤彩、口縁部内面に沈積/白色粒子、黒色粒子	—	7世紀後半
第43図-5		土師器/甕	—	(14.3)	8.0	外面ヘラケズリ、内面ナデ、胴部に木の葉文、内面に粘土結痕有/白色粒子、黒色粒子、雲母片か	—	7世紀後半
第43図-6	土師器/甕	[200]	(11.8)	—	胴部ヘラケズリか、口縁部ナデ、高さ3~7cmと非常に薄い/白色粒子、雲母少量/外面に白色粘土のようなものが付着	—	8世紀前半	
第43図-7	須置器/甕	10.0	3.3	6.5	胴部回転糸切り後回転ヘラケズリ/白色粒子、白色針状物、小窪が多い	南比企産	8世紀中葉	
第43図-8	須置器/甕	12.6	3.2	7.0	胴部回転糸切り後回転ヘラケズリ/黒色粒子/全体の厚さが薄い、焼成不良で軟弱	—	8世紀中葉	
第43図-9	須置器/甕	12.6	4.2	7.6	胴部回転糸切り後回転ヘラケズリ/白色粒子、黒色粒子/焼成やや不良	—	8世紀中葉	
第43図-10	須置器/甕	(12.4)	3.2	7.2	胴部回転糸切り後回転ヘラケズリ/白色粒子、黒色粒子、白色針状物、長石	南比企産	8世紀中葉	
第43図-11	須置器/甕	13.0	(3.4)	—	白色粒子、小窪ごく僅か/底部欠損	—	8世紀中葉~後半	
第43図-12	須置器/甕	(13.0)	(3.2)	—	白色粒子、小窪ごく僅か/底部欠損、焼成やや不良	—	8世紀中葉~後半	
第43図-13	土製品/土塊	5.0	2.1	—	中層状、直径0.5cm/粘土に長石を含む	—	—	
第43図-14	築土穴	縄文土塊	—	—	—	—	—	縄文前期か
第43図-15	土坑 2	須置器/甕	—	—	—	胴部回転糸切り後回転ヘラケズリ/白色粒子、白色針状物	南比企産	8世紀中葉~
第43図-16	土坑 4	瓦	(9.3)	(5.1)	1.8	急成用、外面から孔を通りかけた有	—	近代以降
第43図-17		鉄製品	(1.8)	(9.7)	—	板状鉄製品、錆が酷く詳細不明	—	近代以降
第43図-18		鉄製品	(3.0)	(3.7)	—	板状鉄製品、径5mmの孔が2つ開く	—	近代以降
第43図-19		銅器/青銅連環	2.8	2.8	—	径0.6cm、多面的に磨削が著しい	—	18世紀後半以降
第43図-20	土坑 6	陶器/片口罎	—	—	—	注口部分、内外面に灰濁	瀬戸・美濃	18世紀
第43図-21	井戸 3	須置器/甕	—	—	(8.4)	胴部回転ヘラケズリ/白色粒子、白色針状物、長石	南比企産	8世紀後半~9世紀前半
第43図-22	ビッド 4	土師器/甕	—	—	—	胴部ヘラケズリ、口縁部ナデ/白色粒子、黒色粒子、雲母片か/小型装飾	—	—
第43図-23	ビッド 18	土師器/甕	—	—	—	外面ヘラケズリ、内面赤彩/白色粒子、黒色粒子	—	—
第43図-24	ビッド 21	土師/転用磁石	(4.0)	(4.3)	—	赤色粒子僅か/1面使用	—	—
第43図-25	溝 1	磁器/鉢	—	—	—	輪転成形、口縁部削付による二重口縁、内外面に鉄粉/黒色粒子	瀬戸・美濃	近代以降
第43図-26		磁器/鉢	—	—	(7.0)	輪転成形、高台部分削付/黒色粒子/縁付有	瀬戸・美濃	18世紀以降
第43図-27		織文/深鉢	—	—	—	口縁部外面に刺突文/黒色粒子、赤色粒子/磨削が著しい	瀬戸・美濃	中国
第43図-28		織文/深鉢	—	—	—	字遣によるワ字文、区画内に縦位の片突、前後ミカキ/白色粒子、黒色粒子、雲母	—	加賀藩目録Ⅱ~Ⅳ
第43図-29	須置器/甕	—	—	—	外面平行タタキ、内面同心文当てを兼ね用後ナデ/白色粒子、黒色粒子、白色針状物、長石	南比企産	—	
第43図-30	須置器/甕	—	—	—	外面平行タタキ、内面ナデ/白色粒子、黒色粒子	—	—	
第43図-31	土師器/甕	18.0	(3.2)	—	外面平行タタキ、内外面口縁部ナデ、口縁部内面に沈積/白色粒子、黒色粒子	—	8世紀前半	
第43図-32	土師器/甕	—	(3.2)	(7.6)	外面ケズリ後ナデナカ/白色粒子、黒色粒子	—	—	
第43図-33	磁器/甕	8.0	4.5	3.6	輪転成形、形染染付、黒「光無」の跡	瀬戸・美濃	19世紀後半	
第43図-34	磁器/甕	8.0	4.6	2.8	輪転成形/「ム印」削付/松	瀬戸・美濃	20世紀以降	
第43図-35	陶器/天目茶碗	11.8	(4.4)	—	輪転成形、内外面に鉄粉/黒色粒子	瀬戸・美濃	17世紀以前	
第43図-36	陶器/香炉	—	(4.2)	(8.0)	輪転成形、外面の一部に薄/白色粒子、黒色粒子/胴部に粘土塊を貼り付けた痕跡あり	瀬戸・美濃	18世紀以降	
第43図-37	遺構外	須置器/甕	—	—	—	外面平行タタキ及び格子タタキ、胴部/白色粒子、白色針状物、長石/焼成やや不良	南比企産	古代
第43図-38		瓦葺土器/甕	—	—	—	輪転成形、外面に自然焼	—	中世産
第43図-39		瓦葺土器/火鉢	—	—	—	輪転成形、取っ手削付、口縁部外面に文様/白色粒子、黒色粒子(内に僅か)/摩滅火鉢(正徳?)	東和山伏	近代以降
第44図-40		瓦葺土器/甕	—	—	—	輪転成形/白色粒子、黒色粒子、雲母	—	近代以降
第44図-41		瓦葺土器/鉢	(33.4)	—	—	輪転成形/赤色粒子、黒色粒子	—	近代以降
第44図-42		土器/灰皿	—	—	—	輪転成形/赤色粒子、黒色粒子/底面に窪付有	—	中世産
第44図-43		土器/かわらけ	(7.7)	(3.8)	1.1	輪転成形、胴部回転糸切り未調整/色遣:黒、白色粒子/内面に白色粘土が層着、胴部内面に磨痕(磨削不能)	在池	近代以降
第44図-44	土製品/瓦管子	2.5	2.1	—	穴子(筒子?）、自然成形、一部欠損	—	近代以降	
第44図-45	土製品/瓦管子	2.8	2.2	—	穴子(筒子?）、自然成形、一部欠損	—	近代以降	
第44図-46	銅製品/埋骨	1.0	7.6	—	環口、口部分は内側に巻き込む、十二角溝、輪首は竹製、輪首口径:0.86cm、長さ3.5cm	—	18世紀以降	
第44図-47	打製石斧	8.2	5.9	1.8	胡灰岩/重量:94.89g	—	—	

⑦溝

【溝1】調査区北側、トレンチ7・13・14で確認した。走行方向はN-48°Eで西から東へ流れる。遺構の規模は上幅145cm、下幅35cm、深さ53.9cm、断面形状は台形を呈する。陶器片2点が出土した。走行方向等から本地点の東側に位置する第14地点で検出した溝2に繋がる可能性も考えられる。

【溝2】調査区中央部西側、トレンチ10及び11で確認した。主軸をほぼ南北方向にとり、北側は調査区外へ延伸するものと考えられる。南側はトレンチ1及び2では確認できないため、トレンチ2と11の間で走行方向を変えるか途切れる可能性がある。遺構の規模は上幅115cm、下幅41cm、深さ約60cm、断面形状はU字状を呈する。出土遺物がないため時期は特定できないが、土層の観察から中近世以降に属するものと想定できる。

⑧出土遺物

出土遺物についての詳細については第43・44図及び第28表に掲載した。

Ⅲ 滝遺跡第27地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年11月13日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月27日～12月1日に試掘調査を実施した。調査は幅約1～1.5mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力に

よる表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さは約80～150cmである。

調査の結果、奈良時代の住居跡1軒を検出した。本地点は斜面地に位置するため遺構確認面までが深く、保護層確保が可能であることから工事立会の措置となった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①H44号住居跡

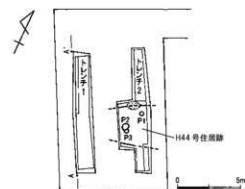
【位置・時期】調査区中央部、トレンチ2に位置する。
【形状・規模・掘方】トレンチ内での確認のため形状・規模共に不明。今回の調査で確認できた平面規模は305×(250)cmである。掘方は中央部分を中心に地山ローム層まで掘り下げた後、貼床を行う。

【周溝】上幅約20cm、下幅約10cm、深さ約10cmの周溝を確認した。

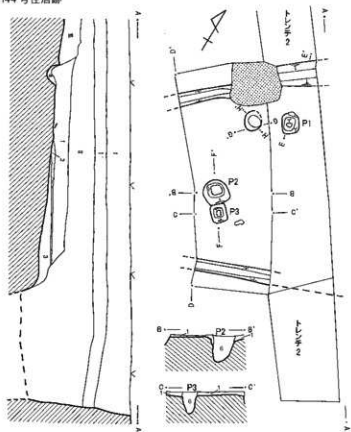
【ピット】住居内でピット3基を検出した。ピット1は住居内やや北寄りに位置する。平面形態は不整形円で、確認面径33×25cm、底径22×16cm、深さ50.5cmである。ピット2・3は住居内やや南に位置し、2基が並ぶ。切り合い関係は判然としれない。ピット2は円形を呈し、確認面径40×36cm、底径15×13cm、深さ41.3cm。ピット3は不整形円で、確認面径30×25cm、底径9×6cm、深さ37cmである。

【竈】今回の調査では確認されなかった。

【遺物出土状況】遺物はピット1の東側でまとまって出土した。詳細については第46図及び第29表に掲載した。



H44号住居跡

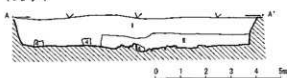


H44号住居跡

1. 黒褐色土 締り弱、粘性有。50cm以下ロームブロック・プラスチックごみ・炭化物含む。表土層、盛土
- 1' 暗褐色土 締り弱、粘性有。ローム主体にシミ状に黒褐色土少し含む。盛土
- II 暗褐色土 締りやや弱、粘性有。30cm以下シミ状黒褐色(暗褐色)土やや多く、10cm以下ロームブロック少し含む
- III 暗褐色土 締り強、粘性有。黒色味のある包舎層で、シミ状に暗褐色ロームを多く含む
1. 黒色土 締り弱、粘性有。2mm以下ローム粒少し、同層土粒多く含む
2. 褐色土 締り強、粘性有。ローム粘床でシミ状に黒褐色土少し含む。(粘床)
3. 暗褐色土 締り強、粘性有。黒色味のあるローム質土主体に、10cm以下黒色土・2mm以下ローム粒少し含む(掘方)
4. 暗褐色土 締り弱、粘性有。暗褐色土主体に10cm以下シミ状黒色土・同層土少し含む
5. 暗褐色土 締り弱、粘性有。2mm以下黒色土・褐色ロームの粒多く含む。層状土層
6. 黒褐色土 締りやや強、粘性有。10cm以下ローム粒僅か、2mm以下炭化物粒多く含む

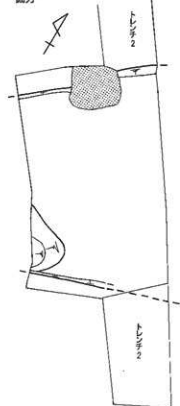
第45図 滝遺跡第27地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、H44号住居跡・掘方(1/60)、遺物出土状況(1/30)

トレンチ1

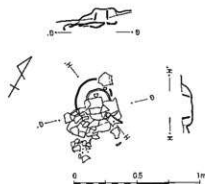


1. 表土
- II. 暗褐色土 締り有、粘性有、30mm大ロームブロック・2mm大ローム粒含む
4. 黒褐色土 締り有、粘性有、シミ状にロームを含む

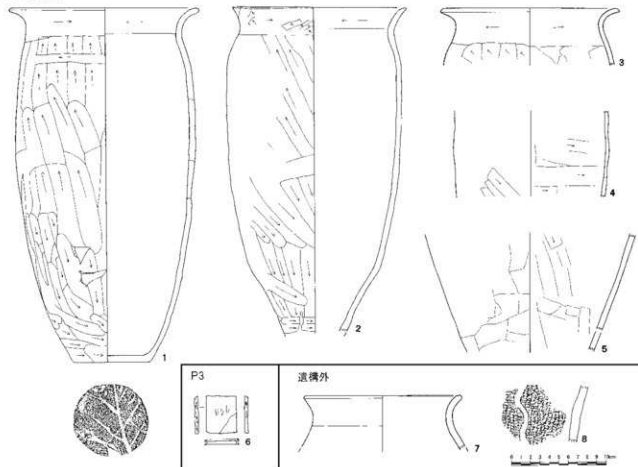
掘方



遺物出土状況



H44号住居跡



第46図 滝遺跡第27地点出土遺物(1/4)

第29表 滝遺跡第27地点出土遺物観察表(単位cm・g)

図版	番号	出土遺構	種別/器種	口径・長さ	器高・幅	底径・厚さ	技法・文様/胎土/備考	推定年代
第46図	1	H44号住居跡	土師器/長胴甕	20.2	37.4	8.1	胴部縦位ヘラケズリ後口縁部ヨコナデ、底部欠損	7世紀後半～8世紀初頭
	2		土師器/長胴甕	18.5	34.4	6.8	胴部縦位ヘラケズリ後口縁部ヨコナデ、底部に木の葉文、完形	7世紀後半～8世紀初頭
	3		土師器/長胴甕	(19.0)	(6.0)	—	長胴甕口縁～胴部、胴部縦位ヘラケズリ後口縁部ヨコナデ	7世紀後半～8世紀初頭
	4		土師器/長胴甕	—	(9.1)	—	長胴甕胴部、胴部復元径16.5cm、縦位ヘラケズリ、内面ヨコナデ	7世紀後半～8世紀初頭
	5		土師器/長胴甕	—	(12.2)	—	長胴甕胴部、胴部復元径18.0cm、縦位ヘラケズリ	7世紀後半～8世紀初頭
	6	P3	礫石	(4.0)	3.3	(0.5)	重量:10.58g、粘板岩	—
	7	遺構外	土師器/甕	(16.8)	(5.4)	—	蓋口縁部、ヨコナデ/内外面に部分的に煤付着	7世紀後半～8世紀初頭力
	8		織文/深鉢	(6.2)	—	—	地文RL単筋、縦位に波状沈線を描す	織文中期

第9章 長宮遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

長宮遺跡は、武蔵野台地の北東端、荒川低地に舌状に突き出た武蔵野段丘面の台地東側をおりた一段低い立川段丘面に立地している。この低位の段丘面には「熊の山」と呼ばれた山林を湧水源とする清水が流れ（現在は排水溝として利用）、幅100mほどの緩い小支谷を形成し、清水の北側左岸に滝遺跡、南側右岸に長宮遺跡が分布する。北東側は荒川低地の沖積地と接し、500m南側には福岡江川が流れ、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北300m、東西500m以上ある。宅地開発が進むが部分的に畑が残っている。

遺跡の西方には長宮氷川神社があり、この神社の縁起伝承には「長宮千軒町」として繁盛したが、戦国期に壊滅した旨が記されている。周辺の遺跡は、北側に縄文時代早・前期、古墳時代前・後期から奈良・平安時代の遺跡である滝遺跡、南側には飛鳥・奈良・平安時代、中近世の松山遺跡が隣接する。1977年の保育園建設に伴う緊急調査で、中世の屋敷地と思われる

遺構群を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2018年4月現在95ヶ所で調査を行っている。主たる時代と遺構は縄文時代早期後葉から前期・中期・後期前葉までの集落跡、南側の松山遺跡寄りに飛鳥時代の住居跡、中世末から近世初頭の屋敷跡や長宮氷川神社参道に関係のある溝跡などである。

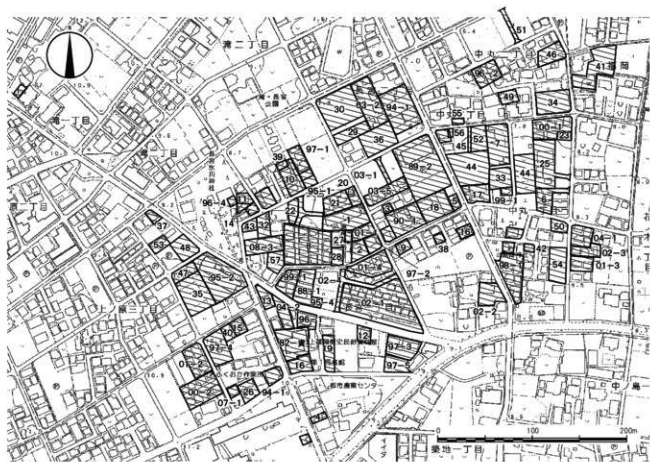
長宮遺跡第44地点の試掘調査および本調査については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第14集『市内遺跡群13』（2015.3）で報告済みのため、本書では割愛した。

II 長宮遺跡第52地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2016年3月8日付で「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央やや東側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年3月11日～17日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1～1.5mのトレンチ4本を設定し、



第47図 長宮遺跡の地形と調査区(1/4,000)

重機による表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約70cmである。

試掘の結果、溝2条・井戸3基・土坑1基・ビットを検出したが、30cmの保護層の確保が可能なため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①土坑

土坑は調査区の調査区中央、トレンチ3で確認された。平面形態は楕円形で、規模は確認面径104×90cm、底径86×68cm、深さ18.9cmである。出土遺物はない。

②井戸

【井戸1】 井戸1は調査区北側、トレンチ3で確認した。平面形態は不整形で、確認面径131×105cm、底径92×87cm、深さ86.9cmである。覆土中より縄文土器が出土したが、井戸の時期を特定するような遺物は出土していない。

【井戸2】 井戸2は調査区南側、トレンチ3の南端で検出した。平面形態は円形を呈する。規模は確認面径102×80cm、底径65×60cm、深さ94.2cmで、

井戸1よりやや小さい。井戸の時期を示す遺物の出土はなく、覆土中より縄文土器片が1点出土したのみである。

【井戸3】 井戸3は調査区西側、トレンチ4の南端で溝2の走行方向を確認するために掘削した拡張部分で確認した。検出は行ってないため、平面形態は不明、プランの規模は(95)×(30)cmである。

③ビット

ビット1～5はトレンチ1で、ビット6はトレンチ2で検出した。規模については第31表に掲載する。

④溝

【溝1】 調査区東側、トレンチ1で確認した。緩やかに蛇行しながら南北方向に走行する。確認面の規模は50～100cm、断面形状、深さは不明である。出土遺物はない。

【溝2】 調査区西側、トレンチ4で確認した。プランのみ確認のため規模、形状は不明。やや東に振れるが、南北方向に走行する。走行方向から第44・45地点で検出した溝4であると想定できる。

⑤出土遺物

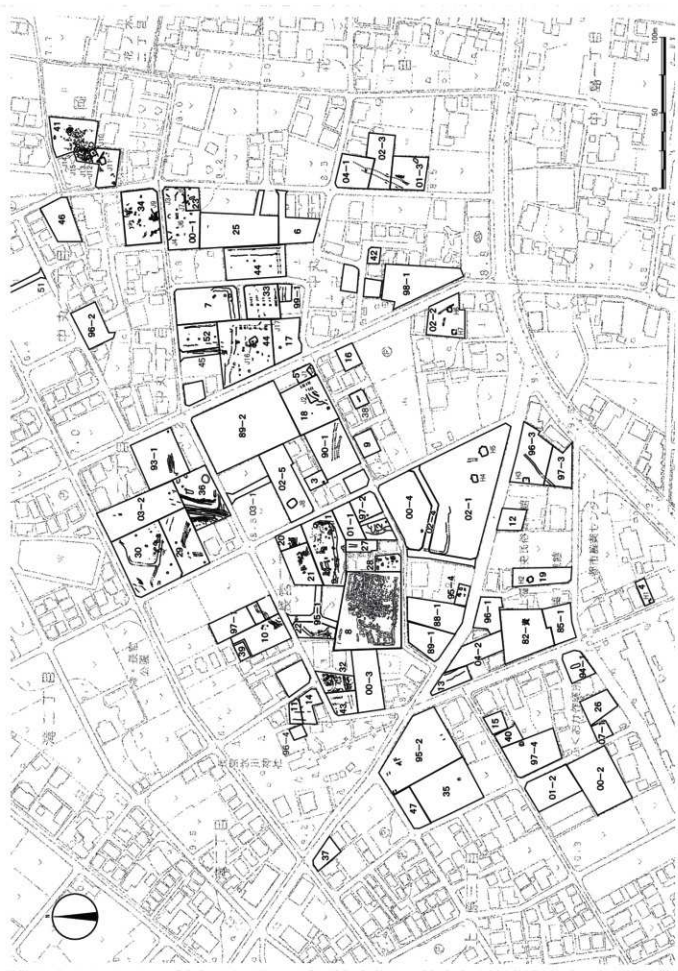
出土遺物の詳細については、第50・51図及び第32・33表に掲載した。

第30表 長宮遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間(1は試掘調査)	面積(m ²)	調査理由	確認された遺構と遺物	所収報告書
1次	長宮2-1-23	1977.10.3～30	1,000	保存調査	溝3、土坑46、柱穴	川崎遺跡(第3次)・長宮遺跡
2次	長宮2-1-27	1978.4.25～5.15	235	民間宅地	溝2、土坑1、石臼、磁磚、磁石、古銭、陶器、瓦片	埋(1)
3次	長宮2-1-11	1978.7.24～30	111	民間宅地	土坑1	埋(1)
4次	長宮1-1-14	1978.10.6～9	37	住居跡1、土坑跡、溝跡、鉄製品	住居跡1、土坑跡、溝跡、鉄製品	埋(1)
5次	長宮2-5-4	1979.4.16～20	110	縄文前期住居跡1、縄文土器片	縄文前期住居跡1、縄文土器片	埋(8)(9)
6次	中丸1-4-13	1980.4.21～30	515	遺構なし、中世以降陶器片	遺構なし、中世以降陶器片	埋(8)
7次	中丸1-3-6	1980.5.13～31	869	溝、井戸跡、縄文土器、中世以降陶器片	溝、井戸跡、縄文土器、中世以降陶器片	埋(8)
8次	長宮2-1-10～13	1980.9.8～10.8	1,900	宅地造成	中世溝、井戸、土坑、磁磚、磁石、陶器、古銭、瓦片	遺跡1集
9次	長宮1-4-10	1980.9.21～30	200	遺構なし、中世以降陶器片	遺構なし、中世以降陶器片	埋(8)
10次	長宮2-3-4	1980.12.5～15	485	溝、土坑跡、縄文前期土器・石器、中世以降古銭・陶器	溝、土坑跡、縄文前期土器・石器、中世以降古銭・陶器	埋(8)
11次	長宮2-2-10	1980.12.16～22	117	溝、縄文土器片、中世以降陶器	溝、縄文土器片、中世以降陶器	埋(8)
12次	長宮1-2-7	1981.5.26～30	160	個人住宅	溝1、中世陶器片、縄文土器片	埋(9)
13次	長宮1-2-13	1981.6.3～11	251	個人住宅	遺構なし、中世以降陶器	埋(9)
82試	長宮1-2-12		1,000	歴史民俗資料館	溝2	57年教育
14次	長宮2-2-1	1985.9.24～27	156	個人住宅	溝1	埋(9)
15次	西原2-5-8	1985.10.22～31	116	個人住宅	なし	埋(9)
85試	長宮1-2-11	[1986.3.6～15]	400	学童保育	溝2	60年教育
16次	長宮1-4-7	1986.6.9～17	173	個人住宅	縄文土器片	埋(9)
17次	中丸1-3-11	1987.6.19～30	504	個人住宅	縄文前期土器散布	埋(9)
88試	長宮1-3-8	[1988.9.13～16]	657	住宅建設	なし	埋(11)
89試(1)	長宮1-3-9	[1989.9.20～30]	448	住宅建設	なし	埋(12)
89試(2)	長宮2-5-19	[1989.11.14～24]	1,778	住宅建設	なし	埋(12)
90試	長宮2-5-4	[1990.11.27～30]	919	共同住宅	なし	埋(13)
18次	長宮2-5-3	1992.10.6～12.2	925	共同住宅	縄文住居跡1、中世土坑2、溝5	埋(15)
19次	長宮1-2-21.35	1993.12.17～1994.1.22	467	駐車場	古墳末期住居跡1	埋(15)
93試	長宮2-4-2の一部	[1994.12.10～28]	1,501.54	共同住宅	溝2、土坑1、中世後期磁磚	5年教育
94試	西原2-5-1	[1994.7.25～8.2]	314	心身障害者デイケア施設	新築面溝1	埋(17)
20次	長宮2-1-220の一部	1995.4.10～5.9	169.59	個人住宅	中世宮溝4	埋(18)
21次	長宮2-1-63.65	[1995.6.19～8.8]	360.94	個人住宅	中世宮溝1、井戸4	埋(18)
95試(1)	長宮2-1-209	[1995.8.9～28]	421	市道敷設	なし	埋(18)
95試(2)	上ノ原3-1-6外4番	[1995.10.4～12]	1,528	共同住宅	溝1	埋(18)

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
93試(3)	長宮2-1-60	(1995.10.23~25)	269	駐車場	中近世溝1、井戸4	埋(18)
22次	長宮2-1-60	1995.10.27~11.9	269	駐車場	中近世井戸跡4、溝1、陶器、板碑破片、かわらけ	遺跡6集
93試(4)	長宮1-3-13	(1995.12.12~25)	120	駐車場	なし	埋(18)
96試(1)	長宮1-2-16	(1996.7.12~18)	348.52	宅地造成	なし	埋(19)
96試(2)	中丸2-3-9地3事	(1996.11.7)	568	宅地造成	なし	埋(19)
96試(3)	長宮1-2-4	(1997.1.14~21)	794.16	共同住宅	古墳→奈良住居跡1	埋(19)
96試(4)	長宮2-2-4	(1997.2.24)	204.78	社務所改築	なし	8年教育
97試(1)	長宮2-3-3	(1997.4.8~9)	611	農地天地返し	溝1(溝部不明)	埋(20)
97試(2)	長宮2-1-2	(1997.4.9~11)	289	個人住宅	土坑1(溝部不明)	埋(20)
97試(3)	長宮1-2-36,37	(1997.6.4~5)	423.33	駐車場	溝1	埋(20)
97試(4)	西原2-5-6	(1997.8.15~21)	753	駐車場	中近世貯穴遺構1	埋(20)
98試	中丸1-2-4	(1998.11.24~27)	1,014	宅地造成	なし	埋(21)
99試	中丸1-3-12	(1999.11.8~16)	98	個人住宅	溝1、縄文前期土器2	埋(22)
00試(1)	中丸1-4-7	(2000.7.4~11)	932	宅地造成(土地分譲)	縄文前期(岡山町)住居跡5、土坑13	埋(23)
00試(2)	西原2-4-8,10	(2000.7.17~24)	1,081	宅地造成(土地分譲)	なし	埋(23)
00試(3)	長宮2-1-17	(2000.8.21~23)	687	共同住宅	なし	埋(23)
00試(4)	長宮1-3-3A,4A	(2001.1.17~23)	1,118.9	宅地造成(土地分譲)	近世以降土器1	埋(23)
23次	中丸1-4-7	2001.7.18~26	137.01	個人住宅	土坑6(縄文早期後半1、前期4、近世以降1)	埋(24)
01試(1)	長宮2-1-3	(2001.4.20~24)	330	個人住宅	なし	埋(24)
01試(2)	西原2-4-7	(2001.5.25)	634	共同住宅	なし	埋(24)
01試(3)	中丸1-1-3	(2001.8.7~24)	513	共同住宅	道路溝遺構1、縄文前期土坑1	埋(24)
01試(4)	長宮2-8-6	(2001.11.6)	130	個人住宅	なし	13年教育
02試(1)	長宮1-3-2~5	(2002.6.5~11)	3,336	宅地造成(土地分譲)	住居跡2(遺土保存)	埋(25)
02試(2)	長宮1-4-3	(2002.6.20~7.2)	575	確認調査	住居跡2、溝2	埋(25)
02試(3)	中丸1-1-5	(2002.9.3~11)	622	宅地造成(土地分譲)	道路溝遺構1	埋(25)
02試(4)	長宮1-3-31	(2002.9.26~25)	362.19	地区計画道路	溝1	埋(25)
24次	長宮1-4-3	2003.1.30~2.14	72	個人住宅	住居跡2	14年教育
02試(5)	長宮2-5-6	(2003.3.10~12)	827	宅地造成	住居跡1(遺土保存)	14年教育
03試(1)	長宮2-5-30,32	(2003.9.16)	196.64	区画道路	なし	埋(26)
03試(2)	長宮2-4-7	(2003.12.16~18)	1,123	宅地造成	井戸跡1	埋(26)
04試(1)	中丸1-1-11	(2004.11.26)	488	宅地造成	なし	埋(27)
04試(2)	長宮1-2-15	(2004.12.7~9)	466	農地改良	なし	埋(27)
25	中丸1-4-8	(2007.2.15~16)	1,161	個人住宅	ビッド3、縄文土器+石器	市内3
26	西原2-5-2の1部	(2007.3.28)	594	個人住宅	縄文土器片	市内3
27	長宮2-1-4	(2007.5.30~31)	174.58	個人住宅	溝、保存積層	市内4
28	長宮2-1-8	(2007.5.31~6.5) 2007.6.6~22	188	個人住宅	中近世井戸5、土坑10、ビッド13他、縄文土器+石器、中近世陶器	市内4
工事立会	西原2-5-31	2007.10.15	119.58	個人住宅		市内4
29	長宮2-4-6の一部	(2007.11.20~12.3) 2007.12.4~5	618	共同住宅	土坑1、井戸2、堀跡1、溝5、ビッド10、縄文土器、中近世土器	市内4
30	長宮2-4-6	(2009.9.28~11.2) 2009.11.4~12.8	1,362.1	老人福祉施設	中近世土坑、井戸、ビッド8、溝2、縄文土器+石器、中近世陶器	市内7・8
31	次巻					
32	長宮2-1-18	(2010.1.15~25) 2010.2.4~26	271	分譲住宅	中近世土坑20、ビッド142、溝3、縄文土器、中近世陶器	市内7・8
33	中丸1-3-2	(2011.5.19~31)	534	分譲住宅	縄文時代象石土坑1、土坑4、ビッド13、溝3、縄文土器、瓦器、陶磁器	市内14
34	中丸2-2-2,46	(2011.6.27~7.16) 2011.11.12~12.1	914	分譲住宅	縄文時代早期約、前期(岡山)住居跡1、近世溝、縄文土器	市内11
35	上ノ原3-1-4	(2011.9.9~26)	1,157.88	分譲住宅	縄文時代貯穴1、土器、石器	市内14
36	長宮2-4-3	(2011.10.4~17) 2011.10.21~11.14	981	分譲住宅	中近世井戸16、土坑4、溝16、ビッド20、板碑	市内11
37	上ノ原3-6-6	(2011.11.8)	105	個人住宅	なし	市内14
38	長宮1-4-27	(2011.11.24~25)	101	分譲住宅	なし	市内14
39	長宮2-3-23	(2012.2.1)	130.54	個人住宅	なし	市内14
40	西原2-5-7の1部	(2012.4.16)	201	個人住宅	遺構なし、縄文土器片	市内15
41	福岡学舎988-1-3、989-2-5,990-3	(2012.4.17~25) 2012.6.11~7.25	1,152.62	分譲住宅	縄文時代貯穴10、縄文時代前期住居跡6、溝と土坑7、ビッド17、土坑190、溝4、縄文前期土器片、石器、近世陶器	市内12
42	中丸1-2-24	(2012.7.31)	101	分譲住宅	なし	市内15
43	長宮2-1-72	(2013.2.27~3.1)	231	個人住宅	中世→近世溝2+土坑3+ビッド17、土器、磁器	市内15
44	中丸1-3-3,4-5	(2013.5.14~6.24) 2013.6.25~7.30	1,329	分譲住宅	縄文前期住居跡1、貯穴6、溝と土坑1、土坑15、井戸5、溝9、ビッド4、縄文時代前期の土器、石器、中近世以降の陶器や板碑	市内13
45	中丸1-3-17+18、3-5	(2013.8.7~10)	119	道路築造	溝2、土器、石器、板碑	市内18
46	中丸2-22+13	(2013.9.6~10)	488	高齢者サービスセンター	遺構なし、磁器	市内18
47	上ノ原3-1-5	(2013.10.10)	330	共同住宅	遺構遺物なし	市内18
48	上ノ原3-6-1	(2014.2~8)	555	分譲建売	井戸1、溝1、遺物なし	市内20
49	中丸2-2-4	(2014.10.23~30)	293.09	集合住宅	埴土跡5(縄文時代)、遺物なし	市内20
50	中丸1-2-17	(2015.3.16)	228	分譲住宅	遺構なし、陶磁器	市内20
51	中丸2-3-45+46	(2012.4.25)	176	道路	遺構なし、土器片1	市内15
52	中丸1-3-24	(2016.3.11~17)	484	分譲住宅	土坑1、井戸3、ビッド6、溝2、土器片、石器、古銭、陶磁器	市内22
53	上ノ原3-6-3	(2016.7.11)	223	長寿建設	遺構なし、土器、陶磁器	未報告
54	中丸1-2-16	(2017.5.16~23)	800	分譲住宅	縄文前期住居跡1、土坑1、道路溝遺構1、縄文土器	未報告
55	中丸2-3-6の1部	(2017.6.29)	191	個人住宅	土坑1、溝1、土器片	未報告
56	中丸1-3-37	(2017.7.5)	123	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
57	長宮2-1-16	(2018.2.15)	374.63	個人住宅	土坑1(縄文時代約)、縄文土器片	未報告

※埋：土曜町教育委員会埋蔵文化財調査報告書、上遺跡：土曜町遺跡調査報告書、教育：土曜町教育委員会、市内2ふみ野市市内遺跡調査報告書



第 48 図 長宮遺跡遺構分布図(1/2,500)

トレンチ 1・4、井戸 3

I. 新作土

0. 暗褐色土 練りや中練、粘性有、ロームブロック混じり

0. 灰土

A. 暗褐色土 練りや中練、3mm 以下ロームブロック・2mm 以下ローム粒多く、1mm 以下炭化物・炭土少し含む

1. 暗褐色土 練り有、粘性有、ロームブロック微量に含む

2. 暗褐色土 練りや中練、粘性や中強、3~5mm ローム粒、1~2mm 酸化鉄粒・輝微量含む

3. 暗褐色土 練り有、粘性や中強、3~5mm ローム粒、1~2mm 酸化鉄粒・輝微量含む

4. 黒褐色土 練り有、粘性有、3~5mm ローム粒、同酸化鉄粒少量、炭化物・輝微量含む

5. 黒褐色土 練りや中練、粘性や中強、4層と同

6. 暗褐色土 練り有、粘性強、4層と同、弱グライ化

7. 暗褐色土 練り有、粘性強、1~3mm ローム粒極微量、弱グライ化、板碑片出土

8. 暗褐色土 練りや中練、粘性や中強、3~10mm ローム粒少量含む

9. 黒褐色土 練り強、粘性強、1~5cm ロームブロック少量含む

ビット

1. 暗褐色土 練りや中練、3mm 以下ロームブロック多く、2mm 以下ローム粒・炭化物少し含む

2. 暗褐色土 練り強、1mm 以下ローム粒少し、1mm 以下赤褐色粒・炭化物僅かに含む

3. 黒褐色土 練り強、1mm 以下ローム粒多く、1mm 以下赤褐色粒・炭化物少し含む

4. 暗褐色土 練りや中練、2mm 以下ローム粒・炭化物少し含む

土坑

1. 暗褐色土 練り強、1mm 以下ローム粒・赤色粒子・炭化物少し含む

2. 黄褐色土 練り強、地山ロームを少し含む

井戸 1・2

1. 暗褐色土 練りや中練、1mm 以下ローム粒少し含む、ホソボン

2. 灰黄褐色土 練り強、4mm 以下ロームブロック少し、2mm 以下ローム粒・赤色粒子多く、1mm 以下

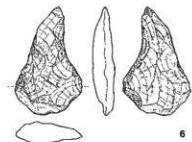
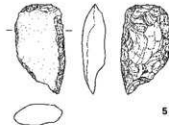
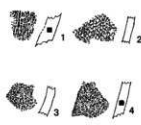
炭化物粒少し含む、下層に一部緑分混着

3. 暗褐色土 練り強、粘質土、3mm 以下ロームブロック・2mm 以下ローム粒少し、1mm 以下赤褐色粒・炭化物僅かに含む

4. 暗褐色土 練り強、粘質土、3層+ロームブロック多量に多く含む

5. 暗褐色土 練り強、3mm 以下ロームブロック・2mm 以下ローム粒多く含む

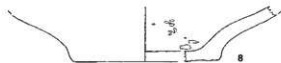
井戸 1



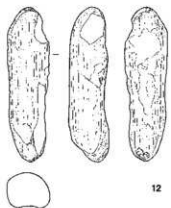
井戸 2



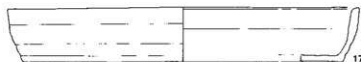
P4



溝 2

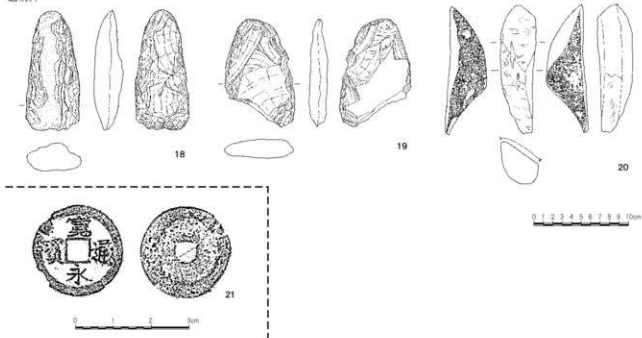


遺構外



第 50 図 長宮遺跡第 52 地点出土遺物①(1/4・1/6)、トレンチ・土坑・井戸・ビット・土層説明

遺構外



第51図 長宮遺跡第52地点出土遺物②(1/4・1/1)

第32表 長宮遺跡第52地点出土遺物観察表(単位cm・g)

図版番号	出土遺構	種別/器種	技法・文様/胎土/備考	推定年代
第50図-1	井戸1	織文/破片	捫糸力、磨滅が激しい/織維含む	織文前期
第50図-2		織文/破片	LR織文	織文前期/関山
第50図-3		織文/破片	無文/砂粒を多く含む	織文
第50図-4		織文/破片	無文/白色針状物質、織維を含む	織文
第50図-7	井戸2	織文/破片	R織文力、磨滅が激しい	織文前期
第50図-8	P4	陶器/甕	常滑焼底底部、輪積み成形。ナデ/小破を多く含む、底径(15.6)	中世
第50図-9	溝2	織文/破片	貝殻圧痕文、口唇部に刻み/白色粒子を多く含む	織文早期/茅山下層式
第50図-10		織文/破片	Lr織文/白色粒子を少量含む	織文中期
第50図-11		土師器/坏	回転糸切り未調整/赤色粒子を僅かに含む/底径(6.0)	古代~
第50図-13		結晶片	長さ19.6cm、幅9.2cm、厚さ2.5cm、重量619.24g	—
第50図-14	遺構外	土器	口縁部、輪積み成形、ナデ/白色粒子、小破を少量含む	中世~
第50図-15		織文/破片	棒状工具による捫引文力/白色粒子を多く含む	織文中期
第50図-16		土器/焙烙	内面に内耳割離痕/外面割離	近世
第50図-17		土器/焙烙	輪積成形/外面に煤付着/底径(34.0)	近世
第51図-21		銅貨/寛永通宝	鑄造/径1.5cm、中央穴0.5cm/背面は磨滅が激しい	1697~

第33表 長宮遺跡第52地点出土石器観察表(単位cm・g)

図版番号	遺構名+注記No	種別/器形	長さ	幅	厚さ	重量	石材/推定生産地	推定年代	残存/備考
第50図-5	井戸1	打製石斧	9.5	5.0	2.3	146.05	細粒砂岩	織文時代	完形
第50図-6		打製石斧	11.5	7.1	2.3	149.20	ホルンフェルス	織文時代	上端部欠損
第50図-12	溝2	敲き石	16.3	4.4	4.1	478.72	泥岩	織文時代	完形
第51図-18	遺構外	打製石斧	12.5	5.6	3.0	227.91	凝灰岩	織文時代	完形
第51図-19		打製石斧	11.4	7.2	1.8	177.86	中粒砂岩	織文時代	刃部欠損
第51図-20		砥石	13.44	3.8	4.4	220.38	上州	中世以降	完形

第10章 亀居遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

亀居遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部に位置している。標高25～26mで現谷底との比高差は5mを測る。本遺跡をのせる北側の台地は急傾斜をなすが、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡の時期は、旧石器時代及び縄文時代中期前葉で、特に後者は周辺では類例の少ない単一集落である。江川南遺跡の立地とあわせて台地の奥に形成された中期前葉の遺跡のあり方として特異な様相が窺える。遺跡周辺は、土地区画整理事業により区画道路が縦横にとりつけられ、宅地化が進んでいる。

1977年の最初の調査から2018年4月現在まで78地点で調査され、縄文時代中期前半の住居跡16軒、屋外埋喪2基、集石土坑99基、土坑、ピット多数が確認されている。

遺物は阿玉台式、勝坂式土器が主体で一部五領ヶ台土層期の土器片も出土している。

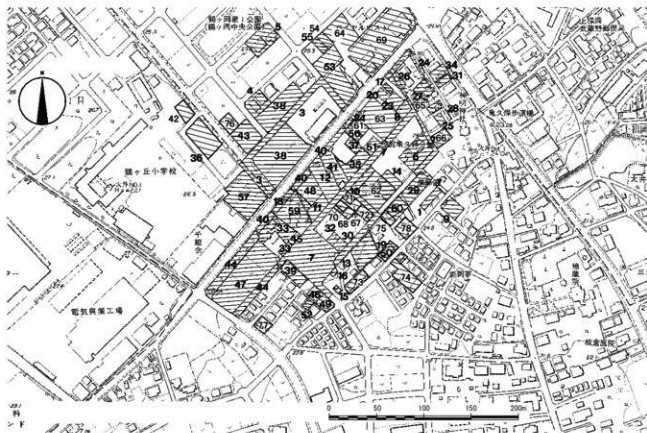
II 亀居遺跡第75地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年5月25日付けで「埋蔵文化財事前協議書」が提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年6月8日に試掘調査を実施した。

調査は幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。遺構確認面までの深さは40～50cmである。遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の確認調査は行っていない。

遺物はトレンチ覆土中より縄文土器片1点が出土した。竹管状工具による横位の押引文を施す。胎土に白色粒子を多く含む。中期か。



第52図 亀居遺跡の地形と調査区(1/4,000)

Ⅲ 亀居遺跡第 76 地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 7 月 8 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 8 月 6 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1～1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 40～50 cm である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

Ⅳ 亀居遺跡第 77 地点

(1) 調査の概要

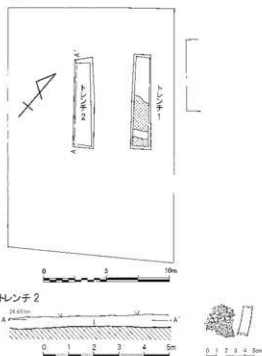
調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2016 年 2 月 29 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016 年 3 月 18 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5m のトレンチ 3 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 cm である。

調査の結果、時期不明の根切り溝と見られる溝 1 条を確認したが、遺物もないため今回は遺構として扱わない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第 34 表 亀居遺跡調査一覧表

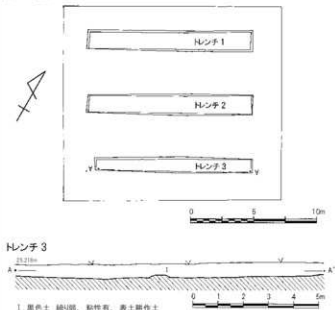
No.	所在地	調査期間 (試掘調査)	遺構 (M)	調査内容	遺構と遺物				所収報告書
					柱	溝	土坑	その他	
1	亀久保 1001	1972	159	倉庫地用					野原市報 1 調査報告書 8集
2	亀久保 1005	1973	350	倉庫地用					野原市報 1 調査報告書 8集
3	餅ヶ岡 161-1	1979.11～12	750	区画整理	2	1	6	1	野原市報 1 調査報告書 8集
4	餅ヶ岡 2-2	1984(試掘)		区画整理					
5	餅ヶ岡 2-4	1984(試掘)		区画整理				1	
6	亀久保 1000	1985	914	区画整理	7	4	10		野原市報 1 調査報告書 8集
7	亀久保 999	1986.8	2,740	区画整理	2	7	4	138	野原市報 1 調査報告書 8集
8	亀久保 1001	1986.8	181	個人住宅	2	3	11		野原市報 1 調査報告書 8集
9	亀久保 989-1	1986.9(試掘)		住宅建設					
10	亀久保 1010-1	1986.10	650	区画整理	1		20	17	調査報告書 8集
11	亀久保 1011-3	1987.10.13～11.13	389	個人住宅	2	2	73		野原市報 1 調査報告書 8集
12	亀久保 1011-1	1987.11.16～12.16	361	個人住宅	1		48	1	野原市報 1 調査報告書 8集
13	亀久保 1007-3	1988.8	242	区画整理	2				野原市報 1 調査報告書 8集
14	亀久保 999-4	1988.7.22～8.5	165	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
15	亀久保 1007	1989.2(試掘)		個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
16	亀久保 1007	1989.2	45	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
17	亀久保 995-3	1989.9.14～18	112	個人住宅		3	3		野原市報 1 調査報告書 8集
18	餅ヶ岡 6	1990.3	210	区画整理					野原市報 1 調査報告書 8集
19	亀居 1007	1990.12～26	613	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
20	亀久保 1001-3	1990.5.21～25	118	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
21	亀久保 1001-4-15	1990.8.3～10	160	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
22	亀久保 995-4	1990.12	3,324	区画整理		1	3		野原市報 1 調査報告書 8集
23	亀久保 995-7	1991.3.1～26	162	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
24	亀久保 1001-14	1991.2.14～15	151	個人住宅			60		野原市報 1 調査報告書 8集
25	亀久保 995-2	1991.5.1～24	249	個人住宅			5		野原市報 1 調査報告書 8集
26	亀久保 995-6	1991.1.24～21	475	個人住宅		6			野原市報 1 調査報告書 8集
27	亀久保 992-2	1991.7	925	倉庫地用	1	2	36		野原市報 1 調査報告書 8集
28	亀久保 1007-3-1033-3	1991.7	116	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
29	亀久保 995-2-7	1991.9	197	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
30	亀久保 1008-1	1991.12.3～9	113	個人住宅			6		野原市報 1 調査報告書 8集
31	亀久保 1011-7	1991.12～1992.4	998	個人住宅	1	3	42		野原市報 1 調査報告書 8集
32	亀久保 995-2	1992.2.13	634	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
33	亀久保 1012-7	1993.8.28～11.5	470	個人住宅	1	2	7	56	野原市報 1 調査報告書 8集
34	餅ヶ岡 1-2-2	1994.2.17～18	798	区画整理		1			野原市報 1 調査報告書 8集
35	亀久保 1003-2-6	1994.2.18～25	566	区画整理					野原市報 1 調査報告書 8集
36	餅ヶ岡 1-2-1, 2-2, 3	1994.8.22～30 1994.9	3,362	倉庫地用	37	21	29		野原市報 1 調査報告書 8集
37	亀久保 1008-5	1994.8.26～29	342	駐車場					野原市報 1 調査報告書 8集
38	亀久保 1012-5	1995.5	386	道路掘削					野原市報 1 調査報告書 8集
39	亀久保 995-21-24	1995.5.31～6.4	530	道路掘削	1		66		野原市報 1 調査報告書 8集
40	餅ヶ岡 1-3-14	1995.7.11～16	196	住宅建設					野原市報 1 調査報告書 8集
41	餅ヶ岡 2-3-1	1995.8.9～30	818	住宅建設		4	2		野原市報 1 調査報告書 8集
42	亀久保 1012-1	1995.10.22～12.4	1,030	道路掘削					野原市報 1 調査報告書 8集
43	亀久保 1008-5	1996.10.13～17	619	個人住宅				3	野原市報 1 調査報告書 8集
44	亀久保 1007-17	1996.6.24～25	192	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
45	亀久保 1013-1	1996.10.11～12	2,741	個人住宅	1	14	4	174	野原市報 1 調査報告書 8集
46	亀久保 995-19	1997.1.26～29	856	アパレル業				1	野原市報 1 調査報告書 8集
47	亀久保 1007-5	1997.11.6～10	214	住宅建設					野原市報 1 調査報告書 8集
48	亀久保 1007-5	1998.2.6	198	個人住宅				1	野原市報 1 調査報告書 8集
49	亀久保 3 期 2-4 期	1999.6.15～7.9	227	個人住宅				6	野原市報 1 調査報告書 8集
50	亀久保 7 期 2-14 期	2000.2.1～2	121	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
51	餅ヶ岡 2-8	2000.10.30～2001.1.18	1,422	店舗				7	野原市報 1 調査報告書 8集
52	餅ヶ岡 2-8	2001.4.24～27	140	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
53	餅ヶ岡 2-8	2001.11.34～26	140	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
54	亀久保 2-13-4	2001.11.5～21	172	個人住宅				10	野原市報 1 調査報告書 8集
55	餅ヶ岡 2-13-4	2001.4.24～28	1,356	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
56	餅ヶ岡 2-13-4	2005.4.18	79	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
57	亀久保 10-1	2005.8.3～11	1,071	個人住宅	2	1	1		野原市報 1 調査報告書 8集
58	亀久保 10-2	2005.9.1～3	203	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
59	亀久保 13-40-1	2006.10.10～13	160	個人住宅	1	2	1	5	野原市報 1 調査報告書 8集
60	亀久保 12-3	2007.11.2～26	1,284	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
61	亀久保 12-3	2008.9.17～10.15	998.15	住宅設備					野原市報 1 調査報告書 8集
62	亀久保 12-3	2008.9.17～24	907	住宅設備					野原市報 1 調査報告書 8集
63	亀久保 14-90-9	2011.4.25～26	179	公園掘削					野原市報 1 調査報告書 8集
64	亀久保 16-1	2011.7.15～19	408.5	住宅建設					野原市報 1 調査報告書 8集
65	亀久保 12-11-12	2011.8.1～8	136.0	個人住宅				1	野原市報 1 調査報告書 8集
66	亀久保 12-30-1	2011.8.1	136	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
67	餅ヶ岡 2-13-3, 2-11	2012.1.26～31	2,426	店舗					野原市報 1 調査報告書 8集
68	亀久保 12-3	2012.3.27	111	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
69	亀久保 12-3	2012.8.27	111.50	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
70	亀久保 12-36, 12-13	2012.10.11	247.80	個人住宅				1	野原市報 1 調査報告書 8集
71	亀久保 12-17-4	2012.10.20	526.14	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
72	亀久保 12-17-4	2014.11.27	557	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
73	餅ヶ岡 2-3-2	2015.8.6	67	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
74	亀久保 2-9-24	2016.11.8	160	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集
75	亀久保 17-10-11	2018.2.5	366.57	個人住宅					野原市報 1 調査報告書 8集

第75地点



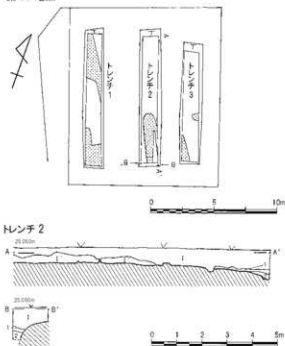
1 表土耕作土 締り弱、粘性有、黒色土と10cm以下ロームブロックを多く含む

第76地点



1 黒色土 締り弱、粘性有、表土耕作土

第77地点



1 盛土 締り有、粘性有、ロームブロック・黒色土を固に含む
 1' 暗褐色土 締りやや強、粘性弱、ロームブロック混じり
 1 暗褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、1mm大のローム粒少量
 2 暗褐色土 締りやや弱、粘性やや弱、1~3mmのローム粒やや多量

第11章 鶴ヶ舞遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

鶴ヶ舞遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～900m程下った左岸に位置している。標高21～23mで現谷底との比高差は5mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜を成し、対岸の南側は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

周辺の遺跡は約200m西に亀居遺跡、約150m南に江川南遺跡、約200m南東に東久保遺跡がある。

1987年の最初の調査から2018年4月現在、29地点で試掘及び発掘調査が行われ、旧石器時代の石器、縄文時代の炉穴、落とし穴、平安時代の溝を検出し、平安時代の須恵器壺が出土している。

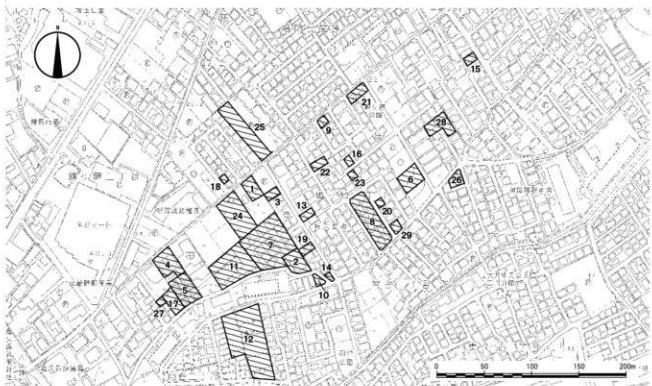
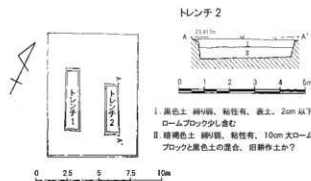
II 鶴ヶ舞遺跡第23地点

(1) 調査の概要

調査は建売住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範

囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年6月29日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約75cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



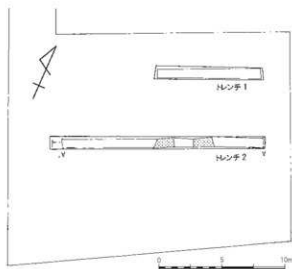
第54図 鶴ヶ舞遺跡の地形と調査区 (1/4,000)、第23地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

III 鶴ヶ舞遺跡第24地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年8月31日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60～70cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえ埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第55図 鶴ヶ舞遺跡第24地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第35表 鶴ヶ舞遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (又は試掘調査)	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	鶴ヶ舞1-67-3	(1986.1.28～29)	499	個人住宅	土坑1、縄文中期土器片	東部遺跡群VI
2	鶴ヶ舞1-65-6	(1987.4.16～30)	495	個人住宅	竪穴3、土坑2、平安時代溝1、旧石蔵、土器片、遺棄物	東部遺跡群VII
3	鶴ヶ舞1-69-1	(1994.7.10)	141	駐車場造成	遺構なし	町内遺跡群IV
4	鶴ヶ舞1-60-6-10	(1997.8.26～29)	318	共同住宅	近世溝6、井戸1	町内遺跡群VII
5	鶴ヶ舞1-61-3	(1997.11.4～6)	266	分譲住宅	近世溝2	町内遺跡群VIII
6	鶴ヶ舞1-84	(2002.9.10～13)	474	個人住宅	遺構遺物なし	町内遺跡群IX
7	鶴ヶ舞1-65-1	(2003.5.29～6.14)(2003.6.23～7.3)	2,030	分譲住宅	旧石蔵跡群、縄文土坑1	町内遺跡群X
8	鶴ヶ舞1-69-46～51-61～66	(2005.7.11～8.11)(2005.8.24)	1,087	分譲住宅	竪穴6、ピット3	調査台報告15集
9	鶴ヶ舞1-16-5	(2005.11.1)	104	共同住宅	ピット3、遺物なし	市内遺跡群2
10	鶴ヶ舞1-64-6	(2006.6.5)	96	個人住宅	様子り溝1、旧石器時代群1	市内遺跡群3
11	鶴ヶ舞1-65-2-6	(2006.9.21～10.5)	1,316	建物解体工事	遺構遺物なし	市内遺跡群4
12	鶴ヶ舞1-58-4	(2011.7.19～21)	97.7	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
13	鶴ヶ舞1-78-7	(2011.7.21)	115	個人住宅	遺構なし、土器片	市内遺跡群14
14	鶴ヶ舞1-79-7	(2011.9.22)	56.3	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
15	南台798-33	(2011.11.22)	100.3	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群14
16	鶴ヶ舞1-73-10	(2012.9.7)	6.3	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群15
17	鶴ヶ舞1-58-2	(2012.11.16)(2012.11.16)	32.2	個人住宅	溝1、土器片、近世瓦磁器	市内遺跡群15
18	福岡武蔵野1408-4(9-6)	(2013.1.21)	61	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群15
19	鶴ヶ舞1-79-25	(2013.4.10)	94.6	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
20	鶴ヶ舞1-69-70	(2013.5.13)	68.55	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
21	鶴ヶ舞1-73-27-51-52-54	(2013.10.23)	135.55	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
22	鶴ヶ舞1-69-35-36	(2014.12.4)	171	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群20
23	鶴ヶ舞1-73-19	(2015.6.29)	72	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群22
24	鶴ヶ舞1-67-3-4の一部	(2015.8.31)	499	個人住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群22
25	福岡武蔵野1406-7-8-10-11	(2013.5.2)	1,124.99	分譲住宅	遺構遺物なし	市内遺跡群18
26	鶴ヶ舞1-99-10-12	(2016.12.5)	252	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
27	鶴ヶ舞1-58-8	(2017.4.13)	54	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
28	鶴ヶ舞1-65-3-4-19-20-21-22	(2017.11.16～17)	497.81	分譲住宅	竪穴6、土坑1、ピット2、縄文土器	未報告
29	鶴ヶ舞1-69-103	(2017.11.17)	106.00	個人住宅	ピット1(時期不明)、遺物なし	未報告

第12章 松山遺跡の調査

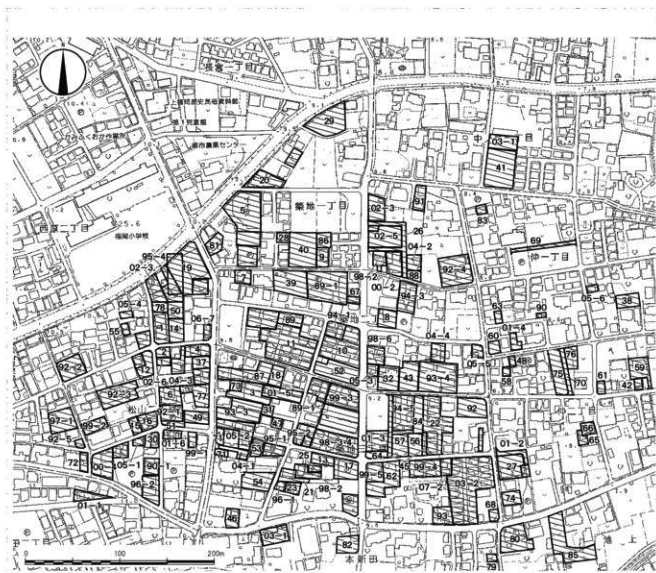
I 遺跡の立地と環境

松山遺跡は、亀居遺跡付近を湧水源とする福岡江川の左岸、武蔵野台地の一段低い立川段丘面に立地している。東側は荒川低地の沖積地と接し、標高9～10m前後の微高地を形成する。遺跡の範囲は南北500m、東西600m以上である。宅地開発されるが部分的に畑が残っている。

周辺の遺跡は、すぐ北側に縄文時代早期～後期、飛鳥時代および中近世にわたる長宮遺跡、福岡江川を挟んだ対岸には福岡新田遺跡、同じく対岸の250m南東側には、縄文時代前期集落の鷺森遺跡がある。また、

西方約350mの比高差9mを持ってそびえる台地の南東崖面には富士見台横穴墓群が望まれる。

1978年の宅地造成に伴う緊急調査で奈良時代の住居跡を検出したのをはじめ、宅地造成などにより2018年4月現在、約100ヶ所で調査が行われている。主たる時代と遺構は、長宮遺跡と接した北寄りに飛鳥時代の住居跡、遺跡中央の東西240m、南北210m程度の範囲に奈良・平安時代の住居跡・掘立柱建物跡・井戸跡、中近世以降の溝・井戸跡などである。特に溝、井戸等の中近世の遺構は東側の低地へも広がりを見せており、遺跡範囲の変更増補を行った。



第56図 松山遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第36表 松山遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間(1は試掘調査)	面積(m ²)	調査内容	確認された遺構と遺物	所収報告書
04B(1)	墓地3-1-16,32	(2004.4.22~23)	976	宅地造成	なし	確認された遺構と遺物
04B(2)	墓地1-3-37	(2004.4.26)	165	個人住宅	なし	遺(27)
04B(3)	松山2-6-11	(2004.4.16)	309	宅地造成	なし	遺(27)
04B(4)	墓地2-5-14,25,27	(2004.8.5)	280	個人住宅	なし	遺(27)
04B(5)	墓地3-4-12	(2004.9.6~8)	911	宅地造成	溝1	遺(27)
05B(1)	松山2-2-40の一部	(2005.4.6~7)	313	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05B(2)	墓地3-1-32,34,43	(2005.4.19~21)	549	土地分譲	遺構遺物なし	市内1
05B(3)	墓地2-5-32	(2005.4.28)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
31次	墓地3-1-69	2005.6.14~23(2005.6.9~13)	120	個人住宅	古墳時代住居跡1	市内3
05B(8)	墓地2-5-3	(2005.8.30~9.13)	567	宅地造成	平安時代住居跡1	市内3
32次	墓地2-5-30の一部	(2005.8.30~9.7,2005.9.8~13)	132	個人住宅	平安時代住居跡2	市内3
05B(5)	墓地2-5-36	(2005.10.31)	125	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05B(4)	松山2-4-23	(2005.10.20~21)	161	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05B(6)	仲1-4-26	(2005.11.14)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内1
05B(7)	松山2-5-21	(2006.2.28)	100	個人住宅	遺構遺物なし	市内2
37	松山2-6-10-13	(2006.4.13)	228	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
38	仲1-4-3+9-12-13-24	(2006.5.29)	2,176	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
39	墓地3-10	(2007.1.10~20)	937	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
40	墓地1-1-5	2007.2.2~8(2007.2.21~3.9)	1,047	宅地造成	奈良時代住居跡1、中世溝堀跡出	市内3
41	中ノ瀬1-2-5	2007.2.7~9(2007.2.21~3.5)	1,287	宅地造成	中世溝堀跡出	市内3
42	仲2-15	(2007.3.15)	108	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
43	墓地3-5-2	(2007.4.11~24)	668.13	分譲住宅	堀跡1、土坑1、石葺路アライ点	市内4
44	墓地2-10-14	(2008.6.9~11)	132	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
45	墓地4-7-0の一部	(2008.9.4~30,2008.10.1~23)	390	道路	奈良平安時代住居跡2、竪穴住居跡2、竪穴住居跡1、時期不明の溝10、土坑、ピット	市内6
46	墓地3-1-33,35の一部	(2009.2.17)	309	個人住宅	遺構遺物なし	市内6
47	墓地3-1-52	(2009.5.11~12)	121	個人住宅	ピット	市内8
48	仲2-34	(2009.7.1)	67	個人住宅	遺構遺物なし	市内8
49	松山2-6-1+14-22の一部	(2009.10.17~22,2009.10.27~11.18)	449	宅地造成	平安時代住居跡1(住居内訳不明)、土坑1、溝1、ピット1	市内8
50	松山2-5-3+17	(2009.11.27~12.1)	797	分譲住宅	溝1、ピット7	市内8
51	松山2-6-22-23-280の一部	(2010.5.10~13)	300	分譲住宅	遺構遺物なし	市内10
52	墓地2-1-1	(2010.8.26~9.3)	694	分譲住宅	溝1、竪穴1、工事立地	市内10
53	墓地3-1-11	(2010.9.10~21)	205	個人住宅	近代以降の溝3、アケテラ1、溝掘工事	市内10
54	墓地1-4-76~83	(2010.9.21~10.1,2010.10.4~11.5)	539.51	宅地造成	奈良平安時代住居跡3、堀跡、西側の住居は遺土保存、他2は本調査	市内9
55	松山2-4-240の一部	(2011.1.17,2011.1.18~31)	226.37	個人住宅	奈良平安時代住居跡1、竪穴住居跡跡1、本調査	市内9
56	墓地3-4-7-80の一部	(2011.4.4~14,2011.4.11~15)	482.53	共同住宅	奈良平安時代住居跡2、堀跡、西側の住居は遺土保存、他2は本調査	市内11
57	墓地3-4-47	(2011.4.4~15)	241	分譲住宅	溝跡する45地点から続く井34住居跡と溝、遺物なし	市内14
58	仲2-31	(2011.6.8~9,2011.6.14)	114.54	個人住宅	井戸1、溝1、土坑1、本調査	市内14
59	仲2-34+9	(2011.8.8~9,2011.8.10~11)	559.7	個人住宅	土坑2、溝3、竪穴土器、遺物、本調査	市内14
60	仲1-15	(2012.3.26~27)	165.31	個人住宅	堀跡1、溝1、陶磁器、塔塚、工事立地	市内14
61	仲2-31	(2012.4.16~19)	113	個人住宅	溝1、土坑3、陶磁器	市内15
62	墓地3-5-11+14+19	(2012.6.11~21,2012.7.23~8.1)	842	分譲住宅	縄文時代住居跡1、奈良平安時代住居跡1、溝6、縄文土器、瓦葺、他	市内12
63	仲1-155-96-57	(2012.6.5)	120	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
64	墓地3-4-9	(2012.6.7~15)	314	分譲住宅	溝1、近世の土坑、陶磁器	市内15
65	仲2-125-36	(2012.11.1~18),2012.1.19~3.21	630	物置	奈良平安時代住居跡2、竪穴住居跡跡3、土坑6、溝6、遺物、石葺路	市内15
66	仲2-153-54		179	個人住宅		市内15
67	墓地3-1-13	(2012.1.19)	91.97	個人住宅	遺構遺物なし	市内15
68	墓地3-5-1	(2012.3.7~8)	166	個人住宅	井戸1、土坑1、ピット4、遺物、土器、土葺路等	市内15
69	仲1-51+53+55	(2012.10.10~11),2013.9.12~17	298	道路	縄文時代住居跡1、溝1	市内18
70	仲2-39-41	(2013.4.11~16),2013.4.17~23	220.41	道路	奈良平安時代住居跡1、中1	市内18
71	墓地3-1-16-32-34	(2013.4.30~5.1)	240	分譲住宅	ピット1、古銭、陶器片1	市内18
72	松山1-4-1	(2013.5.24)	198.86	個人住宅	遺構遺物なし	市内18
73	松山1-5-6	(2013.8.19),2013.8.20	165	個人住宅	平安時代住居跡1、遺物	市内18
74	仲2-37	(2013.12.26~28)	280.24	分譲住宅	井戸1、竪穴土坑1、溝2、土坑1、陶磁器	市内18
75	仲2-2+4	(2014.1.4~20),2014.8.5~11	666	分譲住宅	奈良時代住居跡1、溝3、遺物、土器	市内18
76	仲2-2+8	(2014.1.22~28),2014.9.26~10.2	120	個人住宅	土坑1、井戸1、溝1、土器	市内18
77	仲2-2+7(6区画)	(2014.1.22~28),2014.11.12~17	120	個人住宅	奈良時代住居跡1(70地点と同一)、土葺路	市内18
78	仲2-2+7	(2014.1.22~28)	362	宅地造成	奈良時代住居跡1(70地点と同一)、井戸2、溝2、土坑3、土葺路、遺物、中世陶器	市内18
79	松山2-6-2+3-12の各一部	(2014.3.3~12),2014.3.13~27	493	個人住宅	平安時代住居跡1、土坑3、土葺路、遺物	市内18
78	松山2-5-5	(2013.5.22)	242	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
79	本新田95-10の一部	(2014.8.5)	153	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
80	港上372	(2015.1.12)	1,183.4	個人住宅	遺構なし、土器、陶磁器	市内20
81	墓地1-1-12	(2015.3.23)	247.49	分譲住宅	溝1、遺物なし	市内20
82	本新田110の一部	(2015.7.30~31)	194	個人住宅	溝1、堀1、土葺片	市内22
83	仲1-2-22	(2015.8.31)	98	分譲住宅	溝1、土葺片	市内22
84	墓地3-4-13	(2015.9.15~16)	455	宅地造成	平安時代住居跡1、井戸1、縄文土葺片、陶磁器	市内22
85	港上362-1の一部、364+365+366の一部	(2015.10.1~19),2015.10.20~26	1,244.47	分譲住宅	奈良平安時代住居跡2、層外の縄土器1、中世以降の溝5、遺物、土葺路、陶磁器、鉄製品、石葺路	市内19
86	墓地1-1-4	(2016.7.5~7)	294	分譲住宅	溝1、陶磁器	未報告
87	墓地3-1-21+22の一部、39-40-41-84	(2016.9.14)	427	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
88	墓地1-3-36	(2016.10.13)	120	個人住宅	土坑1、ピット2、溝1、遺物なし	未報告
89	墓地2-1-11+16	(2017.3.3~6)	287.04	分譲住宅	遺構遺物なし	未報告
90	仲1-1-370の一部	(2017.10.12)	120	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
91	墓地1-3-80の一部	(2017.10.24)	416	個人住宅	溝(近世以降)5、陶磁器	未報告
92	墓地3-4-3	(2017.10.31)	621	分譲住宅	土坑(時期不明)2、ピット(時期不明)1、縄文土器	未報告
93	墓地3-5-72	(2017.11.27~28)	571.97	共同住宅	古代住居跡2、堀1、溝1、近世以降土坑2、土葺路、遺物、陶磁器	未報告
94	墓地3-5-4	(2018.3.23)	571.2	作業場	古代住居跡1、時期不明ピット1、土葺路、陶磁器	未報告

※原:1:福知山市教育委員会文化財課の調査報告書、上:遺跡:1:福知山市遺跡調査報告書、教:1:福知山市教育委員会、市内:ふじの野市内建設部調査報告書



第57図 松山道跡遺構分布図 (1/3,000)

第37表 松山遺跡古代住居跡一覧表(単位cm)

住居 番号	調査 年度	調査名	調査者	平面形 (1/10縮尺)	規模	築 方マドク	位置 方位	カマド 規模(m)	瓦溝	主軸方位	時期	備考	文献
1	1978	第1次1号住居	筑館	正方形	390×380	K	東	110×75	○		Ⅷ分前半		埋蔵文化財の調査1
2	Ⅱ	第1次2号住居	筑館	台形	360×320	K	東	120×85	○		Ⅷ分前半		埋蔵文化財の調査1
3	1979	第2次3号住居	2/3	[方形]	350× ×10	K	東			一部	Ⅷ分後半		埋蔵文化財の調査Ⅱ
4	Ⅱ	第2次4号住居	筑館	方形	530×475	K	北	200×100	○	N-14 E	Ⅷ分後半		埋蔵文化財の調査Ⅱ
5	1991	第10次5号住居	筑館	長方形	230×350	K	北→東		○		9 C 2 半期		埋蔵文化財の調査14
6	Ⅱ	第10次6号住居	2/3	方形	340×300	K	東		○		9 C 2 半期		埋蔵文化財の調査14
7	Ⅱ	第11次7号住居	筑館	正方形	400×400				○		8 C 4 年層		埋蔵文化財の調査14
8	1992	第13次8号住居	3/4	[方形]	400× ×						8 C 3 年層		埋蔵文化財の調査15
9	1993	第15次9号住居	筑館		A 440×350 B 420×310 C 360×300	K	東→北	A 210×210 B 210×210 C 80×65	○		9 C 1 年層	鉄鉢型酒器出土	埋蔵文化財の調査16
10	Ⅱ	第16次10号住居	1/3	正方形	560×560	K	北	130×80	○		8 C 4 年層		埋蔵文化財の調査16
11	Ⅱ	第17次11号住居	筑館	方形	600×600	K	北		○	最大住居	7 C 4 年層	黒色土跡出土	埋蔵文化財の調査16
12	Ⅱ	第18次12号住居	筑館	方形	400×320	K	北		(□)		8 C 4 年層		埋蔵文化財の調査16と市史
13	1994	第19次13号住居	筑館	長方形	450×300	K	北		○	N-5 E	9 C 1 年層		松山遺跡第19次調査概要
14	Ⅱ	第19次14号住居	筑館	長方形	450×500	K	東→北		○	N-5 E	9 C 1 年層	土層出土	松山遺跡第19次調査概要
15	Ⅱ	第20次15号住居	筑館	長方形	370×470	K	北西	70×70	○		7 C 4 年層		松山遺跡第20次の調査
16	1995	7号試掘(2)16号住居								N-20 W	6C		未報告
17	Ⅱ	第21次17号住居	筑館	長方形	480×400	K	北		○		7 C 4 年層		埋蔵文化財の調査19
18	1997	第22次18号住居	筑館	長方形	240×460	K	東	90×60	○	N-50 E	8 C 東		埋蔵文化財の調査20
	Ⅱ	第22次1号竪立	部分	長方形	東西2間 南北3間						8 C 東～9 C 初		埋蔵文化財の調査20
	Ⅱ	第22次2号竪立	部分	長方形	東西2間 南北2間						8 C 東～9 C 初		埋蔵文化財の調査20
	Ⅱ	第22次3号竪立	部分	長方形	(東西2間)南北3間						8 C 東～9 C 初		埋蔵文化財の調査20
19	1998	第23次19号住居	4/5	長方形	260×290				○	N-30 W	8 C 後半	土層6点出土	埋蔵文化財の調査21
20	1999	第25次20号住居									8 C 初層	磁鉢土跡器	市史速志編
21	Ⅱ	第25次21号住居									8 C 初層		未報告
22	2000	第26次22号住居	筑館		360× ×	K	北		○		7 C 後半	14年度発掘, 焼失住居	埋蔵文化財の調査23
23	Ⅱ	第27次23号住居	筑館	台形	600×720	K	北		○		8 C 中ば		埋蔵文化財の調査23
24	2001	第28次24号住居	1/2		340× ×	K	北西		○		8 C 中葉		埋蔵文化財の調査24
25	2000	12年度試掘5	2/3										埋蔵文化財の調査25
26	2002	第29次26号住居	筑館	長方形	420×360	K	北		○		7 C 後半		埋蔵文化財の調査25
27	2003	15年度試掘27号住居	一部	(遺土保存)									プランのみ確認
28	Ⅱ	15年度試掘28号住居	1/2	(遺土保存)									プランのみ確認
29	Ⅱ	第30次29号住居	筑館	長方形	360×420	K	東		○		9 C 前半		埋蔵文化財の調査26
30	2005	第31次30号住居	筑館	長方形	360×600	K	北		○			土層出土	市内遺跡群1
31	Ⅱ	第32次31号住居	筑館	長方形	380×330× ×	K	東		○	S-65 E	9 C 中葉		市内遺跡群1
32	Ⅱ	第32次32号住居	1/2	長方形	東西4 m ×南北3 m以上	K	東		○	S-85 E			市内遺跡群1
33	2006	40地点H33号住居	筑館	方形	455×420	K	北	96×154	○	N-5 E	8 C 後半		市内遺跡群3
34	2008	45地点H34号住居	筑館	方形	364×361	K	東	122×125	○	N-96 E			市内遺跡群6
35	2008	45-84地点H35号住居	1/2	方形	504×480								市内遺跡群6-22
36	2009	49地点H36号住居	筑館	方形	280×290	K	東	105×100	○	N-92 E	8 C 後半	観音寺1	市内遺跡群7
37	2010	54地点H37号住居	筑館	方形	434×524	K	北	70×86	○	N-13 E	8 C 1 四半期		市内遺跡群9
38	2010	54地点H38号住居	一部	方形	(440)×468	K	東	95	○	N-107 E	8 C 1 四半期	プラン確認	市内遺跡群9
39	2010	54地点H39号住居	筑館	方形	336×459	K	北	79×101	○	N-4 E	8 C 1 四半期		市内遺跡群9
40	2011	55地点H40号住居	3/4	[方形]	(300)×(320)	K	東	95×123	○	N-90 E	9 C 前半		市内遺跡群10
41	2012	62地点H41号住居	3/4	[方形]	410×(300)	K	北		○	N-18 E			市内遺跡群12
42	2013	65-66地点H42号住居		方形	460×440	K	東	110×106	○	N-62 E	9 C 前半		市内遺跡群15
43	2013	66地点H43 A号住居		方形	470×470	—	—	—	—	N-66 E	9 C 中葉前後以降		市内遺跡群15
43	2013	66地点H43 B号住居		方形	700×700	K	東		○	N-66 E	9 C 中葉前後以降		市内遺跡群15
44	2013	70-76地点H44号住居		[長方形]	(420)×340	K	北	80×65	○		8 C 前半		市内遺跡群18
45	2013	73地点H45号住居		不明	(238×125)						8 C 中～後半		市内遺跡群18
46	2013	75地点H46号住居		不明	(320×145)						8 C 前半～中		市内遺跡群18
47	2013	77地点H47号住居		不明	410×(95)	K	北	156×135	○		8 C 後半～9 C 初		市内遺跡群18

II 松山遺跡第82地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年7月8日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年7月30～31日に試掘調査を実施した。

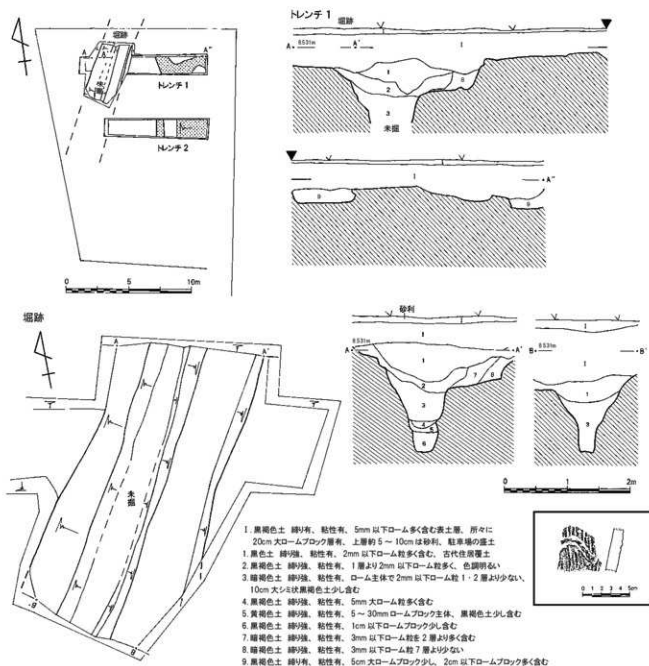
試掘調査は幅約1.5mのトレンチ2本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約40cmである。試掘の結果、堀

跡1本を確認した。中近世以降と考えられるが時期不明であるため、遺構の存在を確認する調査に留め、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

①堀跡

堀跡はトレンチ1で確認した。走行方向を確認するため、一部調査区を確認したところ、ほぼ南北方向であることが判明した。規模は上幅220～245cm、下幅約25cm、深さ約160cmである。出土遺物はなく、時期は不明である。



第58図 松山遺跡第82地点遺構配置図(1/300)、堀跡(1/60)、出土遺物(1/4)

②出土遺物

トレンチ 1 表土中より縄文土器片 1 点が出土した。縦位の平行沈線後に 2 本の波状沈線を施す。中期が。

III 松山遺跡第 83 地点

(1) 調査の概要

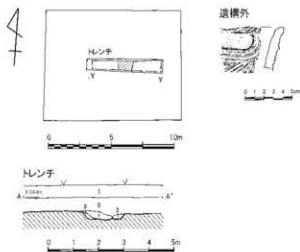
調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 7 月 31 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 8 月 31 日に試掘調査を行った。

試掘調査は、幅約 1m のトレンチ 1 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。遺構確認面までの深さは約 1m である。調査の結果、遺構は確認されなかった。遺構外から縄文土器片が 1 点出土した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

遺物は遺構外で発見された。縄文土器深鉢の口縁部である。隆帯と沈線で方形に区画、その下に沈線と押引文、口縁部には刻みを施す。縄文時代中期。

第 83 地点



- 1 黒褐色土 粘り強、粘性有、盛土でロームブロックと黒色土の混合
- 2 黒色土 粘り強、粘性有、旧層作土 5mm 以下シミ状ローム少し含む
- 3 黒色土 粘り強、粘性有、1cm 以下ロームブロック少し含む
- 4 暗褐色土 粘り強、粘性有、暗褐色土ローム主体に黒色土をシミ状に少し含む
- 5 黒色土 粘り強、粘性有、1層にはほぼ同じやロームブロック少ない

第 59 図 松山遺跡第 83 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)、出土遺物 (1/4)

IV 松山遺跡第84地点

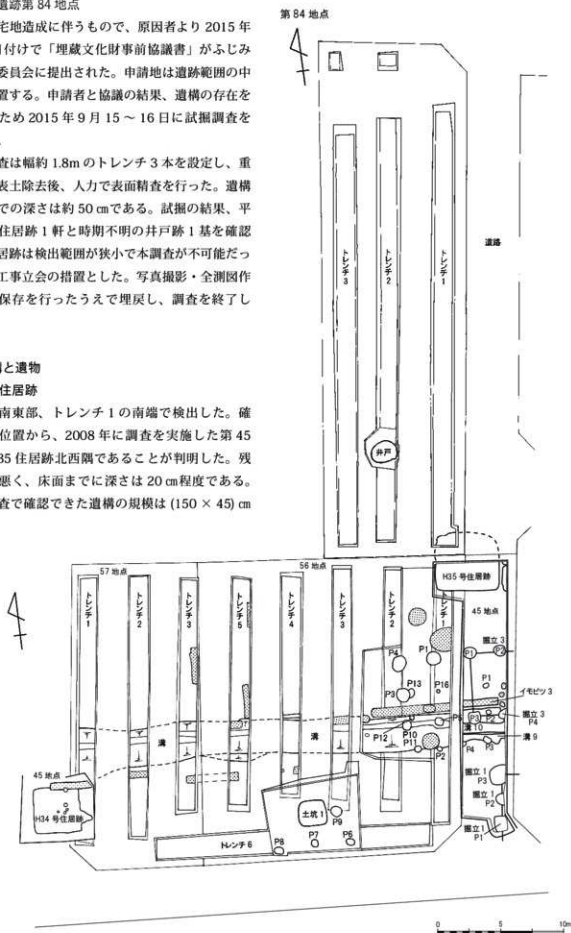
調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2015年8月27日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年9月15～16日に試掘調査を実施した。

試掘調査は幅約1.8mのトレンチ3本を設定し、重機による表土除去後、人力で表面精査を行った。遺構確認までの深さは約50cmである。試掘の結果、平安時代の住居跡1軒と時期不明の井戸跡1基を確認した。住居跡は検出範囲が狭小で本調査が不可能だったため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

(2) 遺構と遺物

① H35号住居跡

調査区南東部、トレンチ1の南端で検出した。確認された位置から、2008年に調査を実施した第45地点のH35住居跡北西隅であることが判明した。残存状況が悪く、床面までに深さは20cm程度である。今回の調査で確認できた遺構の規模は(150×45)cm



第60図 松山遺跡第84地点遺構配置図(1/300)

で、周溝を伴う。周溝は上幅約30cm、下幅約10cm、深さ10cmである。柱穴、竈等は未検出である。掘方は地山ローム層を掘り下げた後、貼床を行う。住居に伴う出土遺物はない。

②井戸

井戸は調査区南側、トレンチ2で検出した。平面形態は円形を呈し、確認直径204×174cm、底径110×73cm、深さ173.6cmである。出土遺物はない。底部付近で炭化物を含む層を確認した。

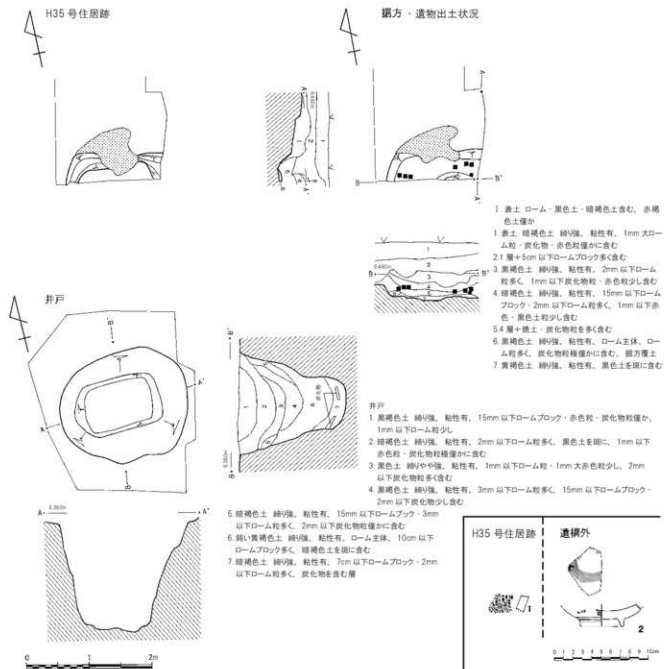
③出土遺物

縄文土器片1点と磁器片1点が出土した。1はH35号住居跡の覆土中から出土した縄文土器片であ

る。条痕文を施す。早期か。2は蛇の目釉刺ぎ磁器皿の底部破片である。底径(4.6)cm、染付で高台脇に一重圏線、高台部に二重圏線を施す。肥前産で18世紀後半以降のものと考えられる。

V 松山遺跡第85地点

調査は分譲住宅建設に伴い、2015年10月1日～19日に試掘調査、10月20日～26日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛した。



第61図 松山遺跡第84地点 H35号住居跡・掘方・井戸 (1/60)、出土遺物 (1/4)

第13章 江川東遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

江川東遺跡は、入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約700～1,000m程下った右岸に位置している。標高15～19mで現谷底との比高差は3mを測る。福岡江川の左岸は急傾斜をなし、右岸は緩やかな斜面を形成している。遺跡周辺は、急激な

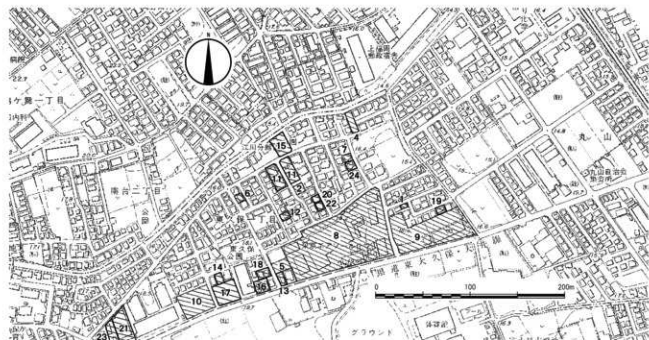
市街化によって商店や住宅が建ち僅かに畑地が残っている。

周辺の遺跡は谷頭部付近に亀居遺跡、対岸台地上に鶴ヶ舞遺跡、南側に東久保遺跡がある。

本遺跡は旧大井町の地域で最も早く市街化された区域内にあり、現在は表面採取がほとんど不可能である

第38表 江川東遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 (又は試掘調査)	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保1-145-14	(1994.3.24～25)	52	個人住宅建設	溝状遺構、縄文土器・清恵器	町内遺跡群Ⅲ
2	大宇東久保1-162-34	1995.1.20～2.6	191	個人住宅建設	土坑17、ビット18、フレーク・清恵器・陶磁器	町内遺跡群Ⅳ
3次						
4	東久保1-38-4他	(1996.1.24～29)	246	個人住宅建設	ビット3、溝2	町内遺跡群Ⅴ
5	東久保1-155-6	(1998.6.1～6)	164	土地分譲	ビット12	町内遺跡群Ⅵ
6	東久保1-169-7	(2001.7.17)	15(71)	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡群Ⅶ
7	東久保1-160-47	(2004.1.4)	88	個人住宅建設	遺構遺物なし	町内遺跡群Ⅷ
8	東久保1-150他	(2004.3.25～4.7)	6,137	共同住宅	土坑1、溝、溝状木樋1	町内遺跡群Ⅸ
9	東久保1-6-19	(2004.4.9～5.10)、2004.5.11～24	464	保育園	ビット40、溝2、縄文土器	町内遺跡群Ⅹ、調査報告書第14巻 東久保の遺跡
10	東久保1-174-1+36	(2005.10.13～24)	267(881)	分譲住宅	土坑1、遺物なし	市内2
11	東久保1-162-1+14	(2006.11.9～15)	200(674)	分譲住宅	遺構抽出	市内3
12	東久保1-27-3	(2006.11.10)	6(72)	宅地造成	遺構遺物なし	市内3
13	東久保1-155-4	(2006.8.11)	24(114)	個人住宅	遺構遺物なし	市内3
14	東久保1-174-38	(2007.5.25～29)	30(67)	個人住宅	遺構遺物なし	市内4
15	東久保1-136-5	(2007.9.11～13)	91(344)	公団分譲	遺構遺物なし	市内4
16	東久保1-176-13～16	(2009.9.14～15)、2009.9.16～18	63(148)	個人住宅	縄文時代集石土坑1	市内8
17	東久保1-177-1	(2009.12.10～18)	156(556)	地下埋設物調査	遺構遺物なし	市内8
18	東久保1-176-9	(2011.11.28)	(72)	個人住宅	遺構遺物なし	市内14
19	東久保1-146-6	(2012.7.24)	(74.2)	個人住宅	詳細不明ビット1、遺物なし	市内15
20	東久保1-160-29	(2013.7.30)	11(71.94)	建売住宅	遺構遺物なし	市内18
21	東久保1-180-1	(2013.11.21～22)	30.5(570.0)	宅地造成	遺構遺物なし	市内18
22	東久保1-160-30	(2014.9.30～10.1)	11.0(72.44)	個人住宅	遺構遺物なし	市内20
23	東久保1-180-11	(2014.10.10)	29.4(180)	個人住宅	遺構なし、土器片	市内20
24	東久保1-32-12	(2015.11.27)	6(91.92)	個人住宅	遺構遺物なし	市内22



第62図 江川東遺跡の地形と調査区(1/4,000)

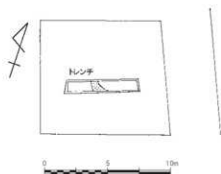
が、一部残された畑地には須恵器が散布する。第 2 地点の調査では、近世の土坑・ピットを検出している。2018 年 4 月現在 23 地点で試掘及び発掘調査を行っている。

Ⅱ 江川東遺跡第 24 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 9 月 18 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 11 月 27 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1m のトレンチ 1 本を設定し、人力による表土除去、表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 35～40 cm であった。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第 63 図 江川東遺跡第 24 地点調査区域図 (1/300)

第14章 東久保遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東久保遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川の谷頭部から、約500～1,000m程下った右岸に位置している。標高17～20mで現谷底との比高差は3～4mを測る。福岡江川の左岸の南面は急傾斜を成す。本遺跡をのせる右岸の台地は県道東久保・大井線を境に南北および西側に緩やかに傾斜する。遺跡の南側縁辺には用水路が流れており、用水路以前にも流水があったものと考えられる。

遺跡周辺は急激な市街化によって工場や住宅、市立東久保小学校が建ち、区画整理事業が実施され今後更に開発が予想される。

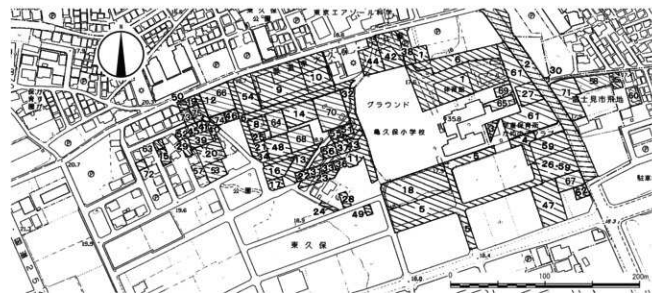
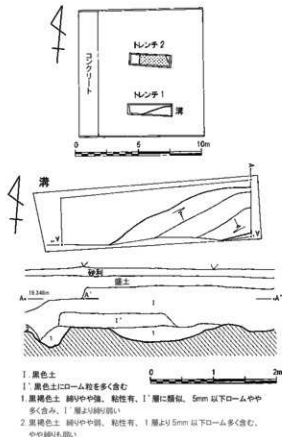
周辺の遺跡は、本遺跡と福岡江川の間には平安時代の遺物を出土する江川東遺跡が位置する。西側約50mに江川南遺跡、南側に隣接して東久保堀跡遺跡が位置する。本遺跡の調査は1976年以来2018年4月現在、75地点で試掘調査および発掘調査を行っている。これまでの調査で、旧石器時代遺群、縄文時代の落とし穴・土坑・集石土坑など、中近世は溝や櫓が確認されている。

II 東久保遺跡第72地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月16日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡

範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年7月2日に試掘調査を実施した。試掘調査は幅約1mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約85cmであった。



第64図 東久保遺跡の地形と調査区 (1/4,000)、第72地点遺構配置図 (1/300)、溝 (1/60)

調査の結果、時期不明の溝1条を検出したが遺物は 測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終
出土しなかったため、遺構としての写真撮影・全了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第39表 東久保遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間(一試掘調査)	面積(m ²)	調査内容	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	東久保学童園第35-1地	(1976.6.29-7.27)	10,000	東久保小学校	縄文時代集石土坑6、土坑3、井戸2、溝2、縄文土器・石器	大井町文化財報告書第7号東久保遺跡
2	東久保293-1 地	1994.12.19-1995.3.23(1995.5.18-27)	2,472	区立管理道路	石器の溝5、ビット4、土坑2、縄文土器	図14
3	東久保284-1	(1996.11.15)	25	水溝管理区	溝1	図14
4	東久保304-1	(1996.5.20-20)	270	学童保育所	溝2、ビット4、土坑2	図14
5	東久保306-1	(1996.6.7-10)1996.9.2-4	300	区立管理道路	旧石器線跡	図14-14
6	東久保304	1996.11.22-1997.3.5	3,314	区立管理道路	土坑3、中世の堀跡1、溝2、ビット1、土器・石器	図14
7	東久保271-1	(A区)1997.1.20-2.13 (B区)1997.2.24-3.19 (C区)1997.7.24-7.25/D区)1997.8.6	2,309	区立管理道路	縄文時代土坑2、集石土坑1、土坑1、ビット5、溝6、縄文土器・石器	図14
7	東久保遺跡跡第1地点(変更)	(1997.2.29-8.2)	168			図14
8	東久保18街区12画地	(1997.2.29-8.2)	305	個人住宅	縄文時代土坑2、ビット2	図14
9	東久保279,280	(1997.8.18-20)1998.3.1-5.18	2,117	共同住宅	縄文時代集石土坑5、土坑13、ビット4、近世以降の溝3、旧石器時代石器、縄文時代土器・石器	図14-14
10	東久保19街区	(1997.9.2-10.1)	1,067	分譲住宅	縄文時代集石土坑1、近世以降の溝1、縄文土器	図14
11	東久保	1998.7.13-16、1999.11.1-12	588	区立管理道路	中世の溝跡1、ビット3、溝1、縄文土器・石器	図14
12	東久保	1999.1.19-2.11	282	区立管理道路	縄文時代集石土坑1、ビット10、近世以降の溝2	図14
13	東久保第1-5地	1999.5.19-20	360	区立管理道路	遺構遺物なし	調査14
14	東久保18街区3画地	(1999.11.2)	162	個人住宅	溝2	図14
15	東久保18街区3画地	(1999.6.29-7.16)1999.7.19-29	823	共同住宅	溝2、堀跡1、縄文土器片、瓦葺陶器片	図14-14
16	東久保5街区14-16画地	(1999.6.2)	178	個人住宅	遺構遺物なし	図14
17	東久保15街区1-5-32画地	(1999.10.1-6)	334	個人住宅	遺構遺物なし	図14
17	東久保301-5	(1999.6.14-15)	168	個人住宅	遺構遺物なし	図14
18	東久保27街区2画地	(1999.11.30-12.15)	14,989	小学校グラウンド	堀跡	図14
19	東久保3街区9-10画地	(1999.12.20-21)	108	店舗併用住宅	遺構遺物なし	図14
20	東久保4街区9画地	(2000.2.28-3.3)	478	個人住宅	遺構遺物なし	図14
21	東久保18街区14画地	(2000.3.23-28)	114	個人住宅	遺構遺物なし	図14
22	東久保15街区28画地	(2000.3.22-23)	150	個人住宅	遺構遺物なし	図14
23	東久保	2000.3.13-16、2000.12.7-4.6	280	区立管理道路	縄文時代土坑1、溝土跡1	図14
24	東久保14街区	2000.1.19	390	区立管理道路	遺構遺物なし	図14
25	東久保18街区13画地	(2000.4.13-14)	135	個人住宅	遺構遺物なし	図14
26	東久保31街区9画地	(2000.4.14)	1,107	卸軒数軒車庫	溝、ビット、縄文土器片	図14
27	東久保26街区	2000.5.17-6.8	560	区立管理道路	縄文時代土坑15、近世土坑1、堀跡1、溝2	図14
28	東久保14街区8画地	(2000.6.29-7.4)	130	個人住宅	遺構遺物なし	図14
29	東久保4街区18-20画地	(2000.6.30-7.4)	218	個人住宅	溝2	図14
30	東久保294番	2000.7.4	48	区立管理道路	溝土跡、遺物なし	図14
31	東久保15街区26画地	(2000.6.7)	126	個人住宅	石器遺物なし	図14
32	東久保277-381基地	2000.7.12-8.4	265	区立管理道路	旧石器時代古器物跡2、縄文時代土坑2、ビット12、新石器時代の溝・堀跡各1、ナイフ片石器	図14
33	東久保15街区24画地	(2000.8.2-3)	128	個人住宅	遺構遺物なし	図14
34	東久保18街区15画地	(2000.8.29-30)	110	個人住宅	ビット4	図14
35	東久保23街区3-4画地	(2000.12.7-9)	139	個人住宅	溝1、ビット1	図14
36	東久保15街区21-22画地	(2001.1.19-25)	135	個人住宅	遺構遺物なし	図14
37	東久保15街区13-31画地	(2001.12.1)	149	個人住宅	遺構遺物なし	図14
38	東久保284-1、285-1	2000.12.13-15	500	区立管理道路	縄文時代土坑1、遺物なし	図14
39	東久保4街区8-9画地	(2001.3.22-27)	317	個人住宅	縄文時代土坑	図14
40	東久保270-3-4	2001.3.23-2001.6.3	128	区立管理道路	遺構遺物なし	図14
41	東久保4街区6-7画地	(2001.5.28-29)	112	個人住宅	近世以降の溝1、遺物なし	図14
42	東久保19街区10画地	(2001.4.18-21)	864	駐車場	近世以降の溝1、遺物なし	図14
43	東久保15街区14-15画地	(2001.5.22-25)	142	個人住宅	遺構遺物なし	図14
44	東久保19街区9-11+12画地	(2001.5.10-6.29)	757	倉庫	縄文時代土坑1、瓦葺木跡、ビット5、溝2、縄文土器石器	図14
45	東久保258-1	(2001.6.1)	100	個人住宅	遺構遺物なし	図14
46	東久保17街区3-4画地	(2001.6.4-6)	135	個人住宅	溝1、縄文土器片2、磁器片1	図14
47	東久保31街区6-13画地	(2001.10.11-16)	1,263	店舗	縄文時代土坑1、溝1	図14
48	東久保18街区9-10画地	(2001.12.12-23)	518	分譲住宅	遺構遺物なし	図14
49	東久保13街区7画地	(2002.2.12-13)	100	分譲住宅	遺構遺物なし	図14
50	東久保3街区22画地	(2002.9.24)	157	個人住宅	遺構遺物なし	図14
51	東久保18街区11画地	(2002.12.2)	155	個人住宅	遺構遺物なし	図14
52	東久保4街区3画地	(2003.2.6-7)	64	個人住宅	溝、井戸	図14
53	東久保4街区10画地	(2003.5.7-22)	408	共同住宅	ビット1	図14
54	東久保学童園久保272-19街区1画地	(2003.5.9-22)	798	共同住宅	溝3、ビット4、溝土坑1	図14
55	東久保学童園久保488-18街区7画地	(2003.6.9-12)	165	個人住宅	遺構遺物なし	図14
56	東久保学童園久保15街区12画地	(2003.7.31-8.1)	165	個人住宅	遺構遺物なし	図14
57	東久保25-26-4街区14画地	(2003.9.29-10.1)	133	個人住宅	遺構遺物なし	図14
58	ふじみ野2-22	(2004.4.13-14)	578	店舗	溝2	図14
59	ふじみ野2-25-7-9	(2004.6.29)2004.7.12-23	1,804	店舗	土坑4、ビット9、溝2	図14-14
60	ふじみ野2-26-16	(2004.7.22-24)	337	個人住宅	ビット1	図14
61	東久保26街区	2004.9.29-11.26	2,374	区立管理公園緑地	縄文時代土坑7、ビット9、溝6(調査区の一部は第27地点で調査済)	図14
62	ふじみ野2-2-5-16	(2004.10.12-15)	220	宅地造成	溝3	図14
63	ふじみ野2-9-10-12	(2005.1.16-21)	135	個人住宅	遺構遺物なし	図14
64	ふじみ野2-18-60-1部	(2006.10.12-20)2006.10.24-26	437	共同住宅	近世の溝跡1、溝4	図14
65	ふじみ野2-22-2、5-7	(2008.1.18-28)	260	小学校増築	遺構遺物なし	図14
66	ふじみ野2-19-4、19-5	(2008.5.22-6.11)	862	分譲住宅	溝3	図14
67	ふじみ野2-25-10-11	(2009.1.19)	492	個人住宅	遺構遺物なし	図14
68	ふじみ野2-18-3	(2010.11.22-26)2010.11.29-12.8	791	分譲住宅	縄文時代集石1、近世以降溝跡2、堀跡1、本調査	図14
69	ふじみ野2-22-2-3-50の一部6-7	(2011.3.28)	17,276.3	小学校増築	遺構遺物なし	図14
70	ふじみ野2-18-60-19	(2011.1.16-24)	1,156	共同住宅	遺構遺物なし	図14
71	ふじみ野2-27-1-9	(2013.6.17-19)	908	店舗	溝1、遺物なし	図14
72	ふじみ野2-6-7	(2015.7.2)	100	個人住宅	溝1、遺物なし	図14
73	ふじみ野2-3-14	(2017.6.19)	62.35	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
74	ふじみ野2-19-2-3	(2017.8.2)	239	個人住宅	ビット、遺物なし	未報告
75	ふじみ野2-13-24	(2017.12.18)	96.87	個人住宅	遺構遺物なし	未報告

※町:大井町町内図参照、調査:大井町遺跡調査会報告、市:ふじみ野市市内図参照